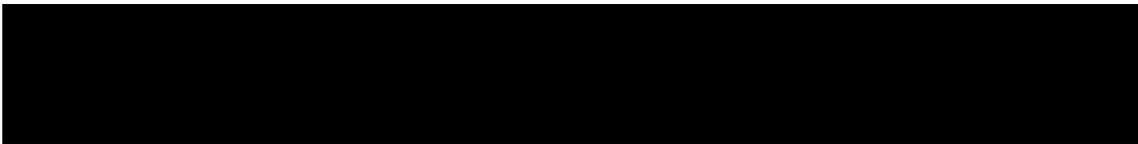


新潟市民病院 様

旧カルテ庫アスベスト分析調査委託業務

報 告 書

令和6年9月



新潟市民病院 旧カルテ庫 アスベスト検査 検体一覧

No.	採取箇所		建材名	分析結果
1	1階	ダクトフランジ	空調配管	保温材
2		トイレ	天井	スレート板
3		トイレ	床	長尺シート
4		和室	壁	クロス付きボード
5		病歴室(1)	梁	塗材付下地調整材
6		和室	天井	木目調クロス付ボード
7	2階	病歴室(3)	上部配管	保温材
8		病歴室(2)、病歴室(3)	壁、柱	石膏ボード
9		病歴室(2)、病歴室(3)	床	塗材付下地調整材
10		廊下、病歴室(2)、病歴室(3)	壁	EP付石膏ボード
11		事務室、病歴室(2)、病歴室(3)	壁、柱	EP付下地調整材
12		廊下、病歴室(2)、病歴室(3)	巾木	巾木
13		廊下、病歴室(2)、病歴室(3)	床	Pタイル
14		階段室前廊下	天井	塗材(白)付石膏ボード
15		階段室前廊下	壁	塗材(白)付石膏ボード
16	3階	事務室	床	ビニル床シート(溶接)
17		休憩室	タイルカーペット下床	接着剤
18		電気室	巾木	巾木(グレー)
19		電気室	床	Pタイル
20		事務室、休憩室、病歴室(5)	天井	石膏ボード
21		事務室、休憩室	梁	塗材付下地調整材
22		事務室、病歴室(5)、病歴室(6)	壁	EP付石膏ボード
23		廊下、事務室、診療情報部長室	壁、柱	EP付下地調整材
24		廊下、病歴室(5)、病歴室(6)	巾木	巾木
25		廊下、病歴室(5)、病歴室(6)	Pタイル	Pタイル
26	1～3階	階段室	段裏	塗材付下地調整材
27		階段室	壁	EP付下地調整材
28		階段室	壁	EP付石膏ボード
29		階段室	巾木	巾木
30		階段室	床	Pタイル(黄色)

新潟市民病院

様

## 試験成績書

令和6年8月5日 付ご依頼の試験結果は、  
下記のとおりであったことを報告いたします。

試料名	空調配管(保温材)			
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫			
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内			
採取箇所	1階 ダクトフランジ			
採取年月日	令和6年8月5日			
採取者	検査機関			
特記事項				
	石綿	単位	定性結果	試験の方法
	クリソタイル	—	含有なし	備考(1)
	アモサイト	—	含有なし	備考(1)
	クロシドライト	—	含有なし	備考(1)
	トレモライト	—	含有なし	備考(1)
	アクチノライト	—	含有なし	備考(1)
	アンソフィライト	—	含有なし	備考(1)
	—以下余白—			
備考	(1) JIS A 1481-2:2016 建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部：試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法 件名：旧カルテ庫アスベスト分析調査委託業務 講習実施機関名：公益社団法人 日本作業環境測定協会			

試料名	空調配管（保温材）
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 ダクトフランジ
採取年月日	令和6年8月5日
採取者	検査機関

#### 一次分析試料の作成方法（試料粉碎方法）

粉碎に使用した粉碎器の名称及び形式	粉碎器の名称	ボールミル
	粉碎器の製造業者・形式	フリッチュ ミニミルP-23
標準ふるいの目開き	425 $\mu$ m	

#### 使用した測定機器

##### 1) X線回折装置製造業者、型式

X線回折装置製造業者、型式	製造業者	リガク
	形式	Ultima IV (Protectus)

##### 2) 位相差・分散顕微鏡の型式

顕微鏡の製造業者・型式	製造業者	ニコン
	形式	ECLIPSE 80iTP-DSPH
照明系	形式	12V100Wロングライフハロゲンランプ
コンデンサ	形式	C-C Phコンデンサ
対物レンズ	形式	PlanFluor40 $\times$ /0.75

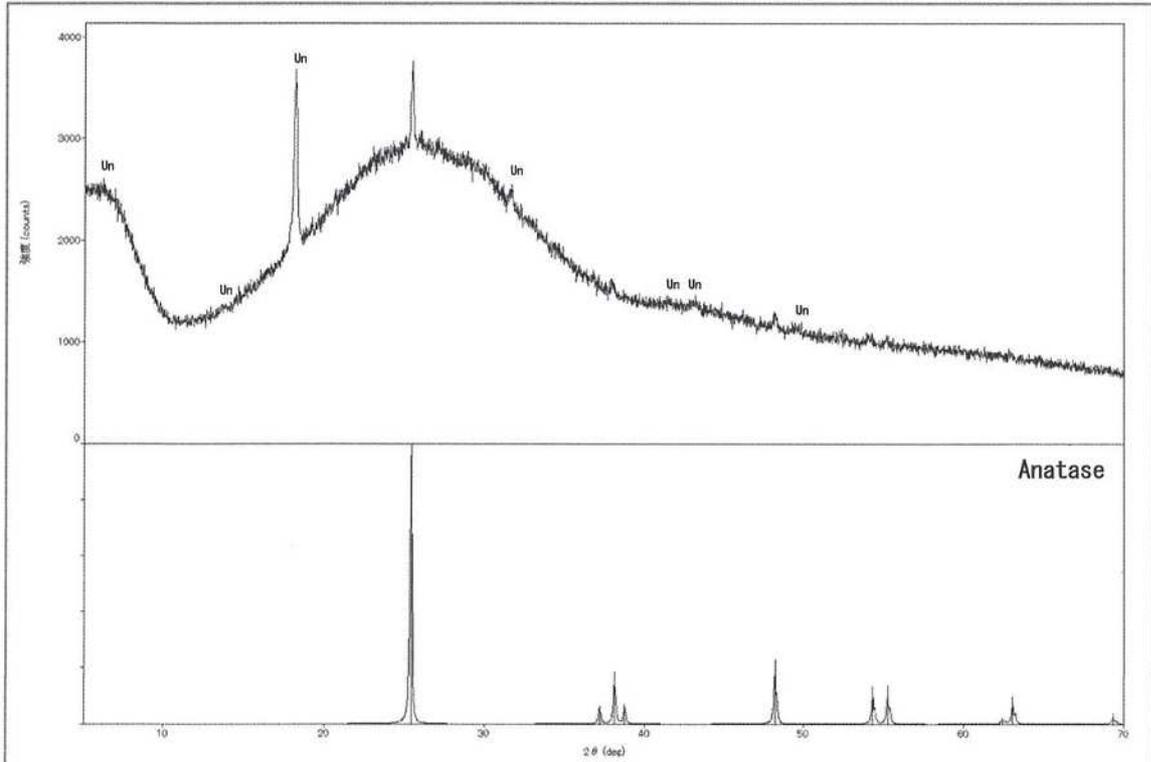
#### 判定結果

##### 1) X線回折装置の定性条件

設定項目	測定条件
X線対陰極	Cu
管電圧 (kV)	40
管電流 (mA)	40
単色化 (K $\beta$ 線の除去)	K $\beta$ フィルター
検出器	D/tex Ultra
フルスケール (cps)	オートスケール
時定数 (s)	—
走査速度 ( $^{\circ}$ /min)	10
発散縦制限スリット (mm)	10.00
発散スリット ( $^{\circ}$ )	1/2
散乱スリット (mm)	8.00
受光スリット (mm)	解放
走査範囲 ( $^{\circ}$ , $2\theta$ )	5 $^{\circ}$ ~ 70 $^{\circ}$

試料名	空調配管 (保温材)
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 ダクトフランジ
採取年月日	令和6年8月5日
採取者	検査機関

1. 1) X線回折分析による定性分析 回折線プロファイル



「ピーク記号」

Chrysotile:クリソタイル Grunerite:アモサイト Riebeckite:クロシドライト  
Tremolite/Actinolite:トレモライト/アクチノライト Anthophyllite:アンソフィライト  
Calcite:カルサイト Quartz:石英 Tridymite:トリジマイト Cristobalite:クリストバライト  
Vermiculite:パーミキュライト Hydrobiotite:ハイドロバイオタイト Brucite:ブルーサイト  
Sepiolite:セピオライト Chlorite:クロライト Mica:マイカ Illite:イライト Feldspar:長石  
Anhydrite:硬石膏 Rutile:酸化チタン Lizardite:リザルダイト Antigorite:アンチゴライト  
Anatase:酸化チタン Talc:タルク Wollastonite:珪灰石 Un:未同定ピーク

「注意事項」 (2θ) 5° ~ 70° のX線回折プロファイルを添付。

1. 2) X線回折分析による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト/アクチノライト	無
アンソフィライト	無

試料名	空調配管（保温材）
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 ダクトフランジ
採取年月日	令和6年8月5日
採取者	検査機関

## 2) 位相差・分散顕微鏡による定性分析

### 2. 1) 分析室の温度

分析室の温度 (°C)	24.7°C (サーモプレート温度 25.0°C)
-------------	---------------------------

### 2. 2) 分析結果記入欄

・アスベストの種類（クリソタイル） 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.550$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	104	1000	0	2
2	105	1000	0	1
3	102	1000	0	2
合計	311	3000	0	5

・アスベストの種類（アモサイト） 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.680$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	107	1000	0	0
2	102	1000	0	0
3	102	1000	0	0
合計	311	3000	0	0

・アスベストの種類（クロシドライト） 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.690$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	102	1000	0	0
2	106	1000	0	0
3	104	1000	0	0
合計	312	3000	0	0

・アスベストの種類（トレモライト） 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.620$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	104	1000	0	0
2	103	1000	0	0
3	108	1000	0	0
合計	315	3000	0	0

試料名	空調配管 (保温材)
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 ダクトフランジ
採取年月日	令和6年8月5日
採取者	検査機関

・アスベストの種類 ( アクチノライト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.626$  又は  $1.628$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	104	1000	0	0
2	101	1000	0	0
3	108	1000	0	0
合計	313	3000	0	0

・アスベストの種類 ( アンソフィライト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.618$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	108	1000	0	0
2	103	1000	0	0
3	101	1000	0	0
合計	312	3000	0	0

### 2. 3) 位相差・分散顕微鏡による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト	無
アクチノライト	無
アンソフィライト	無

### 3) X線回折分析方法及び位相差・分散顕微鏡の定性分析結果に基づく最終判定結果

アスベストの種類	定性分析結果			アスベスト含有最終判定結果
	X線回折分析法	分散染色法		アスベスト含有の有無
	回折線ピークの有無	3000粒子中のアスペクト比3以上の繊維状粒子数	アスベストの有無	
クリソタイル	無	0	無	無
アモサイト	無	0	無	無
クロシドライト	無	0	無	無
トレモライト	無	0	無	無
アクチノライト		0	無	無
アンソフィライト	無	0	無	無

新潟市民病院

様

## 試験成績書

令和6年8月5日 付ご依頼の試験結果は、  
下記のとおりであったことを報告いたします。

試料名	スレート板			
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫			
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内			
採取箇所	1階 トイレ 天井			
採取年月日	令和6年8月5日			
採取者	検査機関			
特記事項				
	石綿	単位	定性結果	試験の方法
	クリソタイル	—	含有	備考(1)
	アモサイト	—	含有なし	備考(1)
	クロシドライト	—	含有なし	備考(1)
	トレモライト	—	含有なし	備考(1)
	アクチノライト	—	含有なし	備考(1)
	アンソフィライト	—	含有なし	備考(1)
	—以下余白—			
備考	(1) JIS A 1481-2:2016 建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部：試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法 件名：旧カルテ庫アスベスト分析調査委託業務 講習実施機関名：公益社団法人 日本作業環境測定協会			

試料名	スレート板
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 トイレ 天井
採取年月日	令和6年8月5日
採取者	検査機関

#### 一次分析試料の作成方法（試料粉碎方法）

粉碎に使用した粉碎器の名称及び形式	粉碎器の名称	ボールミル
	粉碎器の製造業者・形式	フリッチュ ミニミルP-23
標準ふるいの目開き	425 $\mu\text{m}$	

#### 使用した測定機器

##### 1) X線回折装置製造業者、型式

X線回折装置製造業者、型式	製造業者	リガク
	形式	Ultima IV (Protectus)

##### 2) 位相差・分散顕微鏡の型式

顕微鏡の製造業者・型式	製造業者	ニコン
	形式	ECLIPSE 80iTP-DSPH
照明系	形式	12V100Wロングライフハロゲンランプ
コンデンサ	形式	C-C Phコンデンサ
対物レンズ	形式	PlanFluor40 $\times$ /0.75

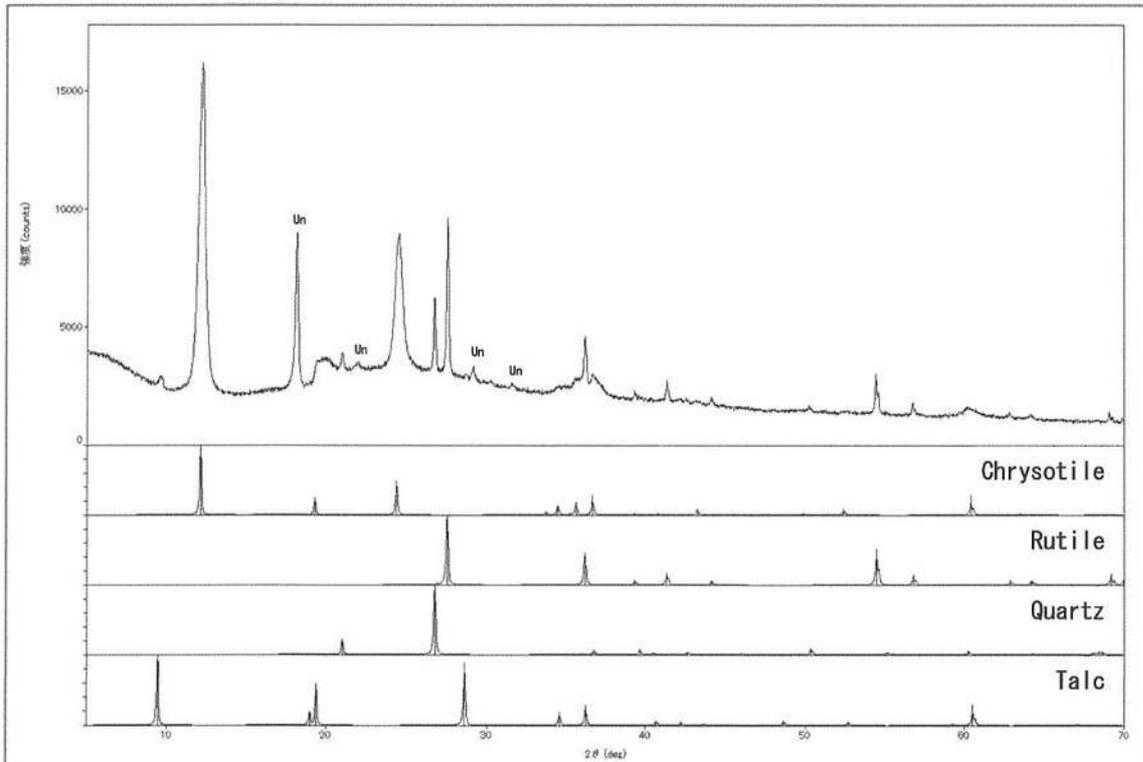
#### 判定結果

##### 1) X線回折装置の定性条件

設定項目	測定条件
X線対陰極	Cu
管電圧 (kV)	40
管電流 (mA)	40
単色化 (K $\beta$ 線の除去)	K $\beta$ フィルター
検出器	D/tex Ultra
フルスケール (cps)	オートスケール
時定数 (s)	—
走査速度 ( $^{\circ}$ /min)	10
発散縦制限スリット (mm)	10.00
発散スリット ( $^{\circ}$ )	1/2
散乱スリット (mm)	8.00
受光スリット (mm)	解放
走査範囲 ( $^{\circ}$ , $2\theta$ )	$5^{\circ}$ ~ $70^{\circ}$

試料名	スレート板
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 トイレ 天井
採取年月日	令和6年8月5日
採取者	検査機関

### 1. 1) X線回折分析による定性分析 回折線プロファイル



#### 「ピーク記号」

Chrysotile:クリソタイル Grunerite:アモサイト Riebeckite:クロシドライト  
Tremolite/Actinolite:トレモライト/アクチノライト Anthophyllite:アンソフィライト  
Calcite:カルサイト Quartz:石英 Tridymite:トリジマイト Cristobalite:クリストバライト  
Vermiculite:バーミキュライト Hydrobiotite:ハイドロバイオタイト Brucite:ブルーサイト  
Sepiolite:セピオライト Chlorite:クロライト Mica:マイカ Illite:イライト Feldspar:長石  
Anhydrite:硬石膏 Rutile:酸化チタン Lizardite:リザルダイト Antigorite:アンチゴライト  
Anatase:酸化チタン Talc:タルク Wollastonite:珪灰石 Un:未同定ピーク

「注意事項」 (2θ) 5° ~ 70° のX線回折プロファイルを添付。

### 1. 2) X線回折分析による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	有
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト/アクチノライト	無
アンソフィライト	無

試料名	スレート板
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 トイレ 天井
採取年月日	令和6年8月5日
採取者	検査機関

## 2) 位相差・分散顕微鏡による定性分析

### 2. 1) 分析室の温度

分析室の温度 (°C)	24.7°C (サーモプレート温度 25.0°C)
-------------	---------------------------

### 2. 2) 分析結果記入欄

・アスベストの種類 ( クリソタイル ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.550$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	105	1000	93	20
2	107	1000	104	19
3	102	1000	97	17
合計	314	3000	294	56

・アスベストの種類 ( アモサイト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.680$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	108	1000	0	0
2	102	1000	0	0
3	103	1000	0	0
合計	313	3000	0	0

・アスベストの種類 ( クロシドライト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.690$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	104	1000	0	0
2	107	1000	0	0
3	103	1000	0	0
合計	314	3000	0	0

・アスベストの種類 ( トレモライト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.620$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	104	1000	0	0
2	104	1000	0	0
3	103	1000	0	0
合計	311	3000	0	0

試料名	スレート板
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 トイレ 天井
採取年月日	令和6年8月5日
採取者	検査機関

・アスベストの種類（アクチノライト） 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.626$  又は  $1.628$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	102	1000	0	0
2	106	1000	0	0
3	107	1000	0	0
合計	315	3000	0	0

・アスベストの種類（アンソフィライト） 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.618$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	103	1000	0	0
2	104	1000	0	0
3	106	1000	0	0
合計	313	3000	0	0

### 2. 3) 位相差・分散顕微鏡による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	有
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト	無
アクチノライト	無
アンソフィライト	無

### 3) X線回折分析及び位相差・分散顕微鏡の定性分析結果に基づく最終判定結果

アスベストの種類	定性分析結果			アスベスト含有最終判定結果
	X線回折分析法	分散染色法		
	回折線ピークの有無	3000粒子中のアスペクト比3以上の繊維状粒子数	アスベストの有無	アスベスト含有の有無
クリソタイル	有	294	有	クリソタイル含有
アモサイト	無	0	無	無
クロシドライト	無	0	無	無
トレモライト	無	0	無	無
アクチノライト		0	無	無
アンソフィライト		0	無	無

新潟市民病院

様

## 試験成績書

令和6年8月5日 付ご依頼の試験結果は、  
下記のとおりであったことを報告いたします。

試料名	長尺シート			
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫			
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内			
採取箇所	1階 トイレ 床			
採取年月日	令和6年8月5日			
採取者	検査機関			
特記事項				
	石綿	単位	定性結果	試験の方法
	クリソタイル	-	含有	備考(1)
	アモサイト	-	含有なし	備考(1)
	クロソドライト	-	含有なし	備考(1)
	トレモライト	-	含有なし	備考(1)
	アクチノライト	-	含有なし	備考(1)
	アンソフィライト	-	含有なし	備考(1)
	-以下余白-			
備考	(1) JIS A 1481-2:2016 建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部：試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法 件名：旧カルテ庫アスベスト分析調査委託業務 講習実施機関名：公益社団法人 日本作業環境測定協会			

試料名	長尺シート
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 トイレ 床
採取年月日	令和6年8月5日
採取者	検査機関

#### 一次分析試料の作成方法（試料粉碎方法）

粉碎に使用した粉碎器の名称及び形式	粉碎器の名称	ボールミル
	粉碎器の製造業者・形式	フリッチュ ミニミルP-23
標準ふるいの目開き	425 $\mu$ m	

#### 使用した測定機器

##### 1) X線回折装置製造業者、型式

X線回折装置製造業者、型式	製造業者	リガク
	形式	Ultima IV (Protectus)

##### 2) 位相差・分散顕微鏡の型式

顕微鏡の製造業者・型式	製造業者	ニコン
	形式	ECLIPSE 80iTP-DSPH
照明系	形式	12V100Wロングライフハロゲンランプ
コンデンサ	形式	C-C Phコンデンサ
対物レンズ	形式	PlanFluor40 $\times$ /0.75

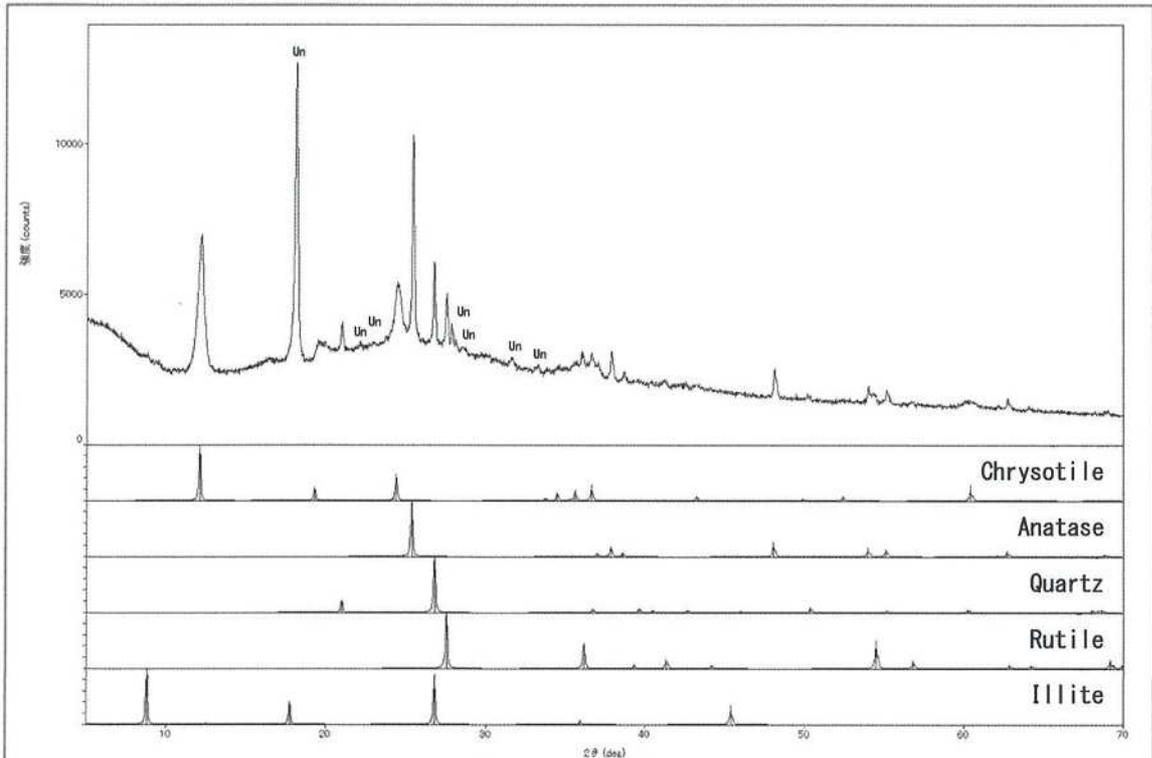
#### 判定結果

##### 1) X線回折装置の定性条件

設定項目	測定条件
X線対陰極	Cu
管電圧 (kV)	40
管電流 (mA)	40
単色化 (K $\beta$ 線の除去)	K $\beta$ フィルター
検出器	D/tex Ultra
フルスケール (cps)	オートスケール
時定数 (s)	—
走査速度 ( $^{\circ}$ /min)	10
発散縦制限スリット (mm)	10.00
発散スリット ( $^{\circ}$ )	1/2
散乱スリット (mm)	8.00
受光スリット (mm)	解放
走査範囲 ( $^{\circ}$ , $2\theta$ )	5 $^{\circ}$ ~ 70 $^{\circ}$

試料名	長尺シート
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 トイレ 床
採取年月日	令和6年8月5日
採取者	検査機関

1. 1) X線回折分析による定性分析 回折線プロファイル



「ピーク記号」

Chrysotile:クリソタイル Grunerite:アモサイト Riebeckite:クロシドライト  
Tremolite/Actinolite:トレモライト/アクチノライト Anthophyllite:アンソフィライト  
Calcite:カルサイト Quartz:石英 Tridymite:トリジマイト Cristobalite:クリストバライト  
Vermiculite:バーミキュライト Hydrobiotite:ハイドロバイオタイト Brucite:ブルーサイト  
Sepiolite:セピオライト Chlorite:クロライト Mica:マイカ Illite:イライト Feldspar:長石  
Anhydrite:硬石膏 Rutile:酸化チタン Lizardite:リザルダイト Antigorite:アンチゴライト  
Anatase:酸化チタン Talc:タルク Wollastonite:珪灰石 Un:未同定ピーク

「注意事項」 (2θ) 5° ~ 70° のX線回折プロファイルを添付。

1. 2) X線回折分析による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	有
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト/アクチノライト	無
アンソフィライト	無

試料名	長尺シート
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 トイレ 床
採取年月日	令和6年8月5日
採取者	検査機関

## 2) 位相差・分散顕微鏡による定性分析

### 2. 1) 分析室の温度

分析室の温度 (°C)	24.7°C (サーモプレート温度 25.0°C)
-------------	---------------------------

### 2. 2) 分析結果記入欄

・アスベストの種類 ( クリソタイル ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.550$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	107	1000	67	7
2	102	1000	54	9
3	104	1000	61	12
合計	313	3000	182	28

・アスベストの種類 ( アモサイト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.680$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	105	1000	0	0
2	102	1000	0	0
3	107	1000	0	0
合計	314	3000	0	0

・アスベストの種類 ( クロシドライト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.690$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	101	1000	0	0
2	106	1000	0	0
3	105	1000	0	0
合計	312	3000	0	0

・アスベストの種類 ( トレモライト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.620$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	103	1000	0	0
2	103	1000	0	0
3	107	1000	0	0
合計	313	3000	0	0

試料名	長尺シート
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 トイレ 床
採取年月日	令和6年8月5日
採取者	検査機関

・アスベストの種類 ( アクチノライト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ C} = 1.626$  又は  $1.628$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	108	1000	0	0
2	105	1000	0	0
3	102	1000	0	0
合計	315	3000	0	0

・アスベストの種類 ( アンソフィライト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ C} = 1.618$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	105	1000	0	0
2	104	1000	0	0
3	103	1000	0	0
合計	312	3000	0	0

### 2. 3) 位相差・分散顕微鏡による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	有
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト	無
アクチノライト	無
アンソフィライト	無

### 3) X線回折分析方法及び位相差・分散顕微鏡の定性分析結果に基づく最終判定結果

アスベストの種類	定性分析結果			アスベスト含有最終判定結果
	X線回折分析法	分散染色法		アスベスト含有の有無
	回折線ピークの有無	3000粒子中のアスペクト比3以上の繊維状粒子数	アスベストの有無	
クリソタイル	有	182	有	クリソタイル含有
アモサイト	無	0	無	無
クロシドライト	無	0	無	無
トレモライト	無	0	無	無
アクチノライト		0	無	無
アンソフィライト		0	無	無

新潟市民病院

様

## 試験成績書

令和6年8月5日 付ご依頼の試験結果は、  
下記のとおりであったことを報告いたします。

試料名	クロス付石膏ボード			
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫			
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内			
採取箇所	1階 和室 壁			
採取年月日	令和6年8月5日			
採取者	検査機関			
特記事項				
	石綿	単位	定性結果	試験の方法
	クリソタイル	—	含有なし	備考(1)
	アモサイト	—	含有なし	備考(1)
	クロシドライト	—	含有なし	備考(1)
	トレモライト	—	含有なし	備考(1)
	アクチノライト	—	含有なし	備考(1)
	アンソフィライト	—	含有なし	備考(1)
	—以下余白—			
備考	(1) JIS A 1481-2:2016 建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部：試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法 件名：旧カルテ庫アスベスト分析調査委託業務 講習実施機関名：公益社団法人 日本作業環境測定協会			

試料名	クロス付石膏ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 和室 壁
採取年月日	令和6年8月5日
採取者	検査機関

#### 一次分析試料の作成方法（試料粉碎方法）

粉碎に使用した粉碎器の名称及び形式	粉碎器の名称	ボールミル
	粉碎器の製造業者・形式	フリッチュ ミニミルP-23
標準ふるいの目開き	425 $\mu$ m	

#### 使用した測定機器

##### 1) X線回折装置製造業者, 型式

X線回折装置製造業者, 型式	製造業者	リガク
	形式	Ultima IV (Protectus)

##### 2) 位相差・分散顕微鏡の型式

顕微鏡の製造業者・型式	製造業者	ニコン
	形式	ECLIPSE 80i TP-DSPH
照明系	形式	12V100Wロングライフハロゲンランプ
コンデンサ	形式	C-C Phコンデンサ
対物レンズ	形式	PlanFluor40 $\times$ /0.75

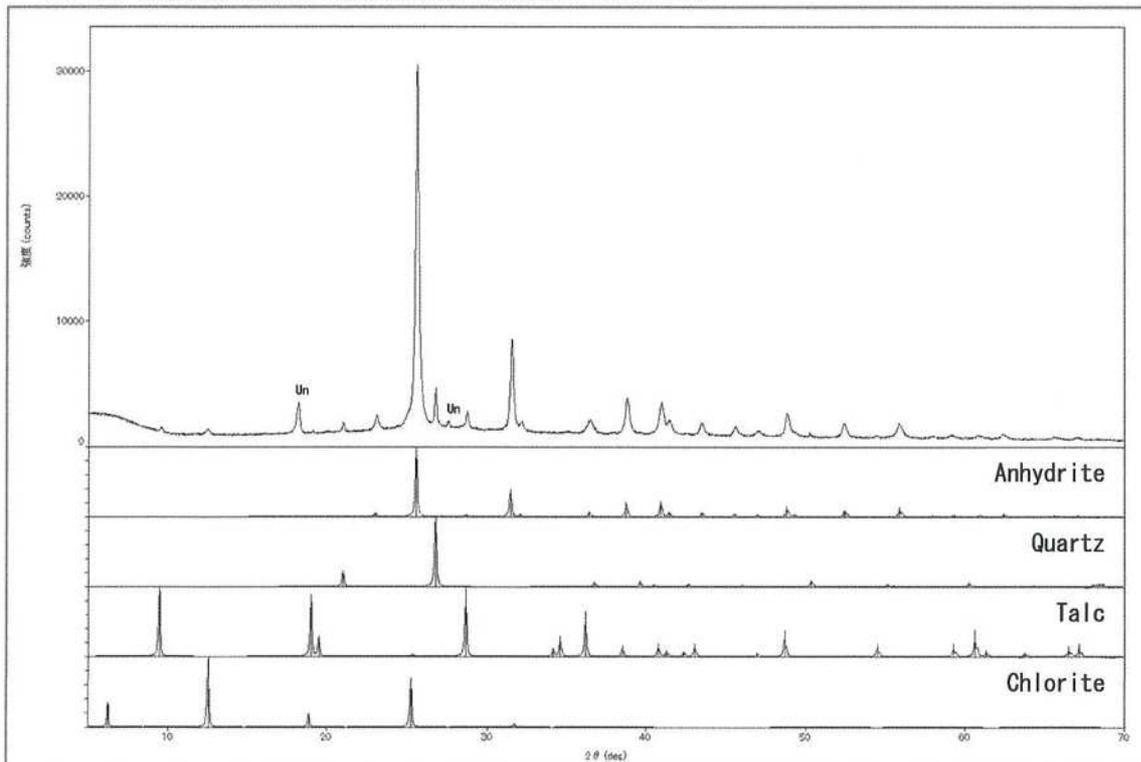
#### 判定結果

##### 1) X線回折装置の定性条件

設定項目	測定条件
X線対陰極	Cu
管電圧 (kV)	40
管電流 (mA)	40
単色化 (K $\beta$ 線の除去)	K $\beta$ フィルター
検出器	D/tex Ultra
フルスケール (cps)	オートスケール
時定数 (s)	—
走査速度 ( $^{\circ}$ /min)	10
発散縦制限スリット (mm)	10.00
発散スリット ( $^{\circ}$ )	1/2
散乱スリット (mm)	8.00
受光スリット (mm)	解放
走査範囲 ( $^{\circ}$ , $2\theta$ )	5 $^{\circ}$ ~ 70 $^{\circ}$

試料名	クロス付石膏ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 和室 壁
採取年月日	令和6年8月5日
採取者	検査機関

1. 1) X線回折分析による定性分析 回折線プロファイル



「ピーク記号」  
 Chrysotile:クリソタイル Grunerite:アモサイト Riebeckite:クロシドライト  
 Tremolite/Actinolite:トレモライト/アクチノライト Anthophyllite:アンソフィライト  
 Calcite:カルサイト Quartz:石英 Tridymite:トリジマイト Cristobalite:クリストバライト  
 Vermiculite:バーミキュライト Hydrobiotite:ハイドロパイオタイト Brucite:ブルーサイト  
 Sepiolite:セピオライト Chlorite:クロライト Mica:マイカ Illite:イライト Feldspar:長石  
 Anhydrite:硬石膏 Rutile:酸化チタン Lizardite:リザルダイト Antigorite:アンチゴライト  
 Anatase:酸化チタン Talc:タルク Wollastonite:珪灰石 Un:未同定ピーク

「注意事項」 (2θ) 5° ~ 70° のX線回折プロファイルを添付。

1. 2) X線回折分析による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト/アクチノライト	無
アンソフィライト	無

試料名	クロス付石膏ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 和室 壁
採取年月日	令和6年8月5日
採取者	検査機関

## 2) 位相差・分散顕微鏡による定性分析

### 2. 1) 分析室の温度

分析室の温度 (°C)	24.7°C (サーモプレート温度 25.0°C)
-------------	---------------------------

### 2. 2) 分析結果記入欄

・アスベストの種類 ( クリソタイル ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.550$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	105	1000	0	14
2	102	1000	0	17
3	108	1000	0	13
合計	315	3000	0	44

・アスベストの種類 ( アモサイト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.680$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	108	1000	0	0
2	106	1000	0	0
3	102	1000	0	0
合計	316	3000	0	0

・アスベストの種類 ( クロシドライト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.690$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	107	1000	0	0
2	103	1000	0	0
3	104	1000	0	0
合計	314	3000	0	0

・アスベストの種類 ( トレモライト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.620$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	107	1000	0	0
2	105	1000	0	0
3	101	1000	0	0
合計	313	3000	0	0

試料名	クロス付石膏ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 和室 壁
採取年月日	令和6年8月5日
採取者	検査機関

・アスベストの種類 ( アクチノライト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.626$  又は  $1.628$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	104	1000	0	0
2	103	1000	0	0
3	108	1000	0	0
合計	315	3000	0	0

・アスベストの種類 ( アンソフィライト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.618$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	104	1000	0	0
2	108	1000	0	0
3	102	1000	0	0
合計	314	3000	0	0

### 2. 3) 位相差・分散顕微鏡による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト	無
アクチノライト	無
アンソフィライト	無

### 3) X線回折分析方法及び位相差・分散顕微鏡の定性分析結果に基づく最終判定結果

アスベストの種類	定性分析結果			アスベスト含有最終判定結果
	X線回折分析法	分散染色法		アスベスト含有の有無
	回折線ピークの有無	3000粒子中のアスペクト比3以上の繊維状粒子数	アスベストの有無	
クリソタイル	無	0	無	無
アモサイト	無	0	無	無
クロシドライト	無	0	無	無
トレモライト	無	0	無	無
アクチノライト		0	無	無
アンソフィライト	無	0	無	無

新潟市民病院

様

## 試験成績書

令和6年8月5日 付ご依頼の試験結果は、  
下記のとおりであったことを報告いたします。

試料名	塗材付下地調整材			
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫			
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内			
採取箇所	1階 病歴室(1) 梁			
採取年月日	令和6年8月5日			
採取者	検査機関			
特記事項				
	石綿	単位	定性結果	試験の方法
	クリソタイル	-	含有	備考(1)
	アモサイト	-	含有なし	備考(1)
	クロシドライト	-	含有なし	備考(1)
	トレモライト	-	含有なし	備考(1)
	アクチノライト	-	含有なし	備考(1)
	アンソフィライト	-	含有なし	備考(1)
	-以下余白-			
備考	(1) JIS A 1481-2:2016 建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部：試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法 件名：旧カルテ庫アスベスト分析調査委託業務 講習実施機関名：公益社団法人 日本作業環境測定協会			

試料名	塗材付下地調整材
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 病歴室(1) 梁
採取年月日	令和6年8月5日
採取者	検査機関

一次分析試料の作成方法（試料粉碎方法）

粉碎に使用した粉碎器の名称及び形式	粉碎器の名称	ボールミル
	粉碎器の製造業者・形式	フリッチュ ミニミルP-23
標準ふるいの目開き	425 $\mu$ m	

使用した測定機器

1) X線回折装置製造業者, 型式

X線回折装置製造業者, 型式	製造業者	リガク
	形式	Ultima IV (Protectus)

2) 位相差・分散顕微鏡の型式

顕微鏡の製造業者・型式	製造業者	ニコン
	形式	ECLIPSE 80iTP-DSPH
照明系	形式	12V100Wロングライフハロゲンランプ
コンデンサ	形式	C-C Phコンデンサ
対物レンズ	形式	PlanFluor40 $\times$ /0.75

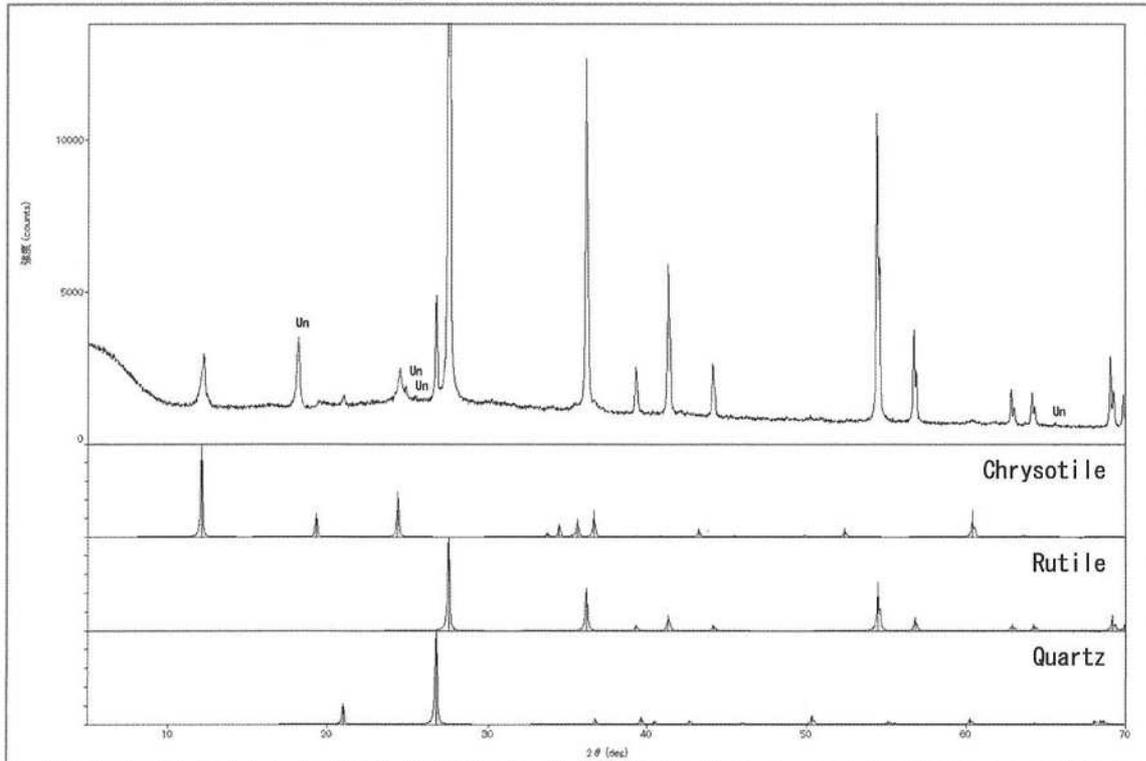
判定結果

1) X線回折装置の定性条件

設定項目	測定条件
X線対陰極	Cu
管電圧 (kV)	40
管電流 (mA)	40
単色化 (K $\beta$ 線の除去)	K $\beta$ フィルター
検出器	D/tex Ultra
フルスケール (cps)	オートスケール
時定数 (s)	—
走査速度 ( $^{\circ}$ /min)	10
発散縦制限スリット (mm)	10.00
発散スリット ( $^{\circ}$ )	1/2
散乱スリット (mm)	8.00
受光スリット (mm)	解放
走査範囲 ( $^{\circ}$ , $2\theta$ )	5 $^{\circ}$ ~ 70 $^{\circ}$

試料名	塗材付下地調整材
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 病歴室(1) 梁
採取年月日	令和6年8月5日
採取者	検査機関

1. 1) X線回折分析による定性分析 回折線プロファイル



「ピーク記号」

Chrysotile:クリソタイル Grunerite:アモサイト Riebeckite:クロシドライト  
Tremolite/Actinolite:トレモライト/アクチノライト Anthophyllite:アンソフィライト  
Calcite:カルサイト Quartz:石英 Tridymite:トリジマイト Cristobalite:クリストバライト  
Vermiculite:パーミキュライト Hydrobiotite:ハイドロバイオタイト Brucite:ブルーサイト  
Sepiolite:セピオライト Chlorite:クロライト Mica:マイカ Illite:イライト Feldspar:長石  
Anhydrite:硬石膏 Rutile:酸化チタン Lizardite:リザルダイト Antigorite:アンチゴライト  
Anatase:酸化チタン Talc:タルク Wollastonite:珪灰石 Un:未同定ピーク

「注意事項」 (2θ) 5° ~ 70° のX線回折プロファイルを添付。

1. 2) X線回折分析による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	有
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト/アクチノライト	無
アンソフィライト	無

試料名	塗材付下地調整材
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 病歴室(1) 梁
採取年月日	令和6年8月5日
採取者	検査機関

## 2) 位相差・分散顕微鏡による定性分析

### 2. 1) 分析室の温度

分析室の温度 (°C)	24.7°C (サーモプレート温度 25.0°C)
-------------	---------------------------

### 2. 2) 分析結果記入欄

・アスベストの種類 ( クリソタイル ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.550$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	105	1000	12	7
2	102	1000	9	4
3	105	1000	14	9
合計	312	3000	35	20

・アスベストの種類 ( アモサイト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.680$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	108	1000	0	0
2	102	1000	0	0
3	104	1000	0	0
合計	314	3000	0	0

・アスベストの種類 ( クロシドライト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.690$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	101	1000	0	0
2	104	1000	0	0
3	108	1000	0	0
合計	313	3000	0	0

・アスベストの種類 ( トレモライト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.620$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	105	1000	0	0
2	107	1000	0	0
3	102	1000	0	0
合計	314	3000	0	0

試料名	塗材付下地調整材
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 病歴室(1) 梁
採取年月日	令和6年8月5日
採取者	検査機関

・アスベストの種類 ( アクチノライト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.626$  又は  $1.628$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	105	1000	0	0
2	107	1000	0	0
3	103	1000	0	0
合計	315	3000	0	0

・アスベストの種類 ( アンソフィライト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.618$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	104	1000	0	0
2	106	1000	0	0
3	102	1000	0	0
合計	312	3000	0	0

### 2. 3) 位相差・分散顕微鏡による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	有
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト	無
アクチノライト	無
アンソフィライト	無

### 3) X線回折分析方法及び位相差・分散顕微鏡の定性分析結果に基づく最終判定結果

アスベストの種類	定性分析結果			アスベスト含有最終判定結果
	X線回折分析法	分散染色法		アスベスト含有の有無
	回折線ピークの有無	3000粒子中のアスペクト比3以上の繊維状粒子数	アスベストの有無	
クリソタイル	有	35	有	クリソタイル含有
アモサイト	無	0	無	無
クロシドライト	無	0	無	無
トレモライト	無	0	無	無
アクチノライト		0	無	無
アンソフィライト		0	無	無

新潟市民病院

様

## 試験成績書

令和6年8月5日 付ご依頼の試験結果は、  
下記のとおりであったことを報告いたします。

試料名	木目調クロス付ボード		
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫		
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内		
採取箇所	1階 和室 天井		
採取年月日	令和6年8月5日		
採取者	検査機関		
特記事項			
石綿	単位	定性結果	試験の方法
クリソタイル	-	含有なし	備考(1)
アモサイト	-	含有なし	備考(1)
クロシドライト	-	含有なし	備考(1)
トレモライト	-	含有なし	備考(1)
アクチノライト	-	含有なし	備考(1)
アンソフィライト	-	含有なし	備考(1)
-以下余白-			
備考	(1) JIS A 1481-2:2016 建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部：試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法 件名：旧カルテ庫アスベスト分析調査委託業務 講習実施機関名：公益社団法人 日本作業環境測定協会		

試料名	木目調クロス付ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 和室 天井
採取年月日	令和6年8月5日
採取者	検査機関

#### 一次分析試料の作成方法（試料粉碎方法）

粉碎に使用した粉碎器の名称及び形式	粉碎器の名称	ボールミル
	粉碎器の製造業者・形式	フリッチュ ミニミルP-23
標準ふるいの目開き	425 $\mu$ m	

#### 使用した測定機器

##### 1) X線回折装置製造業者, 型式

X線回折装置製造業者, 型式	製造業者	リガク
	形式	Ultima IV (Protectus)

##### 2) 位相差・分散顕微鏡の型式

顕微鏡の製造業者・型式	製造業者	ニコン
	形式	ECLIPSE 80i TP-DSPH
照明系	形式	12V100Wロングライフハロゲンランプ
コンデンサ	形式	C-C Phコンデンサ
対物レンズ	形式	PlanFluor40 $\times$ /0.75

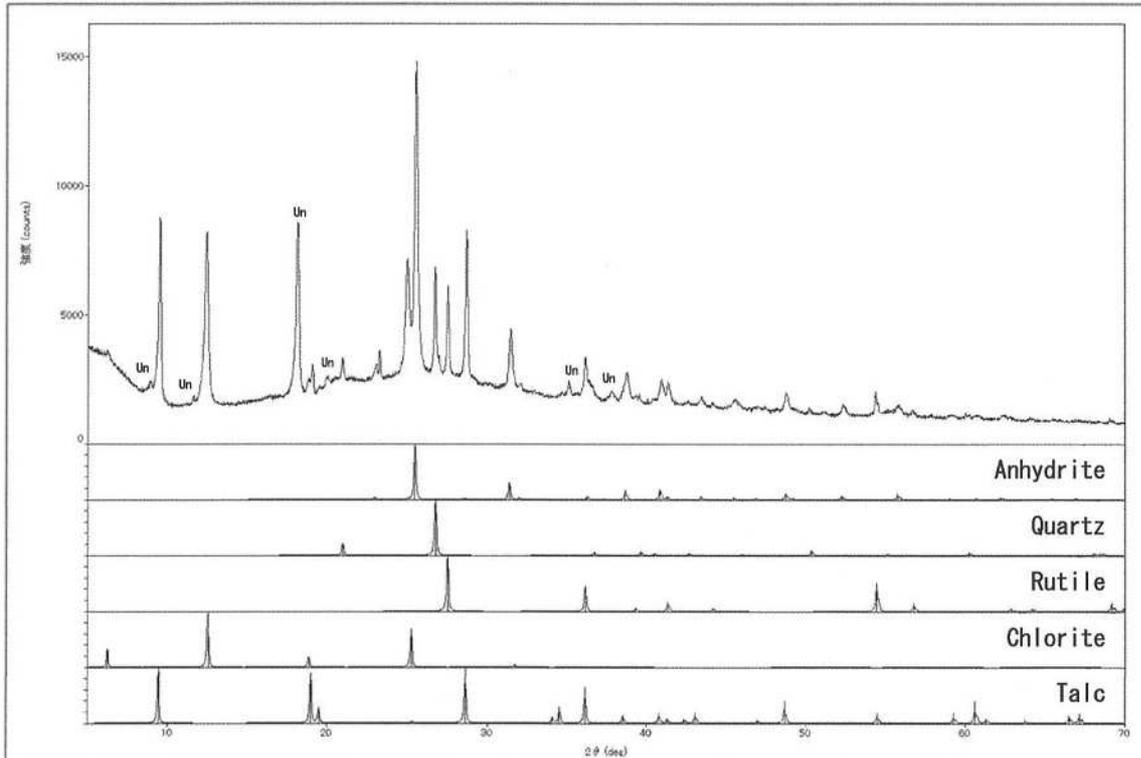
#### 判定結果

##### 1) X線回折装置の定性条件

設定項目	測定条件
X線対陰極	Cu
管電圧 (kV)	40
管電流 (mA)	40
単色化 ( $K_{\beta}$ 線の除去)	$K_{\beta}$ フィルター
検出器	D/tex Ultra
フルスケール (cps)	オートスケール
時定数 (s)	—
走査速度 ( $^{\circ}$ /min)	10
発散縦制限スリット (mm)	10.00
発散スリット ( $^{\circ}$ )	1/2
散乱スリット (mm)	8.00
受光スリット (mm)	解放
走査範囲 ( $^{\circ}$ , $2\theta$ )	$5^{\circ}$ ~ $70^{\circ}$

試料名	木目調クロス付ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 和室 天井
採取年月日	令和6年8月5日
採取者	検査機関

1. 1) X線回折分析による定性分析 回折線プロファイル



「ピーク記号」  
 Chrysotile:クリソタイル Grunerite:アモサイト Riebeckite:クロシドライト  
 Tremolite/Actinolite:トレモライト/アクチノライト Anthophyllite:アンソフィライト  
 Calcite:カルサイト Quartz:石英 Tridymite:トリジマイト Cristobalite:クリストバライト  
 Vermiculite:バーミキュライト Hydrobiotite:ハイドロバイオタイト Brucite:ブルーサイト  
 Sepiolite:セピオライト Chlorite:クロライト Mica:マイカ Illite:イライト Feldspar:長石  
 Anhydrite:硬石膏 Rutile:酸化チタン Lizardite:リザルダイト Antigorite:アンチゴライト  
 Anatase:酸化チタン Talc:タルク Wollastonite:珪灰石 Un:未同定ピーク

「注意事項」 (2θ) 5° ~ 70° のX線回折プロファイルを添付。

1. 2) X線回折分析による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト/アクチノライト	無
アンソフィライト	無

試料名	木目調クロス付ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 和室 天井
採取年月日	令和6年8月5日
採取者	検査機関

## 2) 位相差・分散顕微鏡による定性分析

### 2. 1) 分析室の温度

分析室の温度 (°C)	24.7°C (サーモプレート温度 25.0°C)
-------------	---------------------------

### 2. 2) 分析結果記入欄

・アスベストの種類 ( クリソタイル ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.550$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	103	1000	0	9
2	107	1000	0	13
3	104	1000	0	10
合計	314	3000	0	32

・アスベストの種類 ( アモサイト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.680$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	101	1000	0	0
2	103	1000	0	0
3	109	1000	0	0
合計	313	3000	0	0

・アスベストの種類 ( クロシドライト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.690$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	104	1000	0	0
2	102	1000	0	0
3	108	1000	0	0
合計	314	3000	0	0

・アスベストの種類 ( トレモライト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.620$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	104	1000	0	0
2	108	1000	0	0
3	103	1000	0	0
合計	315	3000	0	0

試料名	木目調クロス付ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 和室 天井
採取年月日	令和6年8月5日
採取者	検査機関

・アスベストの種類 ( アクチノライト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ C} = 1.626$  又は  $1.628$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	104	1000	0	0
2	102	1000	0	0
3	109	1000	0	0
合計	315	3000	0	0

・アスベストの種類 ( アンソフィライト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ C} = 1.618$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	103	1000	0	0
2	109	1000	0	0
3	101	1000	0	0
合計	313	3000	0	0

### 2. 3) 位相差・分散顕微鏡による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト	無
アクチノライト	無
アンソフィライト	無

### 3) X線回折分析方法及び位相差・分散顕微鏡の定性分析結果に基づく最終判定結果

アスベストの種類	定性分析結果			アスベスト含有最終判定結果
	X線回折分析法	分散染色法		アスベスト含有の有無
	回折線ピークの有無	3000粒子中のアスペクト比3以上の繊維状粒子数	アスベストの有無	
クリソタイル	無	0	無	無
アモサイト	無	0	無	無
クロシドライト	無	0	無	無
トレモライト	無	0	無	無
アクチノライト		0	無	無
アンソフィライト	無	0	無	無

新潟市民病院

様

## 試験成績書

令和6年8月5日 付ご依頼の試験結果は、  
下記のとおりであったことを報告いたします。

試料名	配管(保温材)			
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫			
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内			
採取箇所	2階 病歴室(3) 上部			
採取年月日	令和6年8月5日			
採取者	検査機関			
特記事項				
	石綿	単位	定性結果	試験の方法
	クリソタイル	—	含有なし	備考(1)
	アモサイト	—	含有なし	備考(1)
	クロシドライト	—	含有なし	備考(1)
	トレモライト	—	含有なし	備考(1)
	アクチノライト	—	含有なし	備考(1)
	アンソフィライト	—	含有なし	備考(1)
	—以下余白—			
備考	(1) JIS A 1481-2:2016 建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部：試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法 件名：旧カルテ庫アスベスト分析調査委託業務 講習実施機関名：公益社団法人 日本作業環境測定協会			

試料名	配管 (保温材)
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 病歴室 (3) 上部
採取年月日	令和6年8月5日
採取者	検査機関

#### 一次分析試料の作成方法 (試料粉碎方法)

粉碎に使用した粉碎器の名称及び形式	粉碎器の名称	ボールミル
	粉碎器の製造業者・形式	フリッチュ ミニミルP-23
標準ふるいの目開き	425 $\mu$ m	

#### 使用した測定機器

##### 1) X線回折装置製造業者, 型式

X線回折装置製造業者, 型式	製造業者	リガク
	形式	Ultima IV (Protectus)

##### 2) 位相差・分散顕微鏡の型式

顕微鏡の製造業者・型式	製造業者	ニコン
	形式	ECLIPSE 80iTP-DSPH
照明系	形式	12V100Wロングライフハロゲンランプ
コンデンサ	形式	C-C Phコンデンサ
対物レンズ	形式	PlanFluor40 $\times$ /0.75

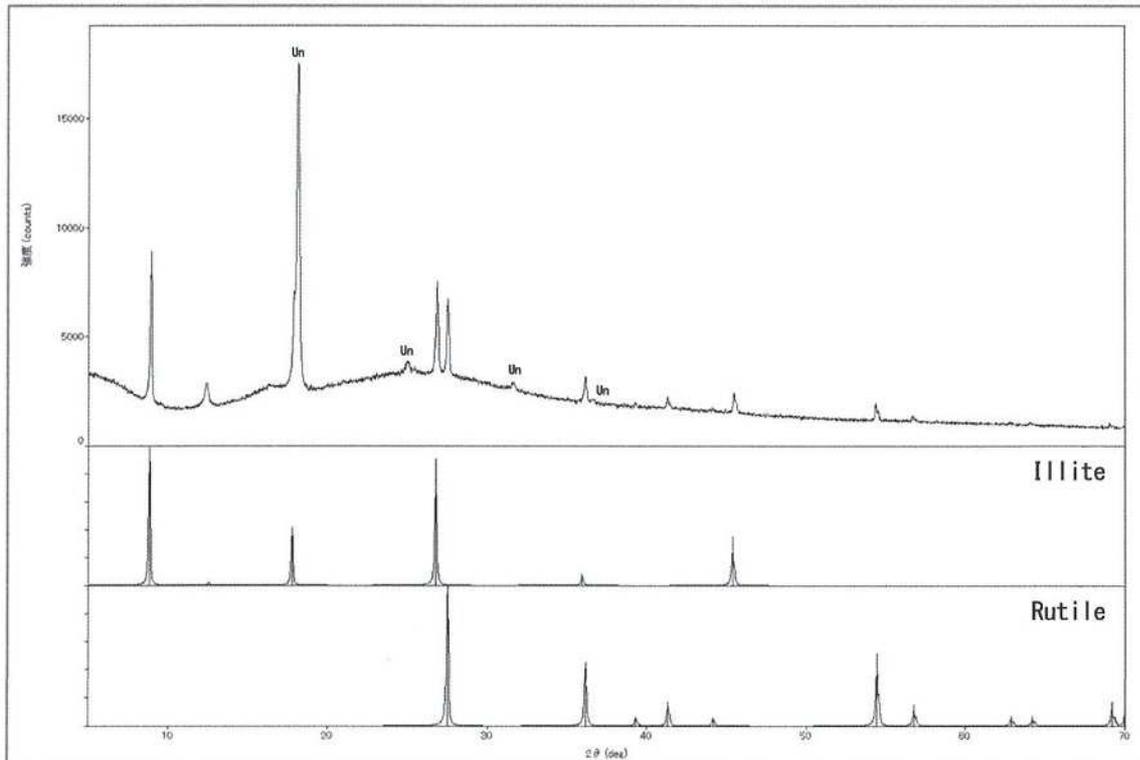
#### 判定結果

##### 1) X線回折装置の定性条件

設定項目	測定条件
X線対陰極	Cu
管電圧 (kV)	40
管電流 (mA)	40
単色化 (K $\beta$ 線の除去)	K $\beta$ フィルター
検出器	D/tex Ultra
フルスケール (cps)	オートスケール
時定数 (s)	—
走査速度 ( $^{\circ}$ /min)	10
発散縦制限スリット (mm)	10.00
発散スリット ( $^{\circ}$ )	1/2
散乱スリット (mm)	8.00
受光スリット (mm)	解放
走査範囲 ( $^{\circ}$ , $2\theta$ )	$5^{\circ}$ ~ $70^{\circ}$

試料名	配管 (保温材)
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 病歴室 (3) 上部
採取年月日	令和6年8月5日
採取者	検査機関

1. 1) X線回折分析による定性分析 回折線プロファイル



「ピーク記号」

Chrysotile:クリソタイル Grunerite:アモサイト Riebeckite:クロシドライト  
Tremolite/Actinolite:トレモライト/アクチノライト Anthophyllite:アンソフィライト  
Calcite:カルサイト Quartz:石英 Tridymite:トリジマイト Cristobalite:クリストバライト  
Vermiculite:パーミキュライト Hydrobiotite:ハイドロバイオタイト Brucite:ブルーサイト  
Sepiolite:セピオライト Chlorite:クロライト Mica:マイカ Illite:イライト Feldspar:長石  
Anhydrite:硬石膏 Rutile:酸化チタン Lizardite:リザルダイト Antigorite:アンチゴライト  
Anatase:酸化チタン Talc:タルク Wollastonite:珪灰石 Un:未同定ピーク

「注意事項」 (2θ) 5° ~ 70° のX線回折プロファイルを添付。

1. 2) X線回折分析による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト/アクチノライト	無
アンソフィライト	無

試料名	配管（保温材）
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 病歴室（3） 上部
採取年月日	令和6年8月5日
採取者	検査機関

## 2) 位相差・分散顕微鏡による定性分析

### 2. 1) 分析室の温度

分析室の温度（℃）	24.8℃（サーモプレート温度 25.0℃）
-----------	------------------------

### 2. 2) 分析結果記入欄

・アスベストの種類（クリソタイル） 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.550$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	108	1000	0	4
2	102	1000	0	2
3	105	1000	0	3
合計	315	3000	0	9

・アスベストの種類（アモサイト） 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.680$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	107	1000	0	0
2	105	1000	0	0
3	102	1000	0	0
合計	314	3000	0	0

・アスベストの種類（クロシドライト） 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.690$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	102	1000	0	0
2	105	1000	0	0
3	106	1000	0	0
合計	313	3000	0	0

・アスベストの種類（トレモライト） 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.620$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	102	1000	0	0
2	103	1000	0	0
3	106	1000	0	0
合計	311	3000	0	0

試料名	配管（保温材）
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 病歴室（3） 上部
採取年月日	令和6年8月5日
採取者	検査機関

・アスベストの種類（ アクチノライト ） 屈折率  $n_D^{25^\circ C} = 1.626$  又は  $1.628$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	104	1000	0	0
2	107	1000	0	0
3	105	1000	0	0
合計	316	3000	0	0

・アスベストの種類（ アンソフィライト ） 屈折率  $n_D^{25^\circ C} = 1.618$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	106	1000	0	0
2	106	1000	0	0
3	102	1000	0	0
合計	314	3000	0	0

### 2. 3) 位相差・分散顕微鏡による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト	無
アクチノライト	無
アンソフィライト	無

### 3) X線回折分析方法及び位相差・分散顕微鏡の定性分析結果に基づく最終判定結果

アスベストの種類	定性分析結果			アスベスト含有最終判定結果
	X線回折分析法	分散染色法		アスベスト含有の有無
	回折線ピークの有無	3000粒子中のアスペクト比3以上の繊維状粒子数	アスベストの有無	
クリソタイル	無	0	無	無
アモサイト	無	0	無	無
クロシドライト	無	0	無	無
トレモライト	無	0	無	無
アクチノライト		0	無	無
アンソフィライト	無	0	無	無

新潟市民病院

様

## 試験成績書

令和6年8月6日 付ご依頼の試験結果は、  
下記のとおりであったことを報告いたします。

試料名	石膏ボード			
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫			
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内			
採取箇所	2階 病歴室(2)、病歴室(3) 天井			
採取年月日	令和6年8月6日			
採取者	検査機関			
特記事項				
	石綿	単位	定性結果	試験の方法
	クリソタイル	—	含有なし	備考(1)
	アモサイト	—	含有なし	備考(1)
	クロシドライト	—	含有なし	備考(1)
	トレモライト	—	含有なし	備考(1)
	アクチノライト	—	含有なし	備考(1)
	アンソフィライト	—	含有なし	備考(1)
	—以下余白—			
備考	(1) JIS A 1481-2:2016 建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部：試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法 件名：旧カルテ庫アスベスト分析調査委託業務 講習実施機関名：公益社団法人 日本作業環境測定協会			

試料名	石膏ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 病歴室(2)、病歴室(3) 天井
採取年月日	令和6年8月6日
採取者	検査機関

#### 一次分析試料の作成方法（試料粉碎方法）

粉碎に使用した粉碎器の名称及び形式	粉碎器の名称	ボールミル
	粉碎器の製造業者・形式	フリッチュ ミニミルP-23
標準ふるいの目開き	425 $\mu\text{m}$	

#### 使用した測定機器

##### 1) X線回折装置製造業者、型式

X線回折装置製造業者、型式	製造業者	リガク
	形式	Ultima IV (Protectus)

##### 2) 位相差・分散顕微鏡の型式

顕微鏡の製造業者・型式	製造業者	ニコン
	形式	ECLIPSE 80iTP-DSPH
照明系	形式	12V100Wロングライフハロゲンランプ
コンデンサ	形式	C-C Phコンデンサ
対物レンズ	形式	PlanFluor40 $\times$ /0.75

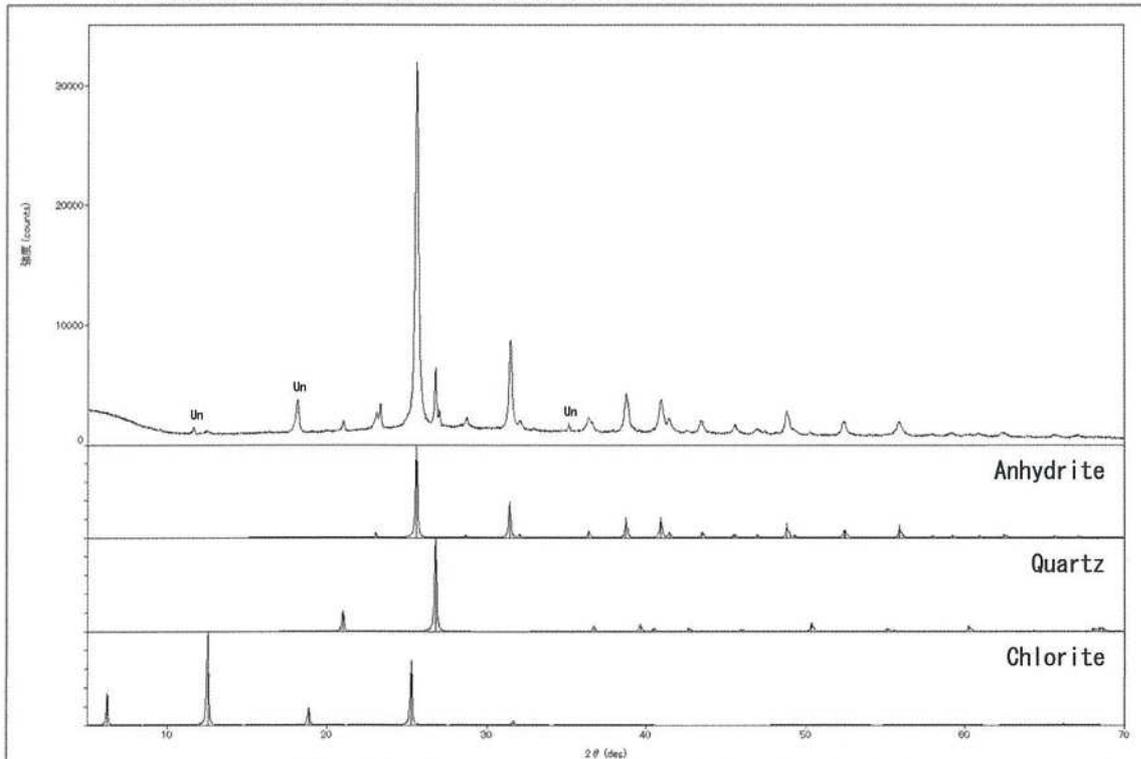
#### 判定結果

##### 1) X線回折装置の定性条件

設定項目	測定条件
X線対陰極	Cu
管電圧 (kV)	40
管電流 (mA)	40
単色化 (K $\beta$ 線の除去)	K $\beta$ フィルター
検出器	D/tex Ultra
フルスケール (cps)	オートスケール
時定数 (s)	—
走査速度 ( $^{\circ}$ /min)	10
発散縦制限スリット (mm)	10.00
発散スリット ( $^{\circ}$ )	1/2
散乱スリット (mm)	8.00
受光スリット (mm)	解放
走査範囲 ( $^{\circ}$ , $2\theta$ )	$5^{\circ}$ ~ $70^{\circ}$

試料名	石膏ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 病歴室(2)、病歴室(3) 天井
採取年月日	令和6年8月6日
採取者	検査機関

1. 1) X線回折分析による定性分析 回折線プロファイル



「ピーク記号」

Chrysotile:クリソタイル Grunerite:アモサイト Riebeckite:クロシドライト  
Tremolite/Actinolite:トレモライト/アクチノライト Anthophyllite:アンソフィライト  
Calcite:カルサイト Quartz:石英 Tridymite:トリジマイト Cristobalite:クリストバライト  
Vermiculite:バーミキュライト Hydrobiotite:ハイドロバイオタイト Brucite:ブルーサイト  
Sepiolite:セピオライト Chlorite:クロライト Mica:マイカ Illite:イライト Feldspar:長石  
Anhydrite:硬石膏 Rutile:酸化チタン Lizardite:リザルダイト Antigorite:アンチゴライト  
Anatase:酸化チタン Talc:タルク Wollastonite:珪灰石 Un:未同定ピーク

「注意事項」 (2θ) 5° ~ 70° のX線回折プロファイルを添付。

1. 2) X線回折分析による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト/アクチノライト	無
アンソフィライト	無

試料名	石膏ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 病歴室(2)、病歴室(3) 天井
採取年月日	令和6年8月6日
採取者	検査機関

## 2) 位相差・分散顕微鏡による定性分析

### 2. 1) 分析室の温度

分析室の温度 (°C)	24.7°C (サーモプレート温度 25.0°C)
-------------	---------------------------

### 2. 2) 分析結果記入欄

・アスベストの種類 ( クリソタイル ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.550$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	106	1000	0	7
2	104	1000	0	10
3	106	1000	0	8
合計	316	3000	0	25

・アスベストの種類 ( アモサイト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.680$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	104	1000	0	0
2	107	1000	0	0
3	101	1000	0	0
合計	312	3000	0	0

・アスベストの種類 ( クロシドライト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.690$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	102	1000	0	0
2	108	1000	0	0
3	103	1000	0	0
合計	313	3000	0	0

・アスベストの種類 ( トレモライト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.620$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	102	1000	0	0
2	107	1000	0	0
3	105	1000	0	0
合計	314	3000	0	0

試料名	石膏ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 病歴室(2)、病歴室(3) 天井
採取年月日	令和6年8月6日
採取者	検査機関

・アスベストの種類 ( アクチノライト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ C} = 1.626$  又は  $1.628$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	102	1000	0	0
2	105	1000	0	0
3	104	1000	0	0
合計	311	3000	0	0

・アスベストの種類 ( アンソフィライト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ C} = 1.618$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	106	1000	0	0
2	101	1000	0	0
3	107	1000	0	0
合計	314	3000	0	0

### 2. 3) 位相差・分散顕微鏡による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト	無
アクチノライト	無
アンソフィライト	無

### 3) X線回折分析方法及び位相差・分散顕微鏡の定性分析結果に基づく最終判定結果

アスベストの種類	定性分析結果			アスベスト含有最終判定結果
	X線回折分析法	分散染色法		アスベスト含有の有無
	回折線ピークの有無	3000粒子中のアスペクト比3以上の繊維状粒子数	アスベストの有無	
クリソタイル	無	0	無	無
アモサイト	無	0	無	無
クロシドライト	無	0	無	無
トレモライト	無	0	無	無
アクチノライト		0	無	無
アンソフィライト	無	0	無	無

新潟市民病院

様

## 試験成績書

令和6年8月6日 付ご依頼の試験結果は、  
下記のとおりであったことを報告いたします。

試料名	塗材付下地調整材			
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫			
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内			
採取箇所	2階 病歴室(2)、病歴室(3) 梁			
採取年月日	令和6年8月6日			
採取者	検査機関			
特記事項				
	石綿	単位	定性結果	試験の方法
	クリソタイル	—	含有	備考(1)
	アモサイト	—	含有なし	備考(1)
	クロシドライト	—	含有なし	備考(1)
	トレモライト	—	含有なし	備考(1)
	アクチノライト	—	含有なし	備考(1)
	アンソフィライト	—	含有なし	備考(1)
	—以下余白—			
備考	(1) JIS A 1481-2:2016 建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部：試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法 件名：旧カルテ庫アスベスト分析調査委託業務 講習実施機関名：公益社団法人 日本作業環境測定協会			

試料名	塗材付下地調整材
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 病歴室(2)、病歴室(3) 梁
採取年月日	令和6年8月6日
採取者	検査機関

#### 一次分析試料の作成方法 (試料粉碎方法)

粉碎に使用した粉碎器の名称及び形式	粉碎器の名称	ボールミル
	粉碎器の製造業者・形式	フリッチュ ミニミルP-23
標準ふるいの目開き	425 $\mu$ m	

#### 使用した測定機器

##### 1) X線回折装置製造業者, 型式

X線回折装置製造業者, 型式	製造業者	リガク
	形式	Ultima IV (Protectus)

##### 2) 位相差・分散顕微鏡の型式

顕微鏡の製造業者・型式	製造業者	ニコン
	形式	ECLIPSE 80iTP-DSPH
照明系	形式	12V100Wロングライフハロゲンランプ
コンデンサ	形式	C-C Phコンデンサ
対物レンズ	形式	PlanFluor40 $\times$ /0.75

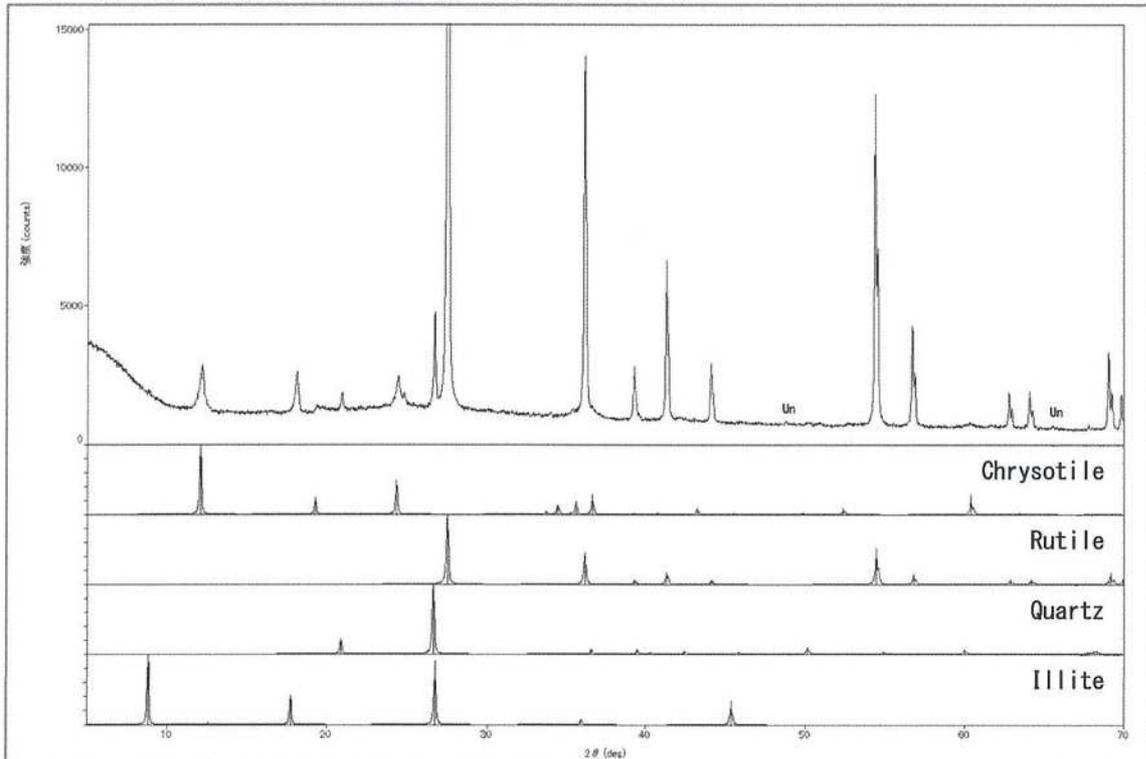
#### 判定結果

##### 1) X線回折装置の定性条件

設定項目	測定条件
X線対陰極	Cu
管電圧 (kV)	40
管電流 (mA)	40
単色化 (K $\beta$ 線の除去)	K $\beta$ フィルター
検出器	D/tex Ultra
フルスケール (cps)	オートスケール
時定数 (s)	—
走査速度 ( $^{\circ}$ /min)	10
発散縦制限スリット (mm)	10.00
発散スリット ( $^{\circ}$ )	1/2
散乱スリット (mm)	8.00
受光スリット (mm)	解放
走査範囲 ( $^{\circ}$ , 2 $\theta$ )	5 $^{\circ}$ ~ 70 $^{\circ}$

試料名	塗材付下地調整材
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 病歴室(2)、病歴室(3) 梁
採取年月日	令和6年8月6日
採取者	検査機関

1. 1) X線回折分析による定性分析 回折線プロファイル



「ピーク記号」

Chrysotile:クリソタイル Grunerite:アモサイト Riebeckite:クロシドライト  
Tremolite/Actinolite:トレモライト/アクチノライト Anthophyllite:アンソフィライト  
Calcite:カルサイト Quartz:石英 Tridymite:トリジマイト Cristobalite:クリストバライト  
Vermiculite:バーミキュライト Hydrobiotite:ハイドロバイオタイト Brucite:ブルーサイト  
Sepiolite:セピオライト Chlorite:クロライト Mica:マイカ Illite:イライト Feldspar:長石  
Anhydrite:硬石膏 Rutile:酸化チタン Lizardite:リザルダイト Antigorite:アンチゴライト  
Anatase:酸化チタン Talc:タルク Wollastonite:珪灰石 Un:未同定ピーク

「注意事項」 (2θ) 5° ~ 70° のX線回折プロファイルを添付。

1. 2) X線回折分析による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	有
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト/アクチノライト	無
アンソフィライト	無

試料名	塗材付下地調整材
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 病歴室(2)、病歴室(3) 梁
採取年月日	令和6年8月6日
採取者	検査機関

## 2) 位相差・分散顕微鏡による定性分析

### 2. 1) 分析室の温度

分析室の温度(℃)	24.7℃ (サーモプレート温度 25.0℃)
-----------	-------------------------

### 2. 2) 分析結果記入欄

・アスベストの種類 ( クリソタイル ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.550$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	105	1000	21	8
2	107	1000	17	7
3	103	1000	16	11
合計	315	3000	54	26

・アスベストの種類 ( アモサイト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.680$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	108	1000	0	0
2	102	1000	0	0
3	105	1000	0	0
合計	315	3000	0	0

・アスベストの種類 ( クロシドライト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.690$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	107	1000	0	0
2	102	1000	0	0
3	103	1000	0	0
合計	312	3000	0	0

・アスベストの種類 ( トレモライト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.620$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	101	1000	0	0
2	106	1000	0	0
3	106	1000	0	0
合計	313	3000	0	0

試料名	塗材付下地調整材
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 病歴室(2)、病歴室(3) 梁
採取年月日	令和6年8月6日
採取者	検査機関

・アスベストの種類 ( アクチノライト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ C} = 1.626$  又は  $1.628$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	107	1000	0	0
2	105	1000	0	0
3	102	1000	0	0
合計	314	3000	0	0

・アスベストの種類 ( アンソフィライト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ C} = 1.618$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	102	1000	0	0
2	106	1000	0	0
3	104	1000	0	0
合計	312	3000	0	0

### 2. 3) 位相差・分散顕微鏡による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	有
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト	無
アクチノライト	無
アンソフィライト	無

### 3) X線回折分析方法及び位相差・分散顕微鏡の定性分析結果に基づく最終判定結果

アスベストの種類	定性分析結果			アスベスト含有最終判定結果
	X線回折分析法	分散染色法		
	回折線ピークの有無	3000粒子中のアスペクト比3以上の繊維状粒子数	アスベストの有無	アスベスト含有の有無
クリソタイル	有	54	有	クリソタイル含有
アモサイト	無	0	無	無
クロシドライト	無	0	無	無
トレモライト	無	0	無	無
アクチノライト		0	無	無
アンソフィライト		0	無	無

新潟市民病院

様

## 試験成績書

令和6年8月5日 付ご依頼の試験結果は、  
下記のとおりであったことを報告いたします。

試料名	EP付石膏ボード			
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫			
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内			
採取箇所	2階 廊下、病歴室(2)、病歴室(3) 壁			
採取年月日	令和6年8月5日			
採取者	検査機関			
特記事項				
	石綿	単位	定性結果	試験の方法
	クリソタイル	—	含有なし	備考(1)
	アモサイト	—	含有なし	備考(1)
	クロシドライト	—	含有なし	備考(1)
	トレモライト	—	含有なし	備考(1)
	アクチノライト	—	含有なし	備考(1)
	アンソフィライト	—	含有なし	備考(1)
	—以下余白—			
備考	(1) JIS A 1481-2:2016 建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部：試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法 件名：旧カルテ庫アスベスト分析調査委託業務 講習実施機関名：公益社団法人 日本作業環境測定協会			

試料名	EP付石膏ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 廊下、病歴室(2)、病歴室(3) 壁
採取年月日	令和6年8月5日
採取者	検査機関

#### 一次分析試料の作成方法 (試料粉碎方法)

粉碎に使用した粉碎器の名称 及び形式	粉碎器の名称	ボールミル
	粉碎器の 製造業者・形式	フリッチュ ミニミルP-23
標準ふるいの目開き	425 $\mu$ m	

#### 使用した測定機器

##### 1) X線回折装置製造業者、型式

X線回折装置製造業者、型式	製造業者	リガク
	形式	Ultima IV (Protectus)

##### 2) 位相差・分散顕微鏡の型式

顕微鏡の製造業者・型式	製造業者	ニコン
	形式	ECLIPSE 80iTP-DSPH
照明系	形式	12V100Wロングライフハロゲンランプ
コンデンサ	形式	C-C Phコンデンサ
対物レンズ	形式	PlanFluor40 $\times$ /0.75

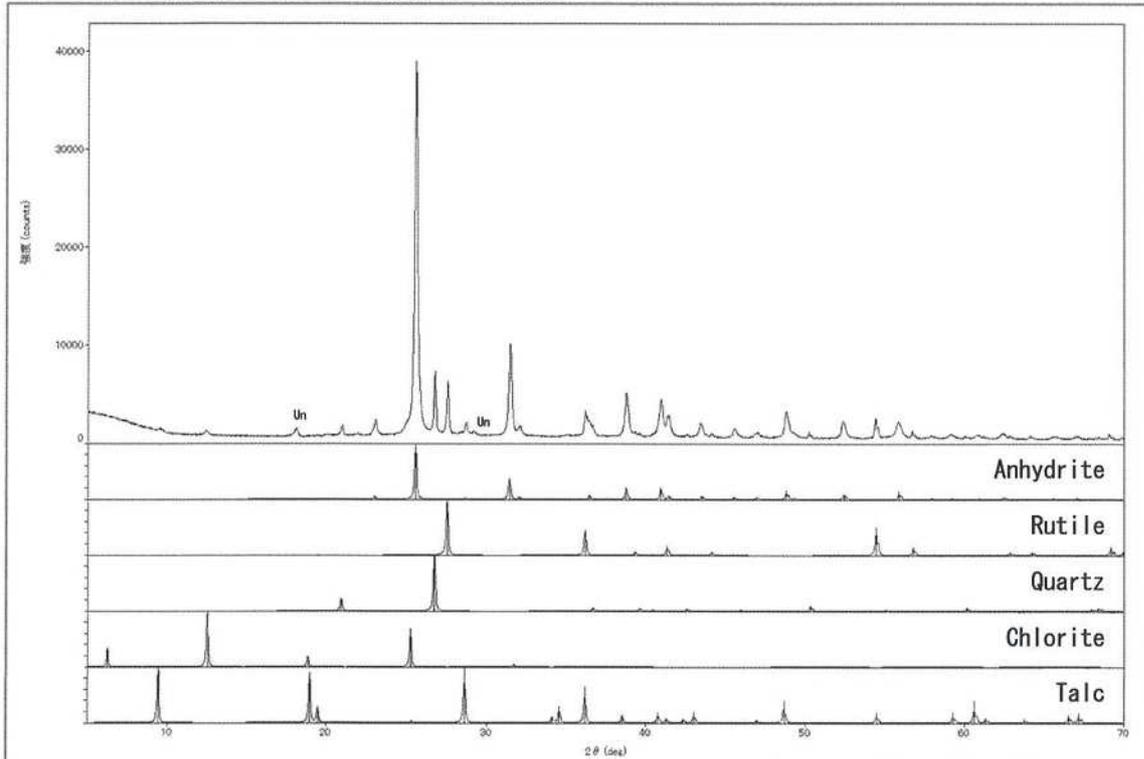
#### 判定結果

##### 1) X線回折装置の定性条件

設定項目	測定条件
X線対陰極	Cu
管電圧 (kV)	40
管電流 (mA)	40
単色化 ( $K_{\beta}$ 線の除去)	$K_{\beta}$ フィルター
検出器	D/tex Ultra
フルスケール (cps)	オートスケール
時定数 (s)	—
走査速度 ( $^{\circ}$ /min)	10
発散縦制限スリット (mm)	10.00
発散スリット ( $^{\circ}$ )	1/2
散乱スリット (mm)	8.00
受光スリット (mm)	解放
走査範囲 ( $^{\circ}$ , $2\theta$ )	$5^{\circ}$ ~ $70^{\circ}$

試料名	E P付石膏ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 廊下、病歴室(2)、病歴室(3) 壁
採取年月日	令和6年8月5日
採取者	検査機関

1. 1) X線回折分析による定性分析 回折線プロファイル



「ピーク記号」

Chrysotile:クリソタイル Grunerite:アモサイト Riebeckite:クロシドライト  
Tremolite/Actinolite:トレモライト/アクチノライト Anthophyllite:アンソフィライト  
Calcite:カルサイト Quartz:石英 Tridymite:トリジマイト Cristobalite:クリストバライト  
Vermiculite:バーミキュライト Hydrobiotite:ハイドロバイオタイト Brucite:ブルーサイト  
Sepiolite:セピオライト Chlorite:クロライト Mica:マイカ Illite:イライト Feldspar:長石  
Anhydrite:硬石膏 Rutile:酸化チタン Lizardite:リザルダイト Antigorite:アンチゴライト  
Anatase:酸化チタン Talc:タルク Wollastonite:珪灰石 Un:未同定ピーク

「注意事項」 (2θ) 5° ~ 70° のX線回折プロファイルを添付。

1. 2) X線回折分析による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト/アクチノライト	無
アンソフィライト	無

試料名	EP付石膏ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 廊下、病歴室(2)、病歴室(3) 壁
採取年月日	令和6年8月5日
採取者	検査機関

## 2) 位相差・分散顕微鏡による定性分析

### 2. 1) 分析室の温度

分析室の温度(℃)	24.7℃ (サーモプレート温度 25.0℃)
-----------	-------------------------

### 2. 2) 分析結果記入欄

・アスベストの種類 ( クリソタイル ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.550$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	107	1000	0	9
2	103	1000	0	11
3	102	1000	0	8
合計	312	3000	0	28

・アスベストの種類 ( アモサイト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.680$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	102	1000	0	0
2	108	1000	0	0
3	105	1000	0	0
合計	315	3000	0	0

・アスベストの種類 ( クロシドライト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.690$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	104	1000	0	0
2	103	1000	0	0
3	105	1000	0	0
合計	312	3000	0	0

・アスベストの種類 ( トレモライト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.620$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	102	1000	0	0
2	107	1000	0	0
3	105	1000	0	0
合計	314	3000	0	0

試料名	EP付石膏ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 廊下、病歴室(2)、病歴室(3) 壁
採取年月日	令和6年8月5日
採取者	検査機関

・アスベストの種類 ( アクチノライト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ C} = 1.626$  又は  $1.628$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	103	1000	0	0
2	106	1000	0	0
3	104	1000	0	0
合計	313	3000	0	0

・アスベストの種類 ( アンソフィライト ) 屈折率  $n_D^{25^\circ C} = 1.618$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	105	1000	0	0
2	101	1000	0	0
3	106	1000	0	0
合計	312	3000	0	0

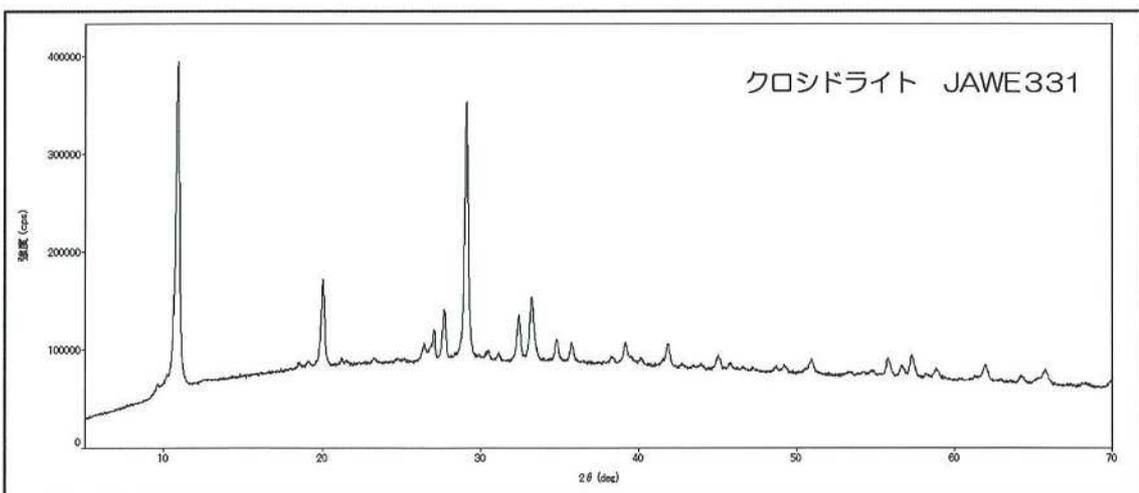
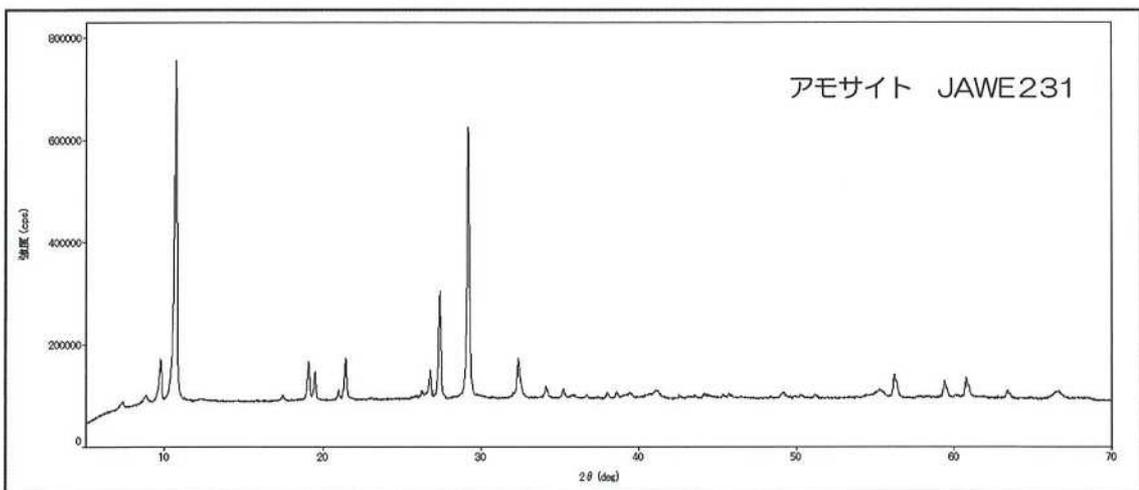
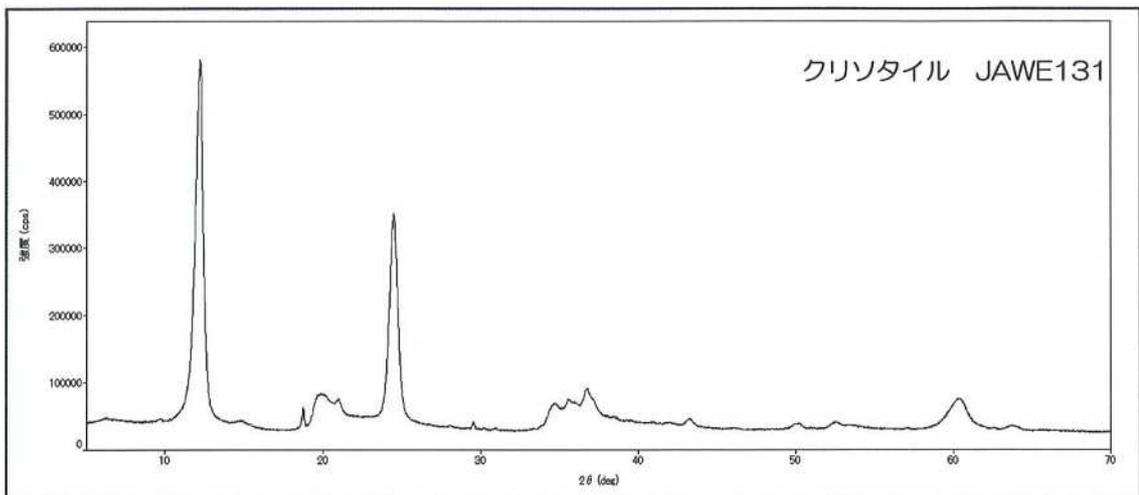
### 2. 3) 位相差・分散顕微鏡による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト	無
アクチノライト	無
アンソフィライト	無

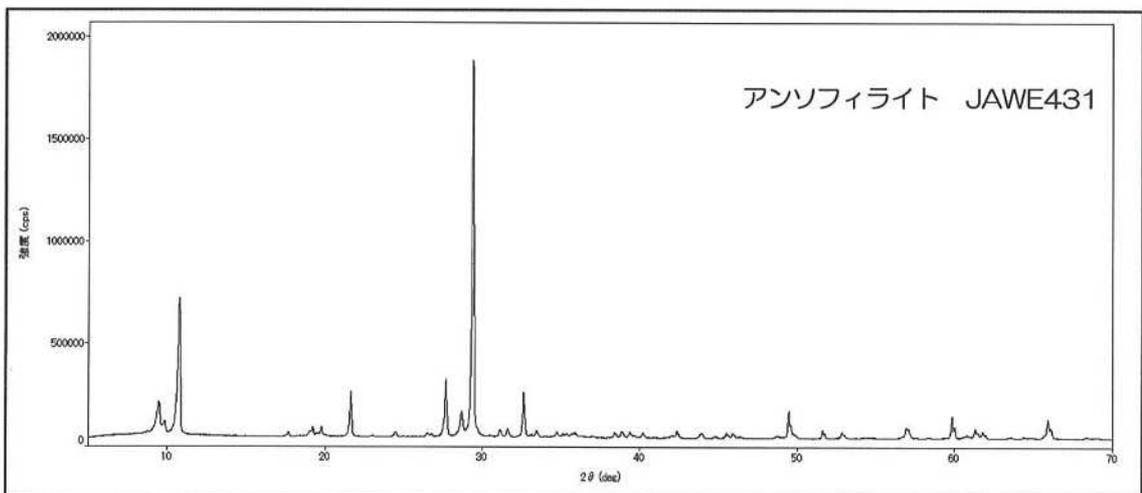
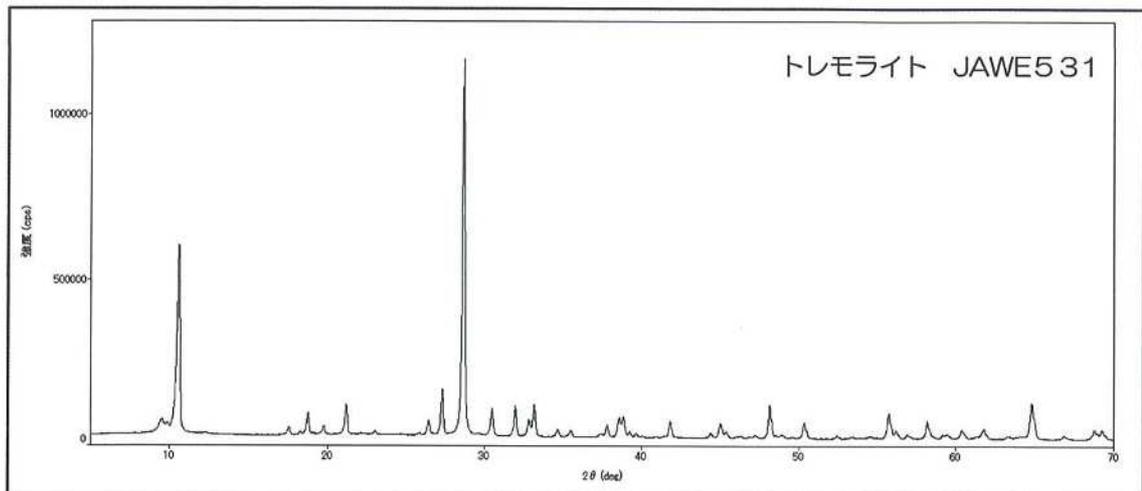
### 3) X線回折分析方法及び位相差・分散顕微鏡の定性分析結果に基づく最終判定結果

アスベストの種類	定性分析結果			アスベスト含有最終判定結果
	X線回折分析法	分散染色法		アスベスト含有の有無
	回折線ピークの有無	3000粒子中のアスペクト比3以上の繊維状粒子数	アスベストの有無	
クリソタイル	無	0	無	無
アモサイト	無	0	無	無
クロシドライト	無	0	無	無
トレモライト	無	0	無	無
アクチノライト		0	無	無
アンソフィライト	無	0	無	無

# 分析対象アスベストのX線回折パターン

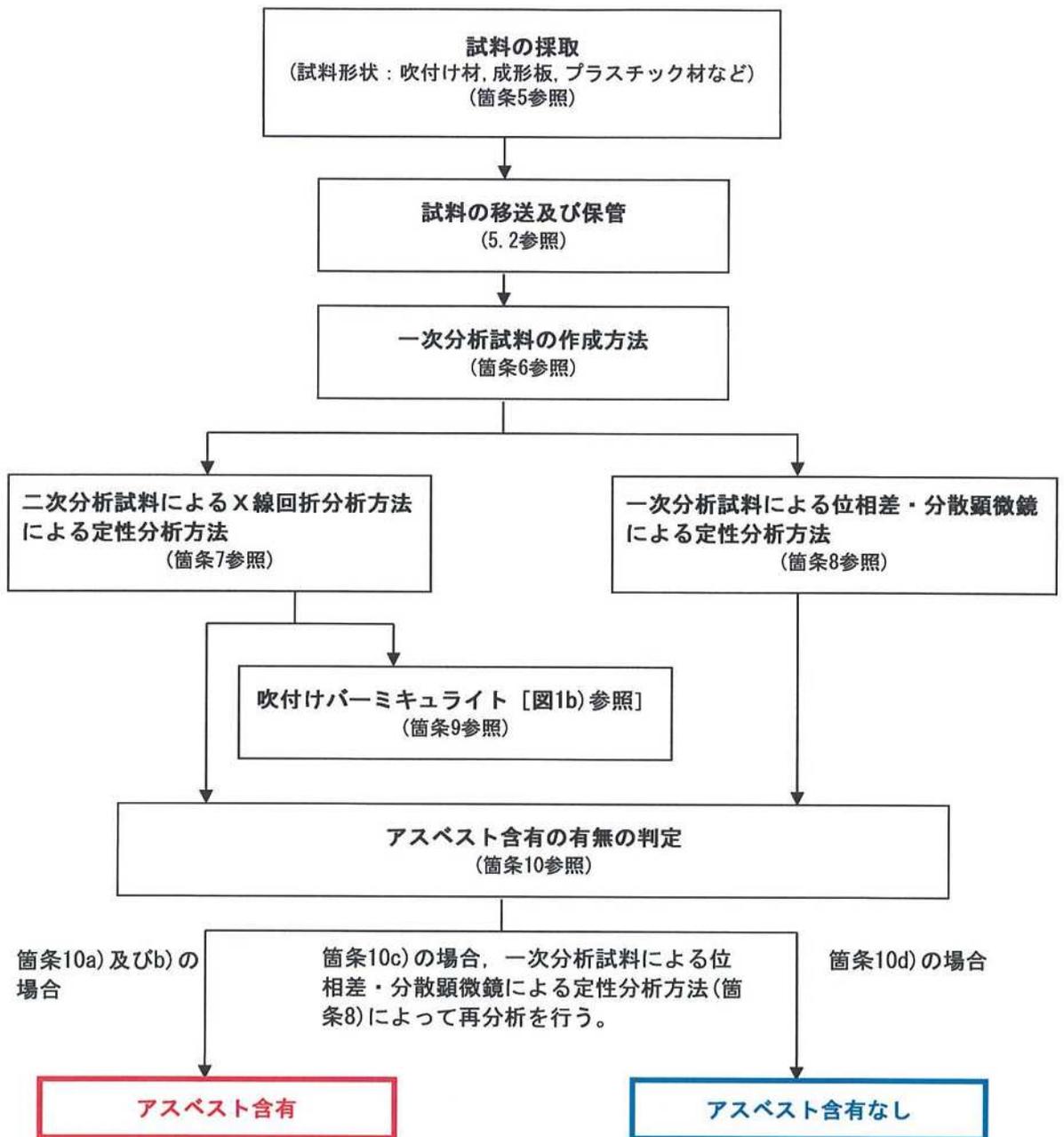


# 分析対象アスベストのX線回折パターン

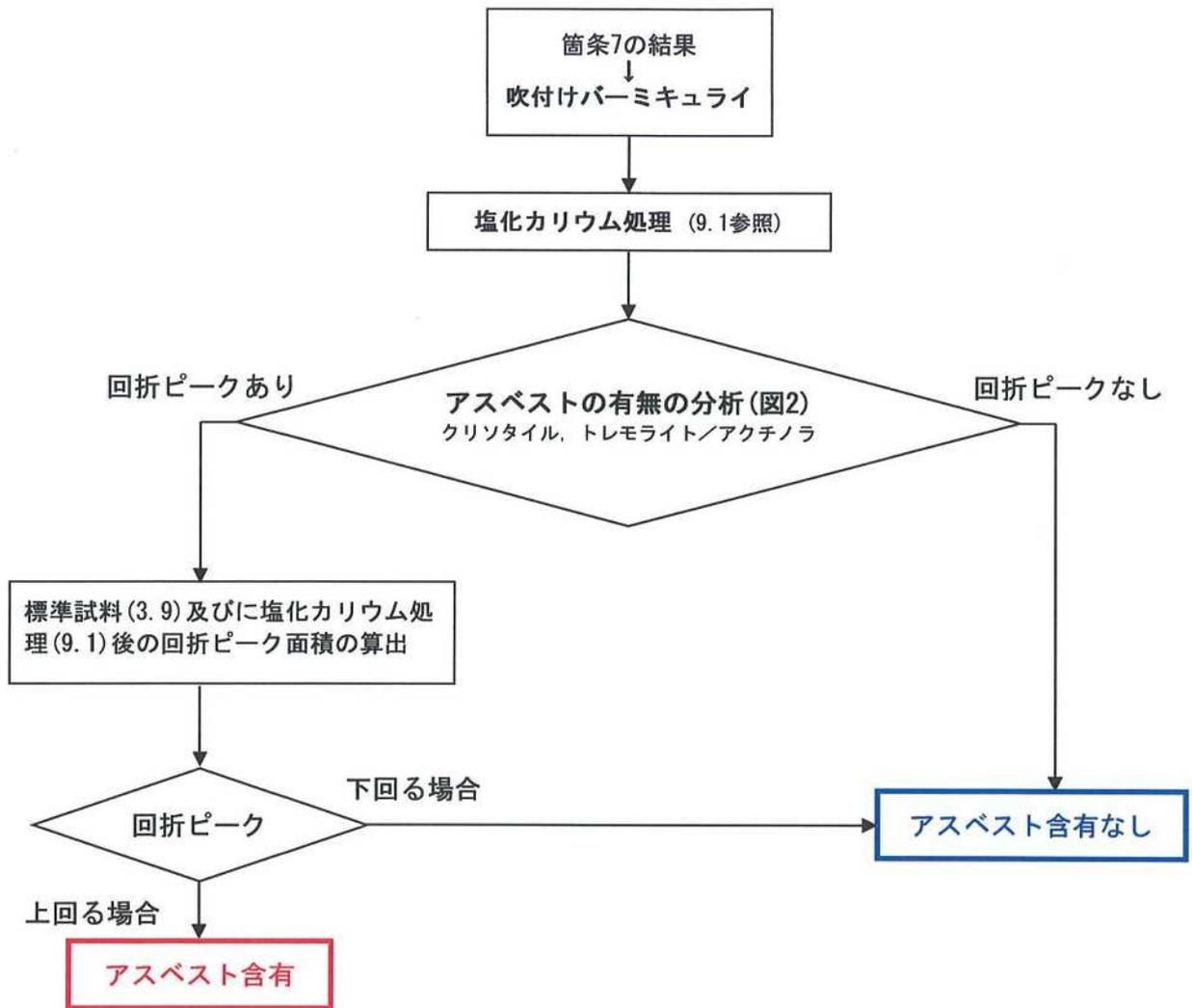


## X線回折装置の定性条件

設定項目	測定条件
X線対陰極	Cu
管電圧 (kV)	40
管電流 (mA)	40
単色化 (K <sub>β</sub> 線の除去)	K <sub>β</sub> フィルター
検出器	D/tex Ultra
フルスケール (cps)	オートスケール
時定数 (s)	—
走査速度 (°/min)	10
発散縦制限スリット (mm)	10.00
発散スリット (°)	1/2
散乱スリット (mm)	8.00
受光スリット (mm)	解放
走査範囲 (°, 2θ)	5° ~ 70°



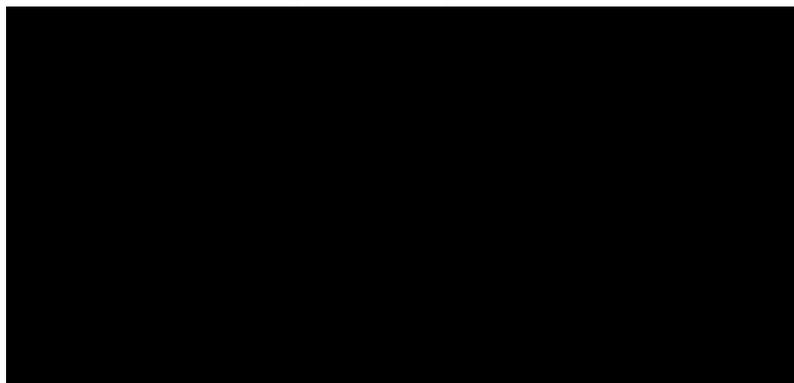
a) 建材製品中のアスベスト含有の有無の定性分析方法及び判定方法のフロー  
 図 1 -定性分析方法及び判定方法の概要



b) 吹付けパーミキュライトの定性分析方法及び判定方法のフロー  
 図 1 -定性分析方法及び判定方法の概要(続き)

# 試 験 報 告 書

新潟県新潟市中央区鐘木463番地7  
新潟市民病院 殿



ご依頼の試料に関する試験結果は、下記のとおりであったことをご報告いたします。  
なお、試験結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

## 記

1. 件 名 : 旧カルテ庫アスベスト分析調査業務委託
2. 採取年月日 : 2024年8月5日、2024年8月6日
3. 採取施設名 : 新潟市民病院  
及び住所 : (新潟県新潟市中央区紫竹山地内)
4. 試料名 : 別紙「試験結果」のとおり
5. 試験方法 : JIS A 1481-2 (2016)
6. 試験期間 : 2024年8月8日 ~ 2024年8月15日
7. 試験結果 : 別紙「試験結果」のとおり

以上

## 試験結果

物件名称	新潟市民病院
施工年及び建築物への施工などを採用した年	-
採取箇所の指示(判断)者の所属、氏名、資格 ※	-
採取者の所属、氏名、資格	

※ 採取箇所指示者が当社以外の場合、当社は事前調査の内容について責任を負いかねます。

No.	試料名			石綿の有無	石綿の種類 (含有率)	試験結果 詳細データ No.
	建物名称	採取箇所	建材名			
11	新潟市民病院	旧カルテ庫 2階 事務室,病歴室(2),(3) 壁,柱	EP付下地調整材	有	Chr	11 (5頁～)
12	新潟市民病院	旧カルテ庫 2階 病歴室(2),(3) 廊下	巾木	有	Chr	12 (8頁～)
13	新潟市民病院	旧カルテ庫 2階 病歴室(2),(3) 廊下 床	Pタイル	無	-	13 (11頁～)
14	新潟市民病院	旧カルテ庫 2階 階段室前廊下 天井	塗材(白)付石膏ボード	無	-	14 (14頁～)
15	新潟市民病院	旧カルテ庫 2階 階段室前廊下 壁	塗材(白)付石膏ボード	無	-	15 (17頁～)
16	新潟市民病院	旧カルテ庫 3階 事務室 床	ビニル床シート(溶接)	無	-	16 (20頁～)
17	新潟市民病院	旧カルテ庫 3階 休憩室 タイルカーベット下 床	接着剤	無	-	17 (23頁～)
18	新潟市民病院	旧カルテ庫 3階 電気室	巾木(グレー)	有	Chr	18 (26頁～)
19	新潟市民病院	旧カルテ庫 3階 電気室 床	Pタイル	無	-	19 (29頁～)
20	新潟市民病院	旧カルテ庫 3階 事務室,休憩室,病歴室(5) 天井	石膏ボード	無	-	20 (32頁～)
21	新潟市民病院	旧カルテ庫 3階 事務室,休憩室 梁	塗材付下地調整材	有	Chr	21 (35頁～)
22	新潟市民病院	旧カルテ庫 3階 事務室,病歴室(5),(6) 壁	EP付石膏ボード	無	-	22 (38頁～)
23	新潟市民病院	旧カルテ庫 3階 事務室,廊下,診療情報部長室 壁,柱	EP付下地調整材	無	-	23 (41頁～)
24	新潟市民病院	旧カルテ庫 3階 病歴室(5),(6) 廊下	巾木	有	Chr	24 (44頁～)
25	新潟市民病院	旧カルテ庫 3階 病歴室(5),(6) 廊下 床	Pタイル	無	-	25 (47頁～)

## 試験結果

No.	試料名			石綿の有無	石綿の種類 (含有率)	試験結果 詳細データ No.
	建物名称	採取箇所	建材名			
26	新潟市民病院	旧カルテ庫 階段室(1~3階) 段裏	塗材付下地調整材	有	Chr	26 (50頁~)
27	新潟市民病院	旧カルテ庫 階段室(1~3階) 壁	EP付下地調整材	有	Chr	27 (53頁~)
28	新潟市民病院	旧カルテ庫 階段室(1~3階) 壁	EP付石膏ボード	有	Chr, Amo	28 (56頁~)
29	新潟市民病院	旧カルテ庫 階段室(1~3階)	巾木	有	Chr, Amo	29 (59頁~)
30	新潟市民病院	旧カルテ庫 階段室(1~3階) 床	Pタイル(黄色)	無	—	30 (62頁~)

注)種類の項には、次の記号で記載している。

Chr:クリンタイル Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre:トレモライト Act:アクチノライト Ant:アンソファイライト

分析実施者 一覧

分析調査者氏名	分析調査者資格取得状況	民間機関による技能評価の取得状況
	学科講習: 2022年8月25日修了 第20220720-学7-1号 実技講習(位相差・分散顕微鏡による定性分析): 2024年6月21日修了 第20240621-実位性12-01号 実技講習(X線回折装置による定性・定量分析): 2024年2月19日修了 第20240219-実X性量03-02号	公益社団法人 日本作業環境測定協会 「石綿分析技術評価事業(評価区分3)」 Aランク 認定No.2311A0027
	-	公益社団法人 日本作業環境測定協会 「石綿分析技術評価事業(評価区分3)」 Aランク 認定No.2311A0028

X線回折装置による定性分析の条件

設定項目等	測定条件等	
X線回折装置のメーカー・型式	メーカー	RIGAKU
	型式	SmartLab
X線対陰極	Cu	
管電圧(kV)	40	
管電流(mA)	40	
単色化(K <sub>β</sub> 線の除去)	CBO-α	
フルスケール(cps)	自動調整	
時定数(s)	1	
走査速度(° /min)	10	
発散スリット(° )	1/3	
散乱スリット(mm)	20	
受光スリット(mm)	20	
走査範囲(° ,2θ)	5 ~ 70	

位相差・分散顕微鏡の型式

顕微鏡のメーカー・型式	メーカー	Nikon
	型式	Eclipse 80i,Eclipse LV100ND
照明系	型式	PHILIPS 7724
コンデンサ	型式	Nikon PHASE CONTRAST 0.90DRY
対物レンズ	型式	Nikon ×40:40×/0.75∞/0.17W.D 0.66

試料情報

採取年月日	2024年8月5日
建物名称	新潟市民病院
採取箇所	旧カルテ庫 2階 事務室,病歴室(2),(3) 壁,柱
建材名	EP付下地調整材

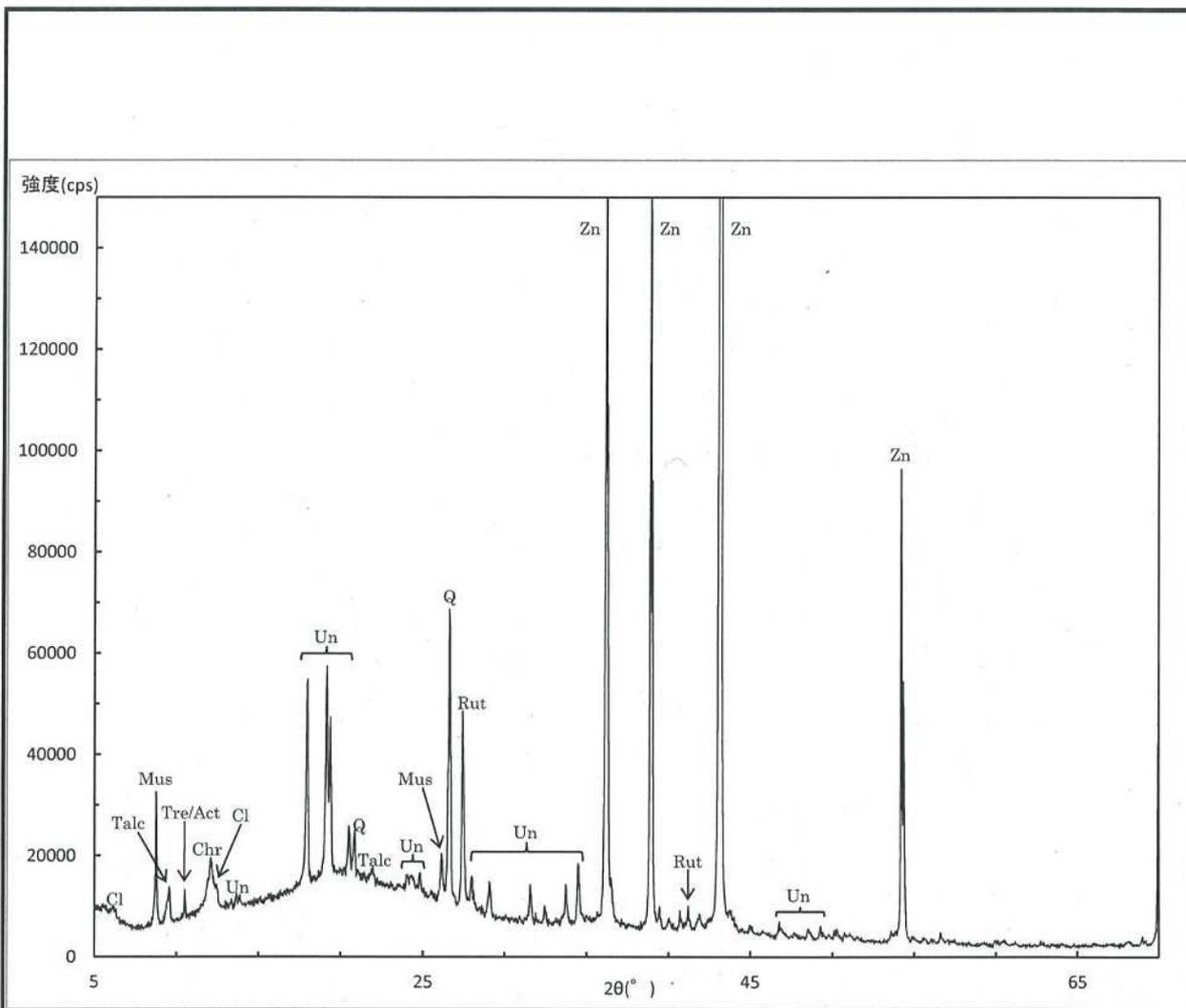
X線回折分析法及び位相差・分散顕微鏡法の定性分析結果に基づく判定結果

石綿の種類	定性分析結果			石綿含有判定結果
	X線回折分析法 回折線ピーク の有無	分散染色法		石綿含有の有無
		3000粒子中の アスペクト比 3以上の繊維数	石綿の有無	
クリンタイル	有・無	16	有・無	有・無
アモサイト	有・無	0	有・無	有・無
クロシドライト	有・無	0	有・無	有・無
トレモライト	有・無	0	有・無	有・無
アクチノライト	有・無	0	有・無	有・無
アンソフィライト	有・無	0	有・無	有・無

※X線回折分析法による定性分析(有)で、分散染色法(無)の場合で、石綿含有(無)と判定した場合の確認方法

使用した浸液の 屈折率	観察された分散色	アナライザー使用の場合の分散色		判定した鉱物等の名称
		偏光板⊥方向	偏光板//方向	
1.605	なし	—	—	—
1.630	なし	—	—	—
1.640	なし	—	—	—
偏光板⊥方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交した場合を示す。 偏光板//方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行になった場合を示す。				

X線回折分析法による定性分析 回折線プロファイル



「ピークの記号」

Chr: クリソタイル Amo: アモサイト Cro: クロシドライト Tre/ Act: トレモライト/ アクチノライト Ant: アンソフィライト  
 Ca: カルサイト Q: 石英 Tr: トリジマイト Cr: クリソバライト Vc: パーミキュライト Hb: ハイドロバイオタイト  
 Br: ブルーサイト Se: セピオライト Cl: クロライト Mc: マイカ(イライト) Fl: 長石 Gy: 石膏 Anh: 硬石膏  
 Rut: 酸化チタン Ana: 酸化チタン(アナターゼ) Talc: タルク Mus: モスコバイト Wo: ウォラストナイト  
 Zn: 亜鉛(試料板金属) Un: 未同定ピーク

「注意事項」(2θ) 5°~70°のX線回折プロファイルを添付。

位相差・分散顕微鏡法による標準及び分析用試料の分散色の写真

標準試料の分散色(鋭敏色)



クリソタイル  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



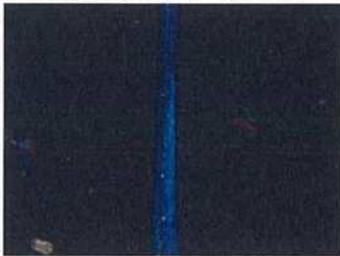
アンソフィライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



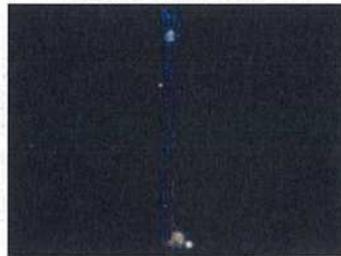
トレモライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



アクチノライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



アモサイト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



クロシドライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

分析用試料の分散色



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

試料情報

採取年月日	2024年8月5日
建物名称	新潟市民病院
採取箇所	旧カルテ庫 2階 病歴室(2),(3) 廊下
建材名	巾木

X線回折分析法及び位相差・分散顕微鏡法の定性分析結果に基づく判定結果

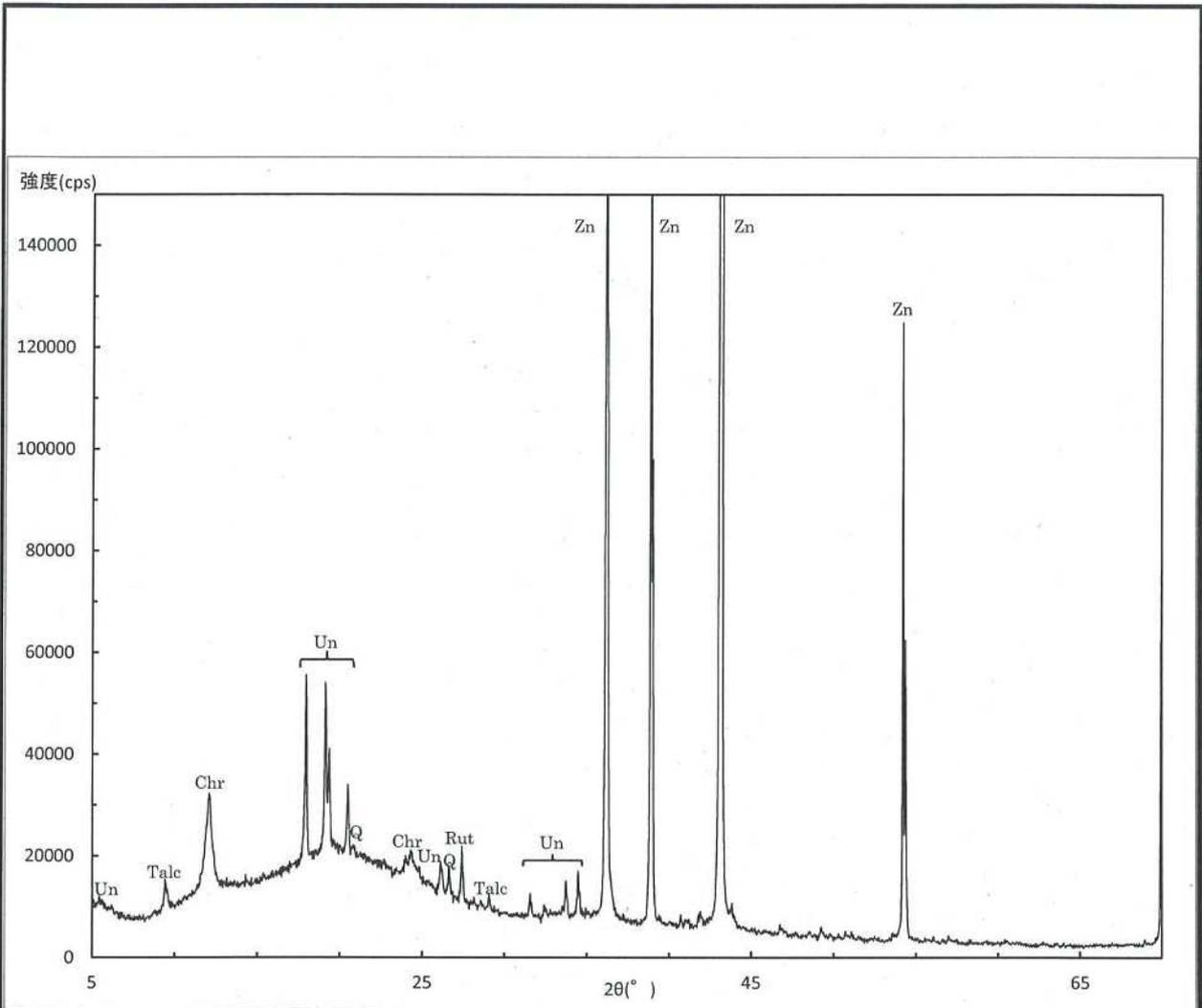
石綿の種類	定性分析結果			石綿含有判定結果
	X線回折分析法 回折線ピーク の有無	分散染色法		石綿含有の有無
		3000粒子中の アスペクト比 3以上の繊維数	石綿の有無	
クリンタイル	有・無	15	有・無	有・無
アモサイト	有・無	0	有・無	有・無
クロシドライト	有・無	0	有・無	有・無
トレモライト	有・無	0	有・無	有・無
アクチノライト	有・無	0	有・無	有・無
アンソフィライト	有・無	0	有・無	有・無

※X線回折分析法による定性分析(有)で、分散染色法(無)の場合で、石綿含有(無)と判定した場合の確認方法

使用した浸液の 屈折率	観察された分散色	アナライザー使用の場合の分散色		判定した鉱物等の名称
		偏光板⊥方向	偏光板//方向	

偏光板⊥方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交した場合を示す。  
偏光板//方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行になった場合を示す。

X線回折分析法による定性分析 回折線プロファイル



「ピークの記号」

Chr:クリソタイル Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre/ Act:トレモライト/ アクチノライト Ant:アンソフィライト  
 Ca:カルサイト Q:石英 Tr:トリジマイト Cr:クリストバライト Vc:バーミキュライト Hb:ハイドロバイオタイト  
 Br:ブルーサイト Se:セピオライト Cl:クロライト Mc:マイカ(イライト) Fl:長石 Gy:石膏 Anh:硬石膏  
 Rut:酸化チタン Ana:酸化チタン(アナターゼ) Talc:タルク Mus:モスコバイト Wo:ウォラストナイト  
 Zn:亜鉛(試料板金属) Un:未同定ピーク

「注意事項」(20) 5°~70°のX線回折プロファイルを添付。

別添写真

位相差・分散顕微鏡法による標準及び分析用試料の分散色の写真

標準試料の分散色(鋭敏色)



クリソタイル  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



アンソフィライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



トレモライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



アクチノライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)

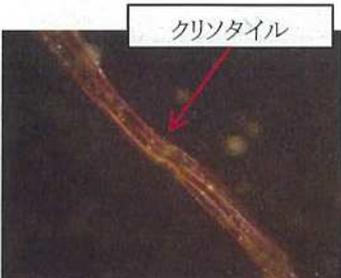


アモサイト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



クロシドライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

分析用試料の分散色



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

試料情報

採取年月日	2024年8月5日
建物名称	新潟市民病院
採取箇所	旧カルテ庫 2階 病歴室(2),(3) 廊下 床
建材名	Pタイル

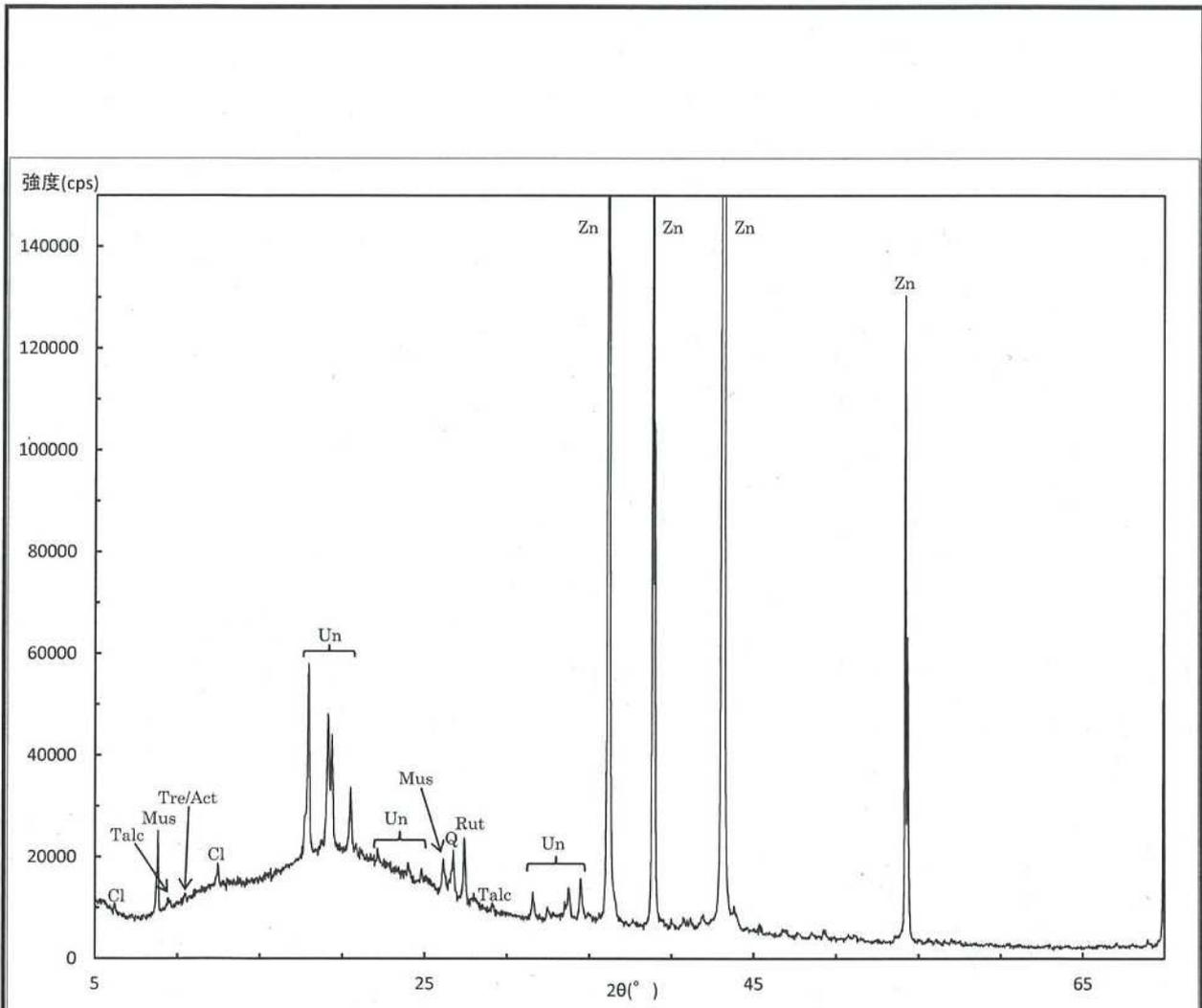
X線回折分析法及び位相差・分散顕微鏡法の定性分析結果に基づく判定結果

石綿の種類	定性分析結果			石綿含有判定結果
	X線回折分析法 回折線ピーク の有無	分散染色法		石綿含有の有無
		3000粒子中の アスペクト比 3以上の繊維数	石綿の有無	
クリソタイル	有・無	0	有・無	有・無
アモサイト	有・無	0	有・無	有・無
クロシドライト	有・無	0	有・無	有・無
トレモライト	有・無	0	有・無	有・無
アクチノライト	有・無	0	有・無	有・無
アンソフィライト	有・無	0	有・無	有・無

※X線回折分析法による定性分析(有)で、分散染色法(無)の場合で、石綿含有(無)と判定した場合の確認方法

使用した浸液の 屈折率	観察された分散色	アナライザー使用の場合の分散色		判定した鉱物等の名称
		偏光板⊥方向	偏光板//方向	
1.605	なし	—	—	—
1.630	なし	—	—	—
1.640	なし	—	—	—
偏光板⊥方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交した場合を示す。 偏光板//方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行になった場合を示す。				

X線回折分析法による定性分析 回折線プロファイル



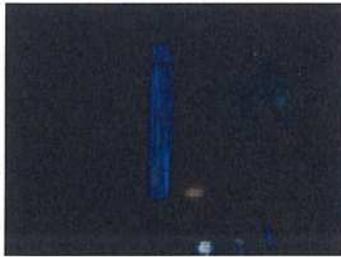
「ピークの記号」

Chr: クリソタイル Amo: アモサイト Cro: クロシドライト Tre/ Act: トレモライト/ アクチノライト Ant: アンソフィライト  
 Ca: カルサイト Q: 石英 Tr: トリジマイト Cr: クリスタライト Vc: バーミキュライト Hb: ハイドロバイオタイト  
 Br: ブルーサイト Se: セピオライト Cl: クロライト Mc: マイカ(イライト) Fl: 長石 Gy: 石膏 Anh: 硬石膏  
 Rut: 酸化チタン Ana: 酸化チタン(アナターゼ) Talc: タルク Mus: モスコバイト Wo: ウォラストナイト  
 Zn: 亜鉛(試料板金属) Un: 未同定ピーク

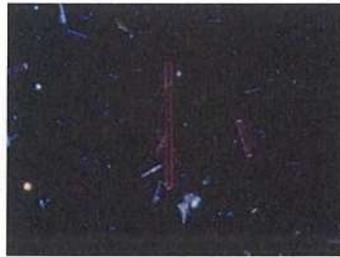
「注意事項」(20) 5°~70°のX線回折プロファイルを添付。

位相差・分散顕微鏡法による標準及び分析用試料の分散色の写真

標準試料の分散色(鋭敏色)



クワーツ  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



アノソファイト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



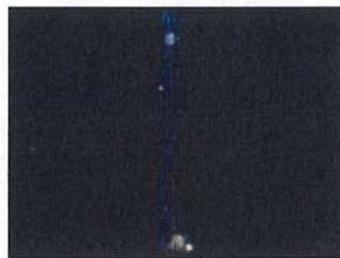
トレモライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



アクチノライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



アモサイト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



クロシドライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

分析用試料の分散色



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

試料情報

採取年月日	2024年8月6日
建物名称	新潟市民病院
採取箇所	旧カルテ庫 2階 階段室前廊下 天井
建材名	塗材(白)付石膏ボード

X線回折分析法及び位相差・分散顕微鏡法の定性分析結果に基づく判定結果

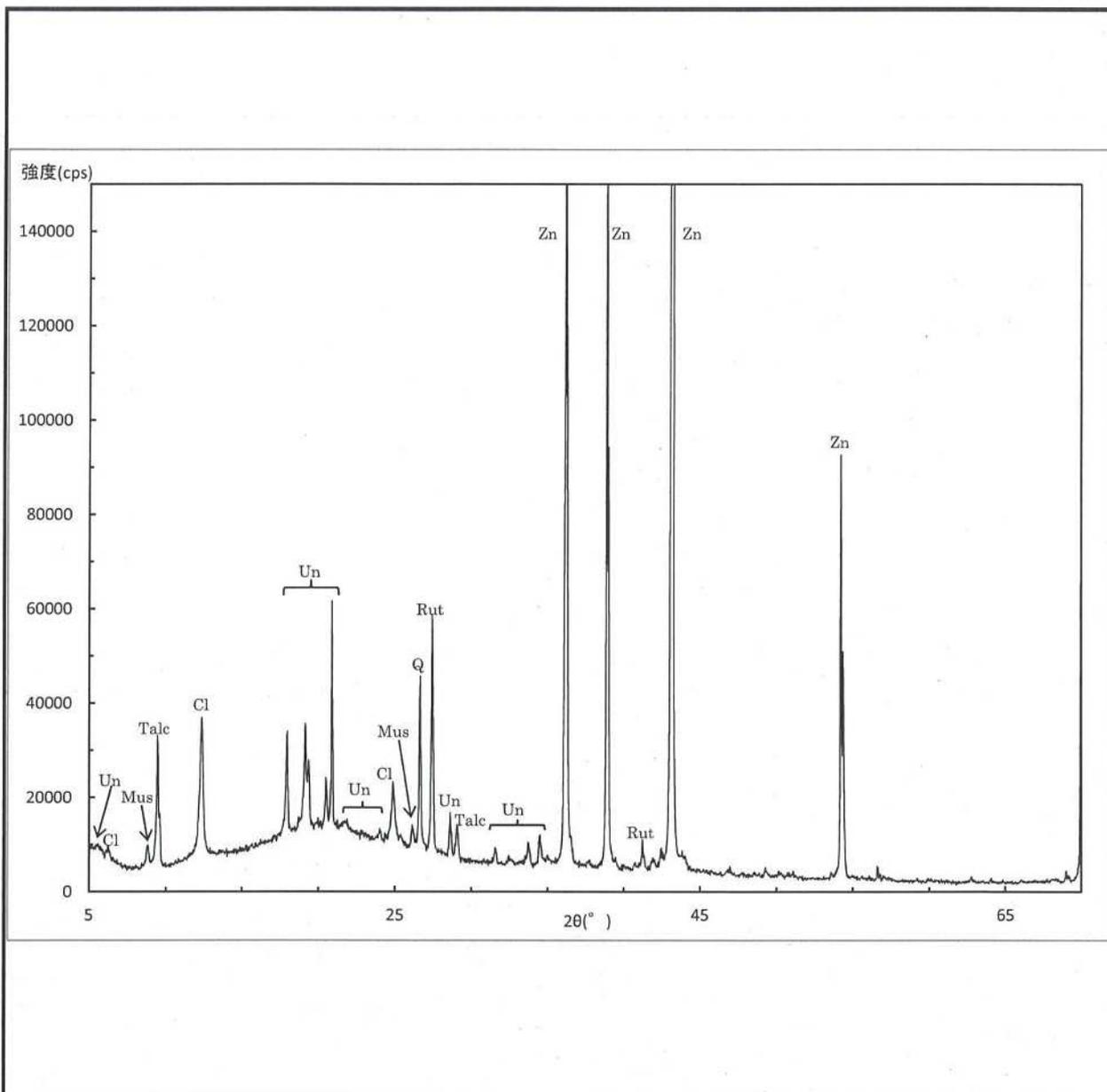
石綿の種類	定性分析結果			石綿含有判定結果
	X線回折分析法 回折線ピーク の有無	分散染色法		石綿含有の有無
		3000粒子中の アスペクト比 3以上の繊維数	石綿の有無	
クリソタイル	有・無	0	有・無	有・無
アモサイト	有・無	0	有・無	有・無
クロシドライト	有・無	0	有・無	有・無
トレモライト	有・無	0	有・無	有・無
アクチノライト	有・無	0	有・無	有・無
アンソファイライト	有・無	0	有・無	有・無

※X線回折分析法による定性分析(有)で、分散染色法(無)の場合で、石綿含有(無)と判定した場合の確認方法

使用した浸液の 屈折率	観察された分散色	アナライザー使用の場合の分散色		判定した鉱物等の名称
		偏光板⊥方向	偏光板//方向	

偏光板⊥方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交した場合を示す。  
偏光板//方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行になった場合を示す。

X線回折分析法による定性分析 回折線プロファイル



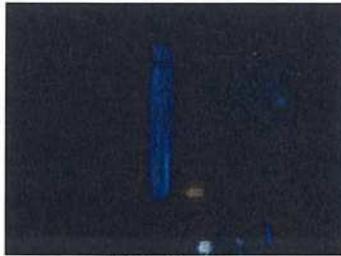
「ピークの記号」

Chr:クリソタイル Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre/ Act:トレモライト/ アクチノライト Ant:アンソフィライト  
 Ca:カルサイト Q:石英 Tr:トリジマイト Cr:クリストバライト Vc:パーミキュライト Hb:ハイドロバイオタイト  
 Br:ブルーサイト Se:セピオライト Cl:クロライト Mc:マイカ(イライト) Fl:長石 Gy:石膏 Anh:硬石膏  
 Rut:酸化チタン Ana:酸化チタン(アナターゼ) Talc:タルク Mus:モスコバイト Wo:ウォラストナイト  
 Zn:亜鉛(試料板金属) Un:未同定ピーク

「注意事項」(2θ) 5°~70°のX線回折プロファイルを添付。

位相差・分散顕微鏡法による標準及び分析用試料の分散色の写真

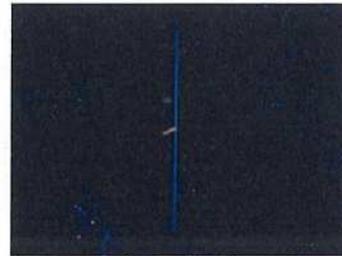
標準試料の分散色(鋭敏色)



クリソタイル  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



アンソフィライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



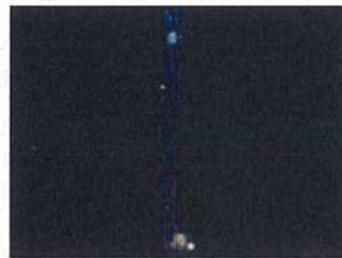
トレモライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



アクチノライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



アモサイト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



クロシドライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

分析用試料の分散色



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

試料情報

採取年月日	2024年8月6日
建物名称	新潟市民病院
採取箇所	旧カルテ庫 2階 階段室前廊下 壁
建材名	塗材(白)付石膏ボード

X線回折分析法及び位相差・分散顕微鏡法の定性分析結果に基づく判定結果

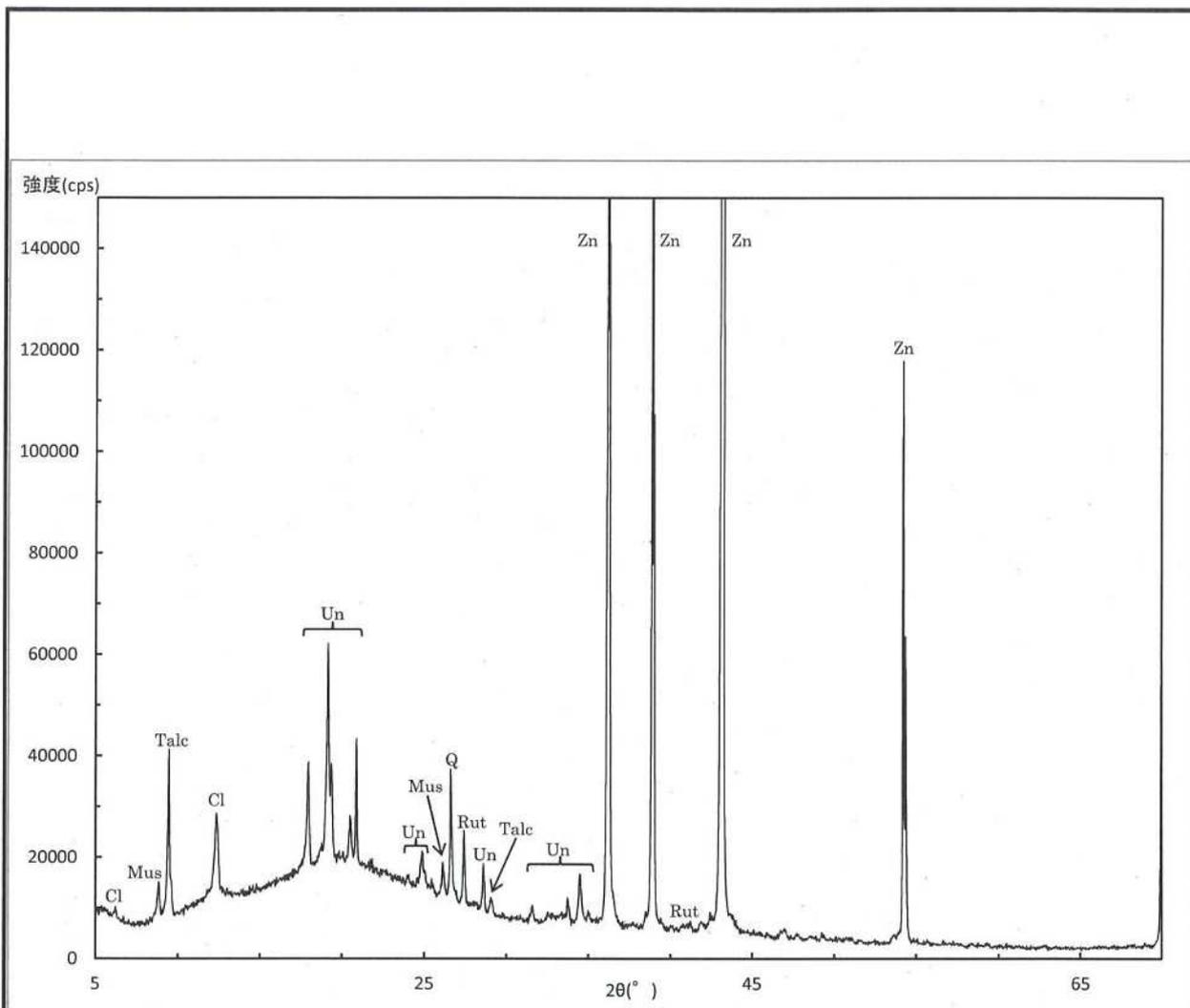
石綿の種類	定性分析結果			石綿含有判定結果
	X線回折分析法 回折線ピーク の有無	分散染色法		石綿含有の有無
		3000粒子中の アスペクト比 3以上の繊維数	石綿の有無	
クリソタイル	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
アモサイト	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
クロシドライト	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
トレモライト	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
アクチノライト	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
アンソフィライト	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無

※X線回折分析法による定性分析(有)で、分散染色法(無)の場合で、石綿含有(無)と判定した場合の確認方法

使用した浸液の 屈折率	観察された分散色	アナライザー使用の場合の分散色		判定した鉱物等の名称
		偏光板⊥方向	偏光板//方向	

偏光板⊥方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交した場合を示す。  
偏光板//方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行になった場合を示す。

X線回折分析法による定性分析 回折線プロファイル



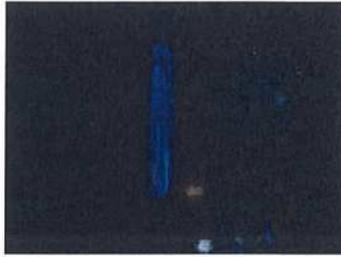
「ピークの記号」

Chr:クリソタイル Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre/ Act:トレモライト/ アクチノライト Ant:アンソフィライト  
 Ca:カルサイト Q:石英 Tr:トリジマイト Cr:クリストバライト Vc:バーミキュライト Hb:ハイドロバイオタイト  
 Br:ブルーサイト Se:セピオライト Cl:クロライト Mc:マイカ(イライト) Fl:長石 Gy:石膏 Anh:硬石膏  
 Rut:酸化チタン Ana:酸化チタン(アナターゼ) Talc:タルク Mus:モスコバイト Wo:ウォラストナイト  
 Zn:亜鉛(試料板金属) Un:未同定ピーク

「注意事項」(2θ) 5°~70°のX線回折プロファイルを添付。

位相差・分散顕微鏡法による標準及び分析用試料の分散色の写真

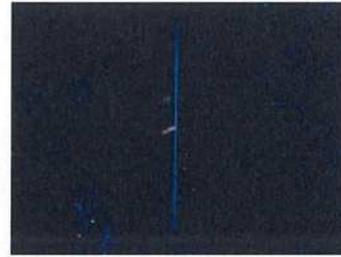
標準試料の分散色(鋭敏色)



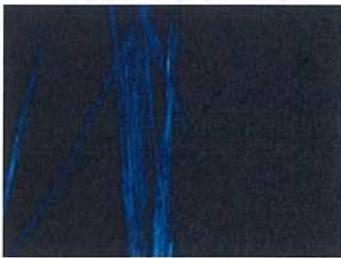
クリソタイル  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



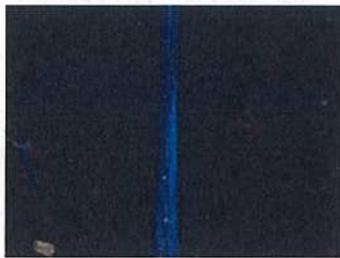
アンソフィライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



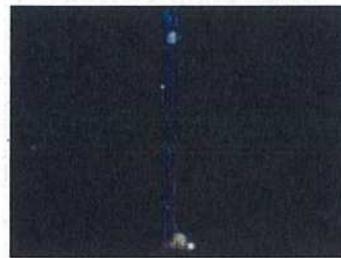
トレモライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



アクチノライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



アモサイト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



クロシドライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

分析用試料の分散色



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

試料情報

採取年月日	2024年8月5日
建物名称	新潟市民病院
採取箇所	旧カルテ庫 3階 事務室 床
建材名	ビニル床シート(溶接)

X線回折分析法及び位相差・分散顕微鏡法の定性分析結果に基づく判定結果

石綿の種類	定性分析結果			石綿含有判定結果
	X線回折分析法 回折線ピーク の有無	分散染色法		石綿含有の有無
		3000粒子中の アスペクト比 3以上の繊維数	石綿の有無	
クリソタイル	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
アモサイト	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
クロシドライト	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
トレモライト	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
アクチノライト	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
アンソフィライト	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無

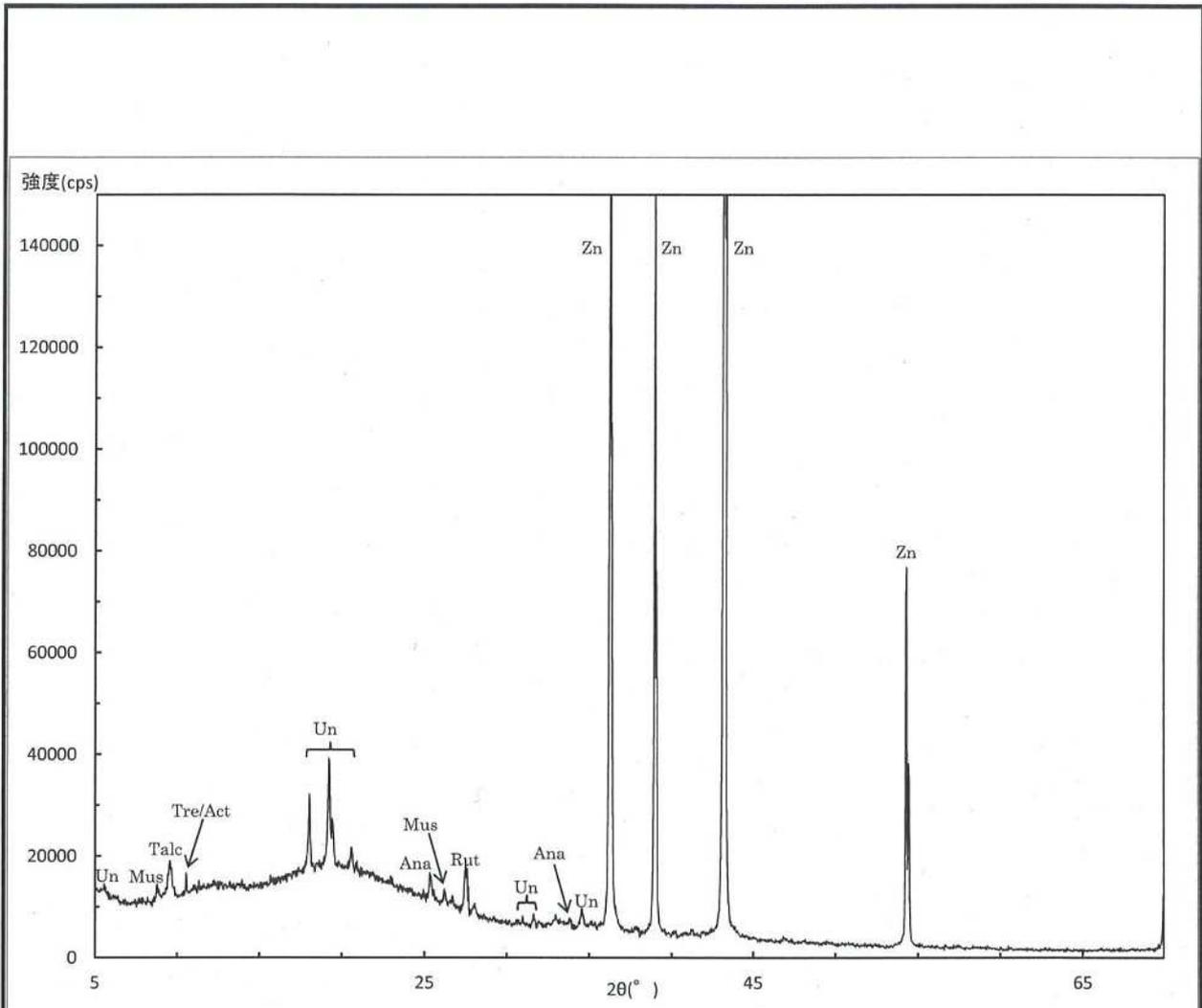
※X線回折分析法による定性分析(有)で、分散染色法(無)の場合で、石綿含有(無)と判定した場合の確認方法

使用した浸液の 屈折率	観察された分散色	アナライザー使用の場合の分散色		判定した鉱物等の名称
		偏光板⊥方向	偏光板//方向	
1.605	なし	—	—	—
1.630	なし	—	—	—
1.640	なし	—	—	—

偏光板⊥方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交した場合を示す。

偏光板//方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行になった場合を示す。

X線回折分析法による定性分析 回折線プロファイル



「ピークの記号」

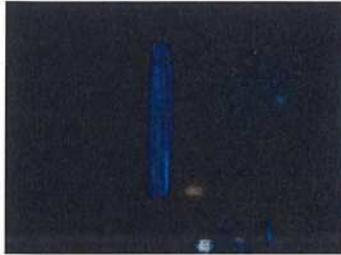
Chr: クリソタイル Amo: アモサイト Cro: クロシドライト Tre/ Act: トレモライト/ アクチノライト Ant: アンソフィライト  
 Ca: カルサイト Q: 石英 Tr: トリジマイト Cr: クリスタバライト Vc: パーミキュライト Hb: ハイドロバイオタイト  
 Br: ブルーサイト Se: セピオライト Cl: クロライト Mc: マイカ(イライト) Fl: 長石 Gy: 石膏 Anh: 硬石膏  
 Rut: 酸化チタン Ana: 酸化チタン(アナターゼ) Talc: タルク Mus: モスコバイト Wo: ウォラストナイト  
 Zn: 亜鉛(試料板金属) Un: 未同定ピーク

「注意事項」(20) 5°~70°のX線回折プロファイルを添付。

別添写真

位相差・分散顕微鏡法による標準及び分析用試料の分散色の写真

標準試料の分散色(鋭敏色)



クリソタイル  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



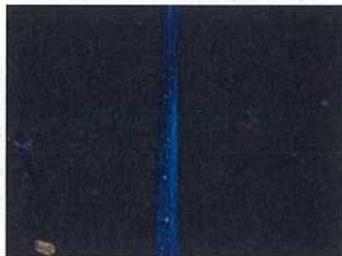
アンソフィライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



トレモライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



アクチノライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



アモサイト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



クロシドライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

分析用試料の分散色



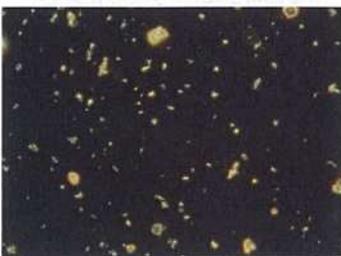
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



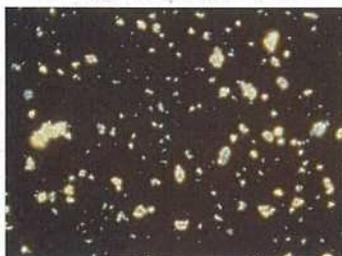
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

試料情報

採取年月日	2024年8月5日
建物名称	新潟市民病院
採取箇所	旧カルテ庫 3階 休憩室 タイルカーペット下 床
建材名	接着剤

X線回折分析法及び位相差・分散顕微鏡法の定性分析結果に基づく判定結果

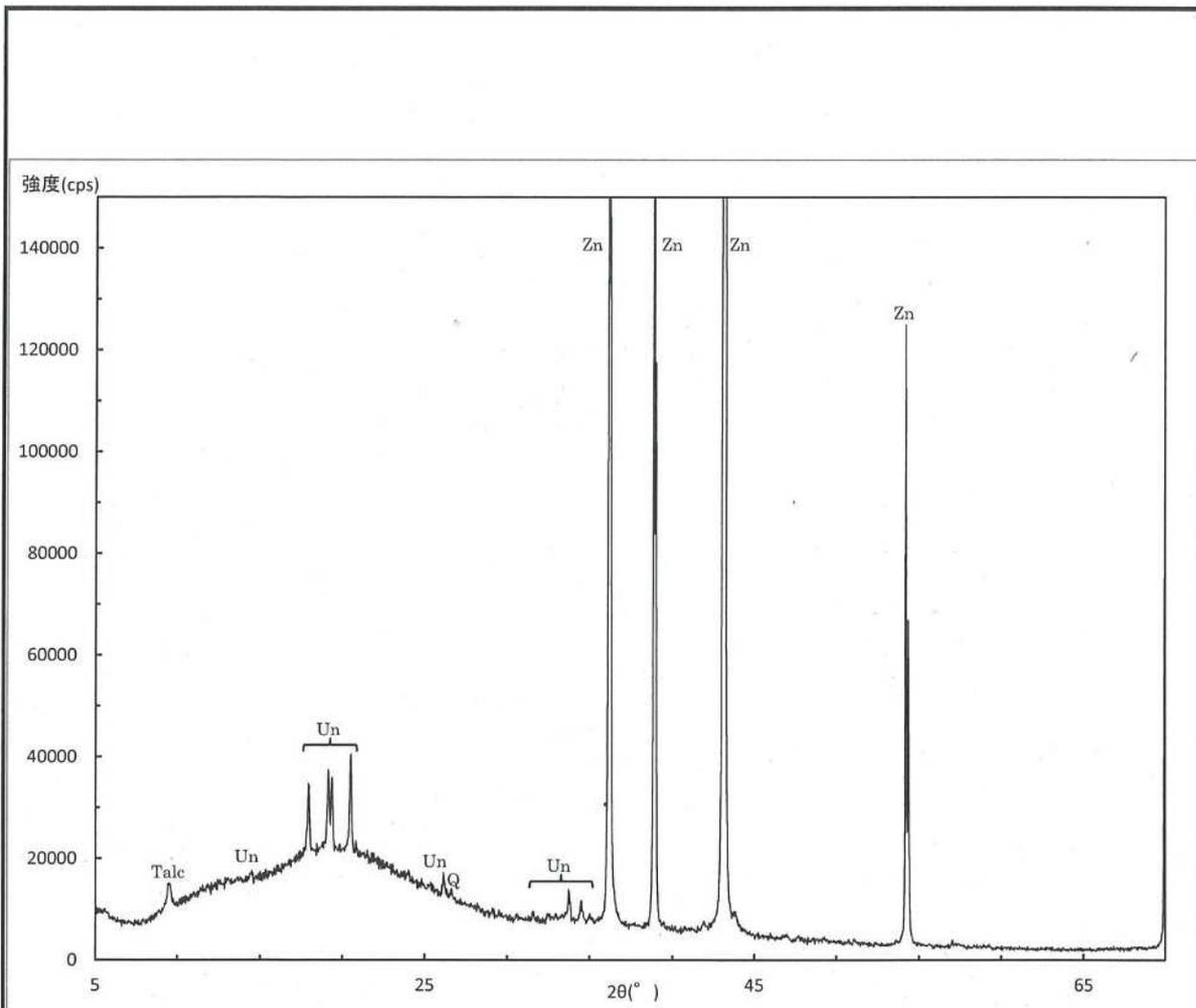
石綿の種類	定性分析結果			石綿含有判定結果
	X線回折分析法 回折線ピーク の有無	分散染色法		石綿含有の有無
		3000粒子中の アスペクト比 3以上の繊維数	石綿の有無	
クリソタイル	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
アモサイト	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
クロシドライト	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
トレモライト	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
アクチノライト	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
アンソフィライト	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無

※X線回折分析法による定性分析(有)で、分散染色法(無)の場合で、石綿含有(無)と判定した場合の確認方法

使用した浸液の 屈折率	観察された分散色	アナライザー使用の場合の分散色		判定した鉱物等の名称
		偏光板⊥方向	偏光板//方向	
<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; background: linear-gradient(to top right, transparent 49%, black 49%, black 51%, transparent 51%);"></div>				

偏光板⊥方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交した場合を示す。  
偏光板//方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行になった場合を示す。

X線回折分析法による定性分析 回折線プロファイル



「ピークの記号」

Chr:クリンタイル Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre/ Act:トレモライト/ アクチノライト Ant:アンソフィライト  
 Ca:カルサイト Q:石英 Tr:トリジマイト Cr:クリストバライト Vc:バーミキュライト Hb:ハイドロバイオタイト  
 Br:ブルーサイト Se:セピオライト Cl:クロライト Mc:マイカ(イライト) Fl:長石 Gy:石膏 Anh:硬石膏  
 Rut:酸化チタン Ana:酸化チタン(アナターゼ) Talc:タルク Mus:モスコバイト Wo:ウオラストナイト  
 Zn:亜鉛(試料板金属) Un:未同定ピーク

「注意事項」(20) 5°~70°のX線回折プロファイルを添付。

位相差・分散顕微鏡法による標準及び分析用試料の分散色の写真

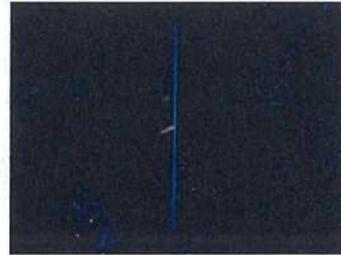
標準試料の分散色(鋭敏色)



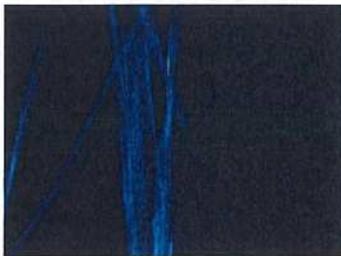
クワーツ  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



アノソフィライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



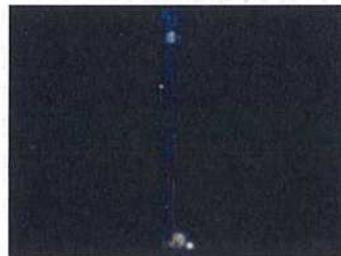
トレモライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



アクチノライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



アモサイト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



クロシドライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

分析用試料の分散色



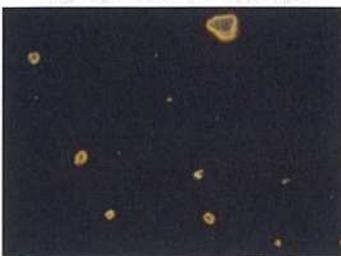
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

試料情報

採取年月日	2024年8月5日
建物名称	新潟市民病院
採取箇所	旧カルテ庫 3階 電気室
建材名	巾木(グレー)

X線回折分析法及び位相差・分散顕微鏡法の定性分析結果に基づく判定結果

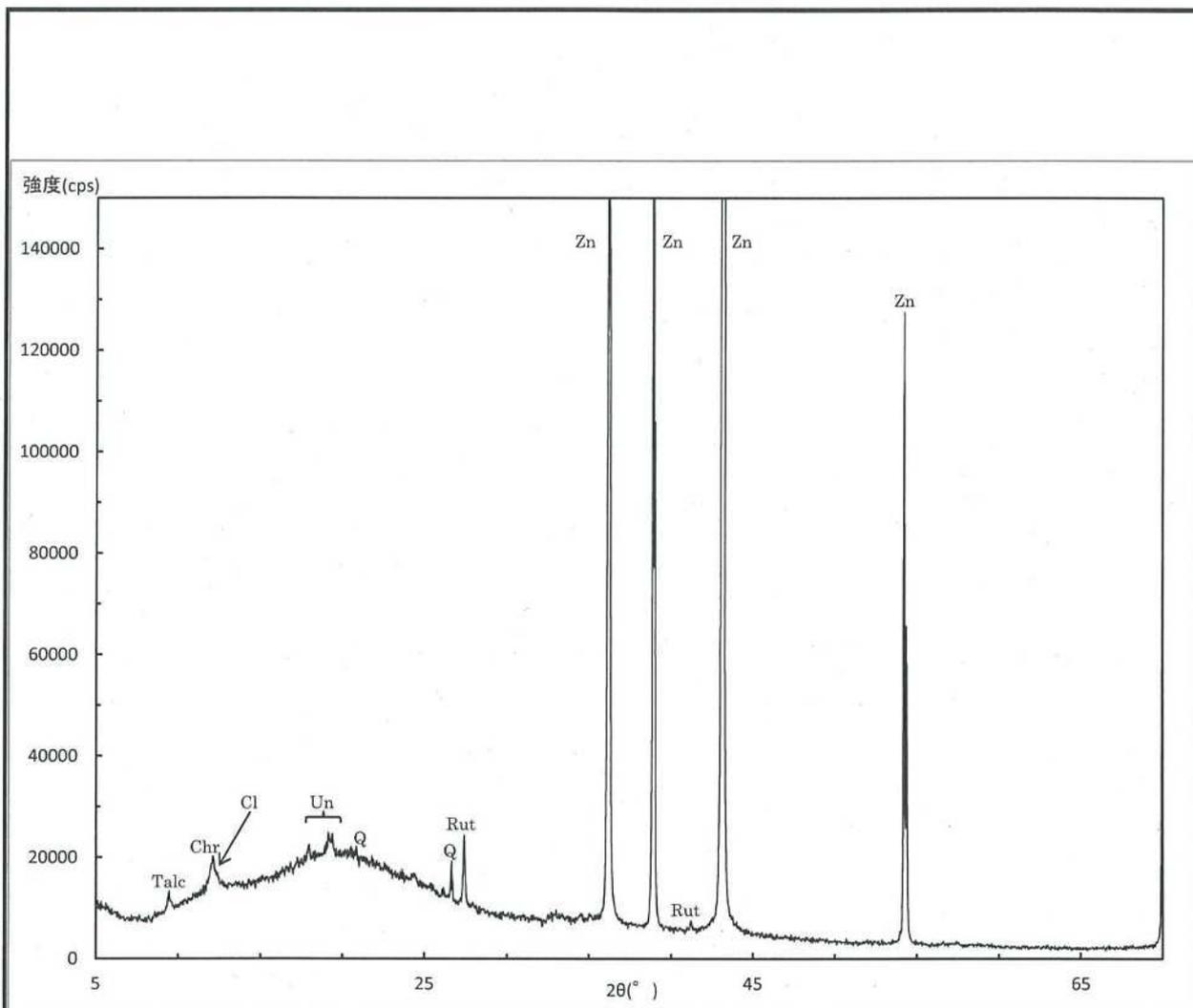
石綿の種類	定性分析結果			石綿含有判定結果
	X線回折分析法 回折線ピーク の有無	分散染色法		石綿含有の有無
		3000粒子中の アスペクト比 3以上の繊維数	石綿の有無	
クリソタイル	有・無	13	有・無	有・無
アモサイト	有・無	0	有・無	有・無
クロシドライト	有・無	0	有・無	有・無
トレモライト	有・無	0	有・無	有・無
アクチノライト	有・無	0	有・無	有・無
アンソフィライト	有・無	0	有・無	有・無

※X線回折分析法による定性分析(有)で、分散染色法(無)の場合で、石綿含有(無)と判定した場合の確認方法

使用した浸液の 屈折率	観察された分散色	アナライザー使用の場合の分散色		判定した鉱物等の名称
		偏光板⊥方向	偏光板//方向	

偏光板⊥方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交した場合を示す。  
偏光板//方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行になった場合を示す。

X線回折分析法による定性分析 回折線プロファイル



「ピークの記号」

Chr:クリソタイル Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre/ Act:トレモライト/ アクチノライト Ant:アンソフィライト  
 Ca:カルサイト Q:石英 Tr:トリジマイト Cr:クリストバライト Vc:バーミキュライト Hb:ハイドロバイオタイト  
 Br:ブルーサイト Se:セピオライト Cl:クロライト Mc:マイカ(イライト) Fl:長石 Gy:石膏 Anh:硬石膏  
 Rut:酸化チタン Ana:酸化チタン(アナターゼ) Talc:タルク Mus:モスコバイト Wo:ウォラストナイト  
 Zn:亜鉛(試料板金属) Un:未同定ピーク

「注意事項」(20) 5°~70°のX線回折プロファイルを添付。

別添写真

位相差・分散顕微鏡法による標準及び分析用試料の分散色の写真

標準試料の分散色(鋭敏色)



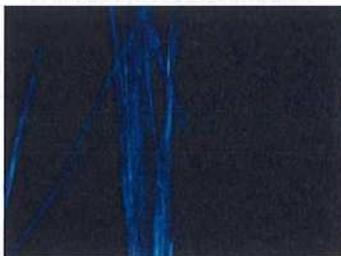
クリソタイル  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



アンソファイト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



トレモライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



アクチノライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



アモサイト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



クロシドライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

分析用試料の分散色



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



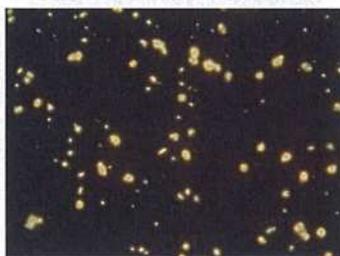
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

試料情報

採取年月日	2024年8月5日
建物名称	新潟市民病院
採取箇所	旧カルテ庫 3階 電気室 床
建材名	Pタイル

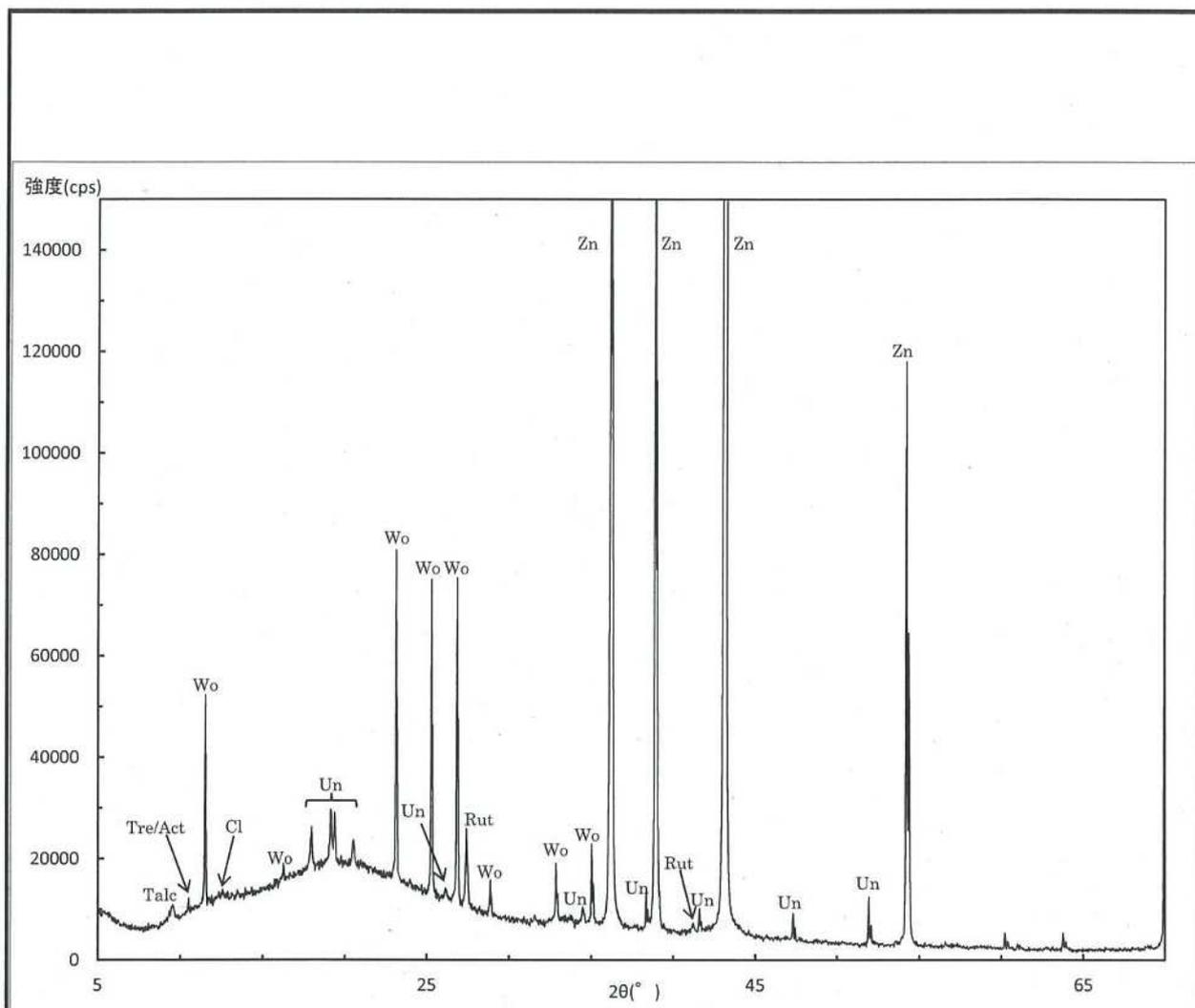
X線回折分析法及び位相差・分散顕微鏡法の定性分析結果に基づく判定結果

石綿の種類	定性分析結果			石綿含有判定結果
	X線回折分析法 回折線ピーク の有無	分散染色法		石綿含有の有無
		3000粒子中の アスペクト比 3以上の繊維数	石綿の有無	
クリソタイル	有・無	0	有・無	有・無
アモサイト	有・無	0	有・無	有・無
クロシドライト	有・無	0	有・無	有・無
トレモライト	有・無	0	有・無	有・無
アクチノライト	有・無	0	有・無	有・無
アンソフィライト	有・無	0	有・無	有・無

※X線回折分析法による定性分析(有)で、分散染色法(無)の場合で、石綿含有(無)と判定した場合の確認方法

使用した浸液の 屈折率	観察された分散色	アナライザー使用の場合の分散色		判定した鉱物等の名称
		偏光板⊥方向	偏光板//方向	
1.605	なし	—	—	—
1.630	なし	—	—	—
1.640	なし	—	—	—
偏光板⊥方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交した場合を示す。 偏光板//方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行になった場合を示す。				

X線回折分析法による定性分析 回折線プロファイル



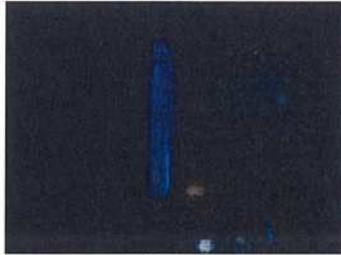
「ピークの記号」

Chr:クリソタイル Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre/ Act:トレモライト/ アクチノライト Ant:アンソフィライト  
 Ca:カルサイト Q:石英 Tr:トリジマイト Cr:クリストバライト Vc:バーミキュライト Hb:ハイドロパイオタイト  
 Br:ブルーサイト Se:セピオライト Cl:クロライト Mc:マイカ(イライト) Fl:長石 Gy:石膏 Anh:硬石膏  
 Rut:酸化チタン Ana:酸化チタン(アナターゼ) Talc:タルク Mus:モスコバイト Wo:ウォラストナイト  
 Zn:亜鉛(試料板金属) Un:未同定ピーク

「注意事項」(2θ) 5°~70°のX線回折プロファイルを添付。

位相差・分散顕微鏡法による標準及び分析用試料の分散色の写真

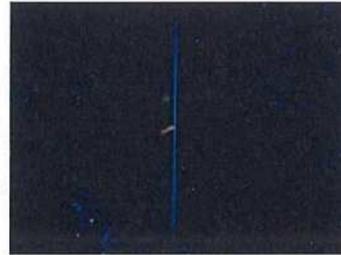
標準試料の分散色(鋭敏色)



クワーツ  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



アノソフィライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



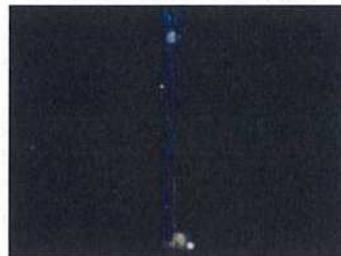
トレモライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



アクチノライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



アモサイト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



クロシドライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

分析用試料の分散色



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

試料情報

採取年月日	2024年8月5日
建物名称	新潟市民病院
採取箇所	旧カルテ庫 3階 事務室,休憩室,病歴室(5) 天井
建材名	石膏ボード

X線回折分析法及び位相差・分散顕微鏡法の定性分析結果に基づく判定結果

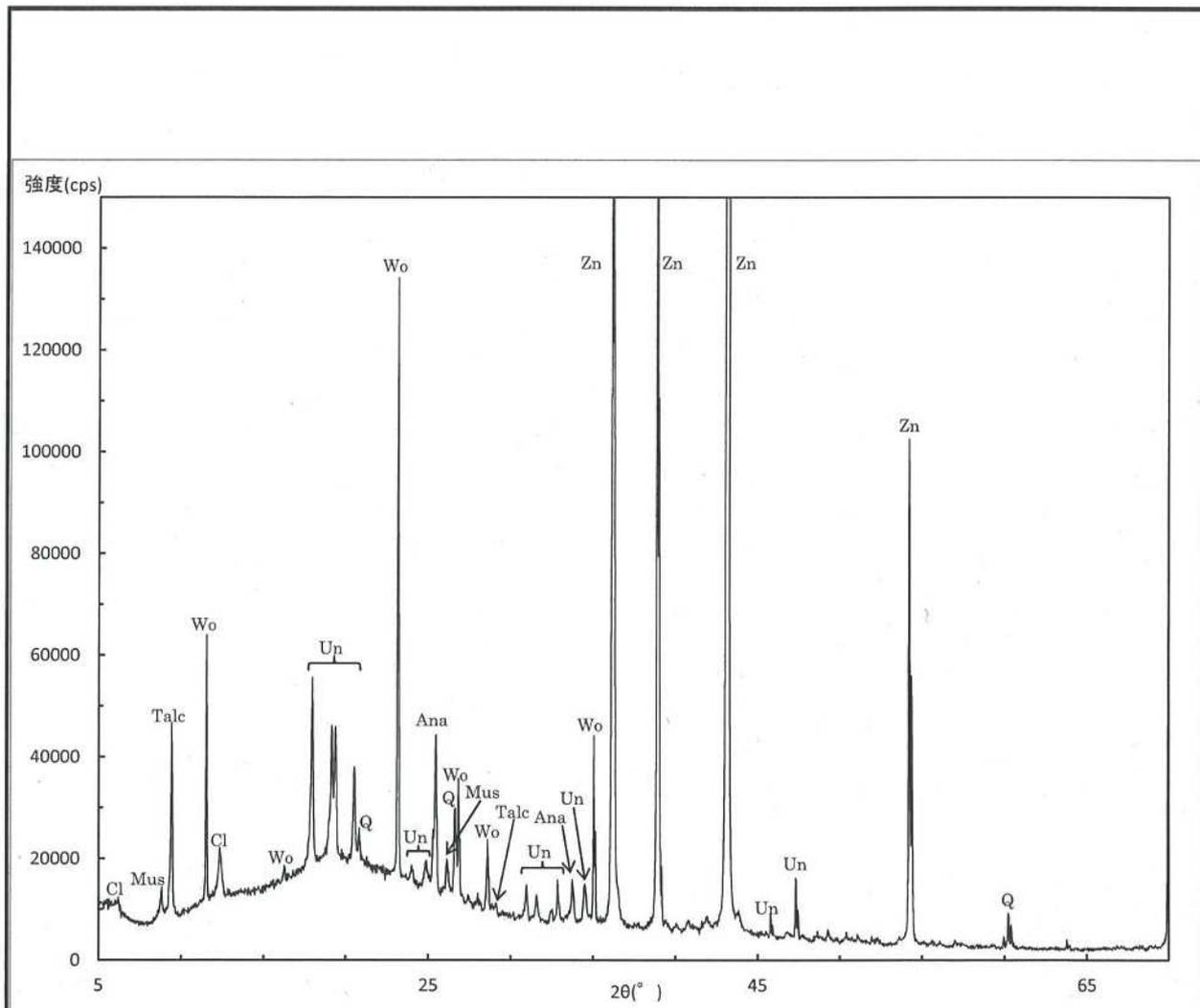
石綿の種類	定性分析結果			石綿含有判定結果
	X線回折分析法 回折線ピーク の有無	分散染色法		石綿含有の有無
		3000粒子中の アスペクト比 3以上の繊維数	石綿の有無	
クリソタイル	有・ <b>無</b>	0	有・ <b>無</b>	有・ <b>無</b>
アモサイト	有・ <b>無</b>	0	有・ <b>無</b>	有・ <b>無</b>
クロシドライト	有・ <b>無</b>	0	有・ <b>無</b>	有・ <b>無</b>
トレモライト	有・ <b>無</b>	0	有・ <b>無</b>	有・ <b>無</b>
アクチノライト	有・ <b>無</b>	0	有・ <b>無</b>	有・ <b>無</b>
アンソフィライト	有・ <b>無</b>	0	有・ <b>無</b>	有・ <b>無</b>

※X線回折分析法による定性分析(有)で、分散染色法(無)の場合で、石綿含有(無)と判定した場合の確認方法

使用した浸液の 屈折率	観察された分散色	アナライザー使用の場合の分散色		判定した鉱物等の名称
		偏光板⊥方向	偏光板//方向	

偏光板⊥方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交した場合を示す。  
偏光板//方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行になった場合を示す。

X線回折分析法による定性分析 回折線プロファイル



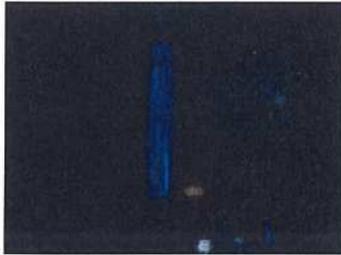
「ピークの記号」

Chr:クリソタイル Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre/ Act:トレモライト/ アクチノライト Ant:アンソフィライト  
 Ca:カルサイト Q:石英 Tr:トリジマイト Cr:クリストバライト Vc:バーミキュライト Hb:ハイドロバイオタイト  
 Br:ブルーサイト Se:セピオライト Cl:クロライト Mc:マイカ(イライト) Fl:長石 Gy:石膏 Anh:硬石膏  
 Rut:酸化チタン Ana:酸化チタン(アナターゼ) Talc:タルク Mus:モスコバイト Wo:ウォラストナイト  
 Zn:亜鉛(試料板金属) Un:未同定ピーク

「注意事項」(2θ) 5°~70°のX線回折プロファイルを添付。

位相差・分散顕微鏡法による標準及び分析用試料の分散色の写真

標準試料の分散色(鋭敏色)



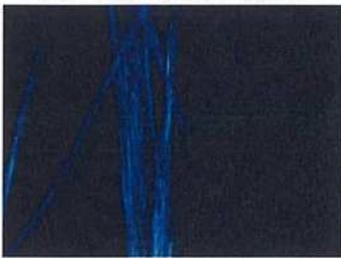
クリソタイル  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



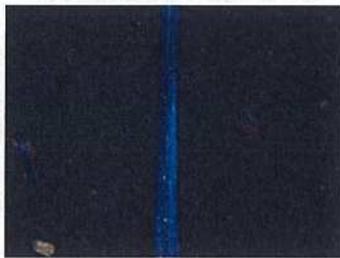
アンソフィライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



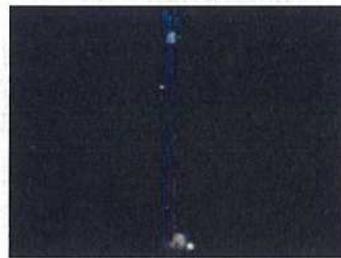
トレモライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



アクチノライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



アモサイト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



クロシドライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

分析用試料の分散色



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

試料情報

採取年月日	2024年8月5日
建物名称	新潟市民病院
採取箇所	旧カルテ庫 3階 事務室,休憩室 梁
建材名	塗材付下地調整材

X線回折分析法及び位相差・分散顕微鏡法の定性分析結果に基づく判定結果

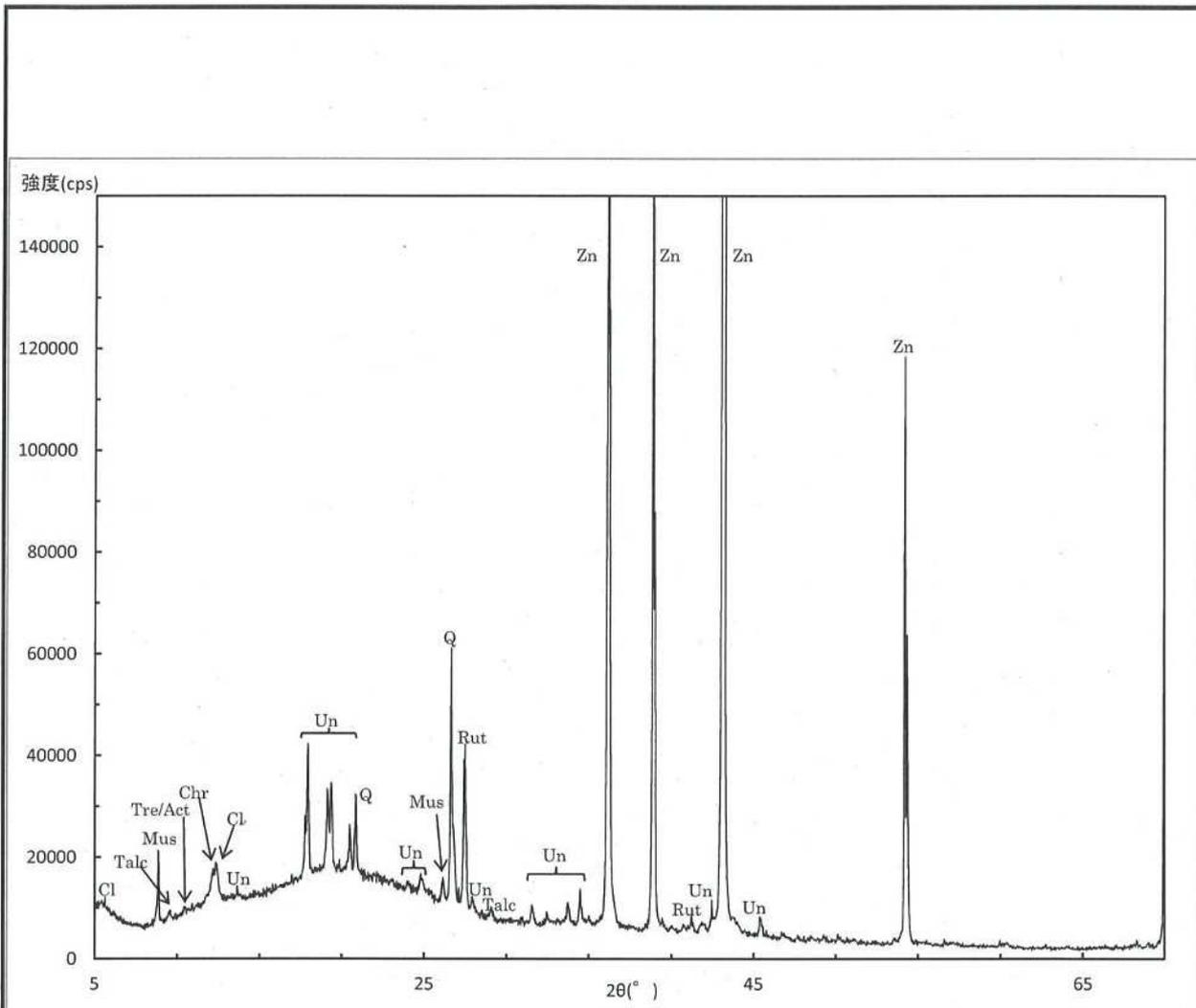
石綿の種類	定性分析結果			石綿含有判定結果
	X線回折分析法 回折線ピーク の有無	分散染色法		石綿含有の有無
		3000粒子中の アスペクト比 3以上の繊維数	石綿の有無	
クリソタイル	有・無	11	有・無	有・無
アモサイト	有・無	0	有・無	有・無
クロシドライト	有・無	0	有・無	有・無
トレモライト	有・無	0	有・無	有・無
アクチノライト	有・無	0	有・無	有・無
アンソフィライト	有・無	0	有・無	有・無

※X線回折分析法による定性分析(有)で、分散染色法(無)の場合で、石綿含有(無)と判定した場合の確認方法

使用した浸液の 屈折率	観察された分散色	アナライザー使用の場合の分散色		判定した鉱物等の名称
		偏光板⊥方向	偏光板//方向	
1.605	なし	—	—	—
1.630	なし	—	—	—
1.640	なし	—	—	—

偏光板⊥方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交した場合を示す。  
偏光板//方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行になった場合を示す。

X線回折分析法による定性分析 回折線プロファイル



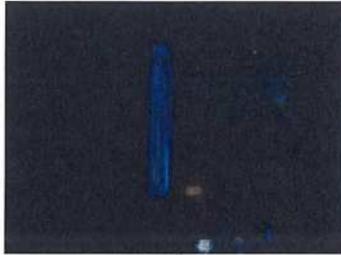
「ピークの記号」

Chr:クリソタイル Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre/ Act:トレモライト/ アクチノライト Ant:アンソフィライト  
 Ca:カルサイト Q:石英 Tr:トリジマイト Cr:クリストバライト Vc:バーミキュライト Hb:ハイドロバイオタイト  
 Br:ブルーサイト Se:セピオライト Cl:クロライト Mc:マイカ(イライト) Fl:長石 Gy:石膏 Anh:硬石膏  
 Rut:酸化チタン Ana:酸化チタン(アナターゼ) Talc:タルク Mus:モスコバイト Wo:ウォラストナイト  
 Zn:亜鉛(試料板金属) Un:未同定ピーク

「注意事項」(2θ) 5°~70°のX線回折プロファイルを添付。

位相差・分散顕微鏡法による標準及び分析用試料の分散色の写真

標準試料の分散色(鋭敏色)



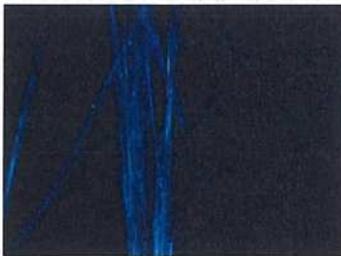
クリソタイル  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



アンソフィライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



トレモライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



アクチノライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



アモサイト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



クロシドライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

分析用試料の分散色



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

試料情報

採取年月日	2024年8月5日
建物名称	新潟市民病院
採取箇所	旧カルテ庫 3階 事務室,病歴室(5),(6) 壁
建材名	EP付石膏ボード

X線回折分析法及び位相差・分散顕微鏡法の定性分析結果に基づく判定結果

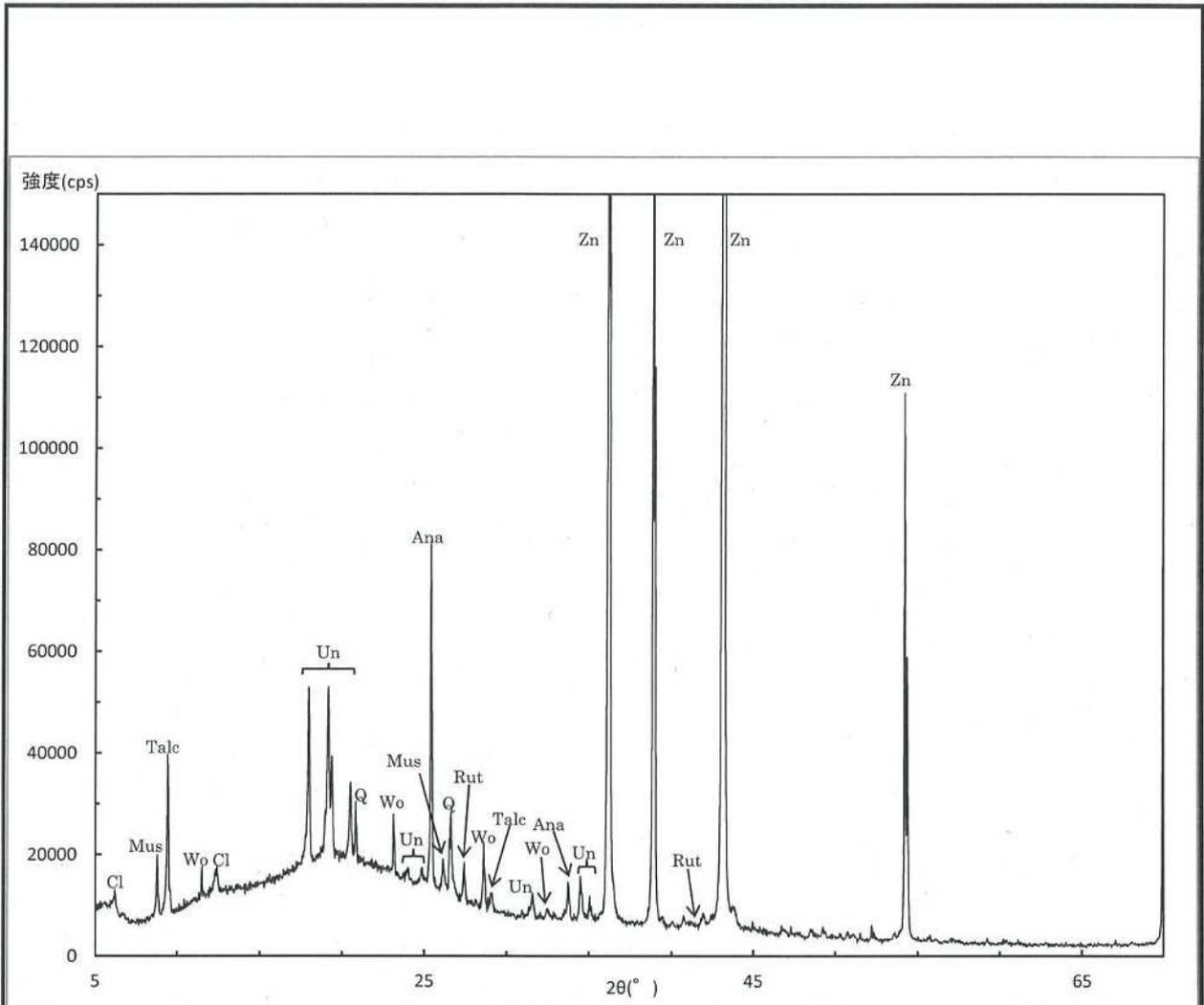
石綿の種類	定性分析結果			石綿含有判定結果
	X線回折分析法 回折線ピーク の有無	分散染色法		石綿含有の有無
		3000粒子中の アスペクト比 3以上の繊維数	石綿の有無	
クリソタイル	有・無	0	有・無	有・無
アモサイト	有・無	0	有・無	有・無
クロシドライト	有・無	0	有・無	有・無
トレモライト	有・無	0	有・無	有・無
アクチノライト	有・無	0	有・無	有・無
アンソフィライト	有・無	0	有・無	有・無

※X線回折分析法による定性分析(有)で、分散染色法(無)の場合で、石綿含有(無)と判定した場合の確認方法

使用した浸液の 屈折率	観察された分散色	アナライザー使用の場合の分散色		判定した鉱物等の名称
		偏光板⊥方向	偏光板//方向	

偏光板⊥方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交した場合を示す。  
偏光板//方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行になった場合を示す。

X線回折分析法による定性分析 回折線プロファイル



「ピークの記号」

Chr:クリンタイル Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre/ Act:トレモライト/ アクチノライト Ant:アンソフィライト  
 Ca:カルサイト Q:石英 Tr:トリジマイト Cr:クリストバライト Vc:パーミキュライト Hb:ハイドロバイオタイト  
 Br:ブルーサイト Se:セピオライト Cl:クロライト Mc:マイカ(イライト) Fl:長石 Gy:石膏 Anh:硬石膏  
 Rut:酸化チタン Ana:酸化チタン(アナターゼ) Talc:タルク Mus:モスコバイト Wo:ウォラストナイト  
 Zn:亜鉛(試料板金属) Un:未同定ピーク

「注意事項」(2θ) 5°~70°のX線回折プロファイルを添付。

位相差・分散顕微鏡法による標準及び分析用試料の分散色の写真

標準試料の分散色(鋭敏色)



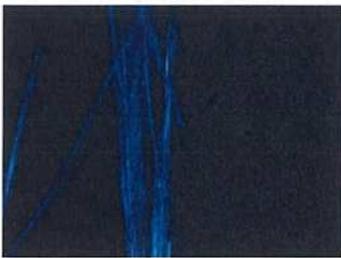
クワーツ  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



アンソファイト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



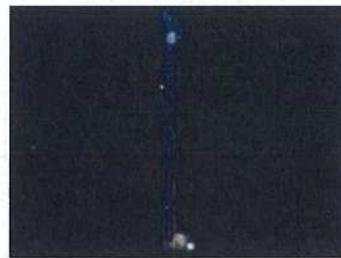
トレモライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



アクチノライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



アモサイト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



クロシドライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

分析用試料の分散色



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

試料情報

採取年月日	2024年8月5日
建物名称	新潟市民病院
採取箇所	旧カルテ庫 3階 事務室,廊下,診療情報部長室 壁,柱
建材名	EP付下地調整材

X線回折分析法及び位相差・分散顕微鏡法の定性分析結果に基づく判定結果

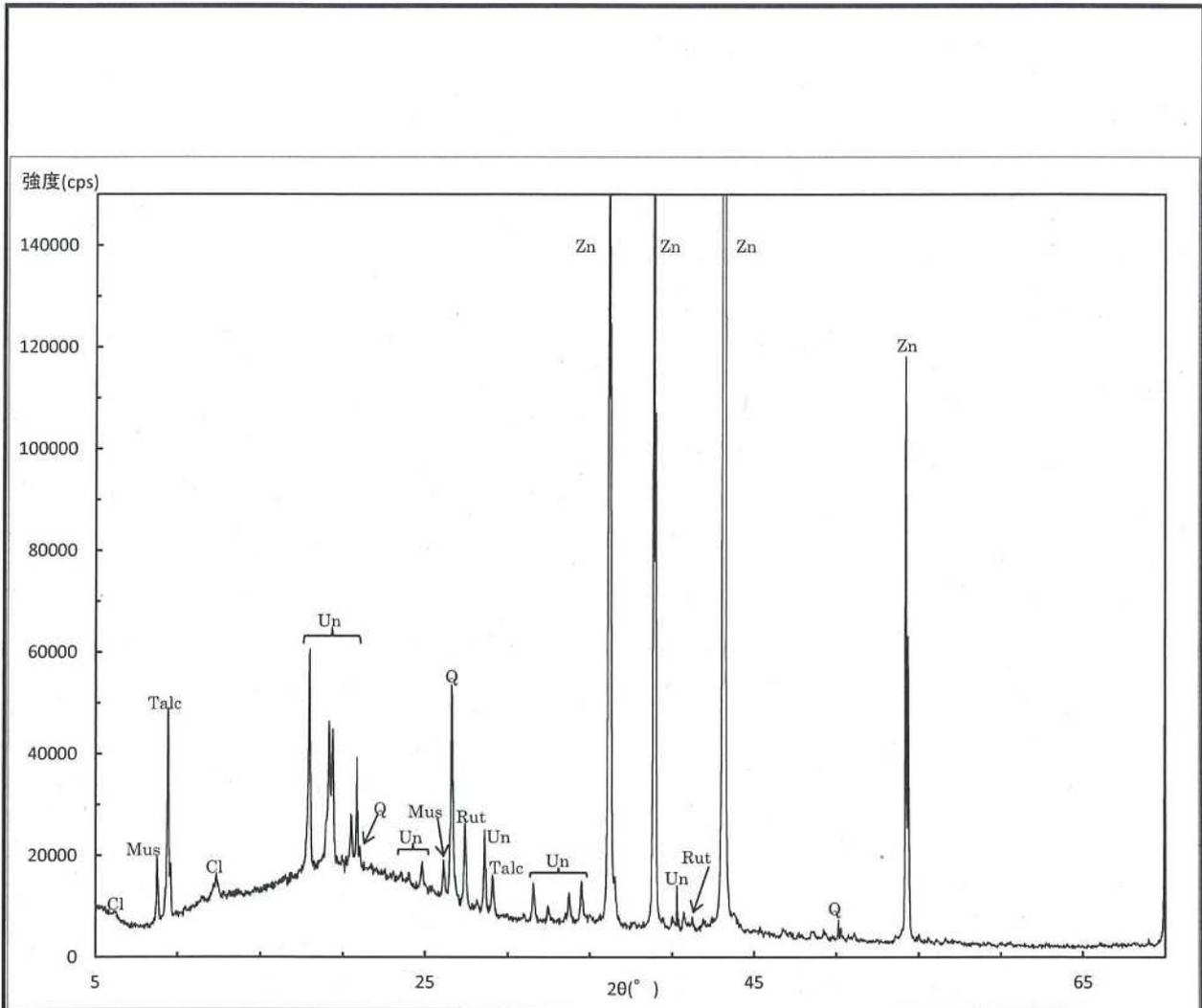
石綿の種類	定性分析結果			石綿含有判定結果
	X線回折分析法 回折線ピーク の有無	分散染色法		石綿含有の有無
		3000粒子中の アスペクト比 3以上の繊維数	石綿の有無	
クリソタイル	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
アモサイト	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
クロシドライト	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
トレモライト	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
アクチノライト	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
アンソフィライト	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無

※X線回折分析法による定性分析(有)で、分散染色法(無)の場合で、石綿含有(無)と判定した場合の確認方法

使用した浸液の 屈折率	観察された分散色	アナライザー使用の場合の分散色		判定した鉱物等の名称
		偏光板⊥方向	偏光板//方向	

偏光板⊥方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交した場合を示す。  
偏光板//方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行になった場合を示す。

X線回折分析法による定性分析 回折線プロファイル



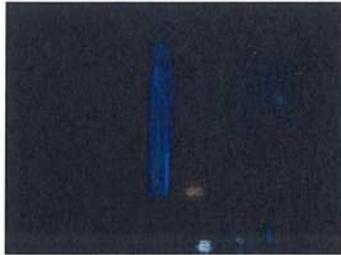
「ピークの記号」

Chr: クリソタイル Amo: アモサイト Cro: クロシドライト Tre/ Act: トレモライト/ アクチノライト Ant: アンソフィライト  
 Ca: カルサイト Q: 石英 Tr: トリジマイト Cr: クリスタバライト Vc: パーミキュライト Hb: ハイドロバイオタイト  
 Br: ブルーサイト Se: セピオライト Cl: クロライト Mc: マイカ(イライト) Fl: 長石 Gy: 石膏 Anh: 硬石膏  
 Rut: 酸化チタン Ana: 酸化チタン(アナターゼ) Talc: タルク Mus: モスコバイト Wo: ウォラストナイト  
 Zn: 亜鉛(試料板金属) Un: 未同定ピーク

「注意事項」(2θ) 5°~70°のX線回折プロファイルを添付。

位相差・分散顕微鏡法による標準及び分析用試料の分散色の写真

標準試料の分散色(鋭敏色)



クワーツ  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



アノソファイト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



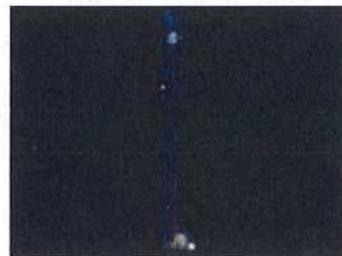
トレモライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



アクチノライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



アモサイト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



クロシドライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

分析用試料の分散色



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



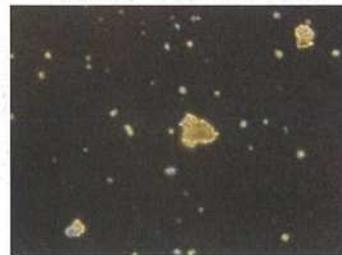
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

試料情報

採取年月日	2024年8月5日
建物名称	新潟市民病院
採取箇所	旧カルテ庫 3階 病歴室(5),(6) 廊下
建材名	巾木

X線回折分析法及び位相差・分散顕微鏡法の定性分析結果に基づく判定結果

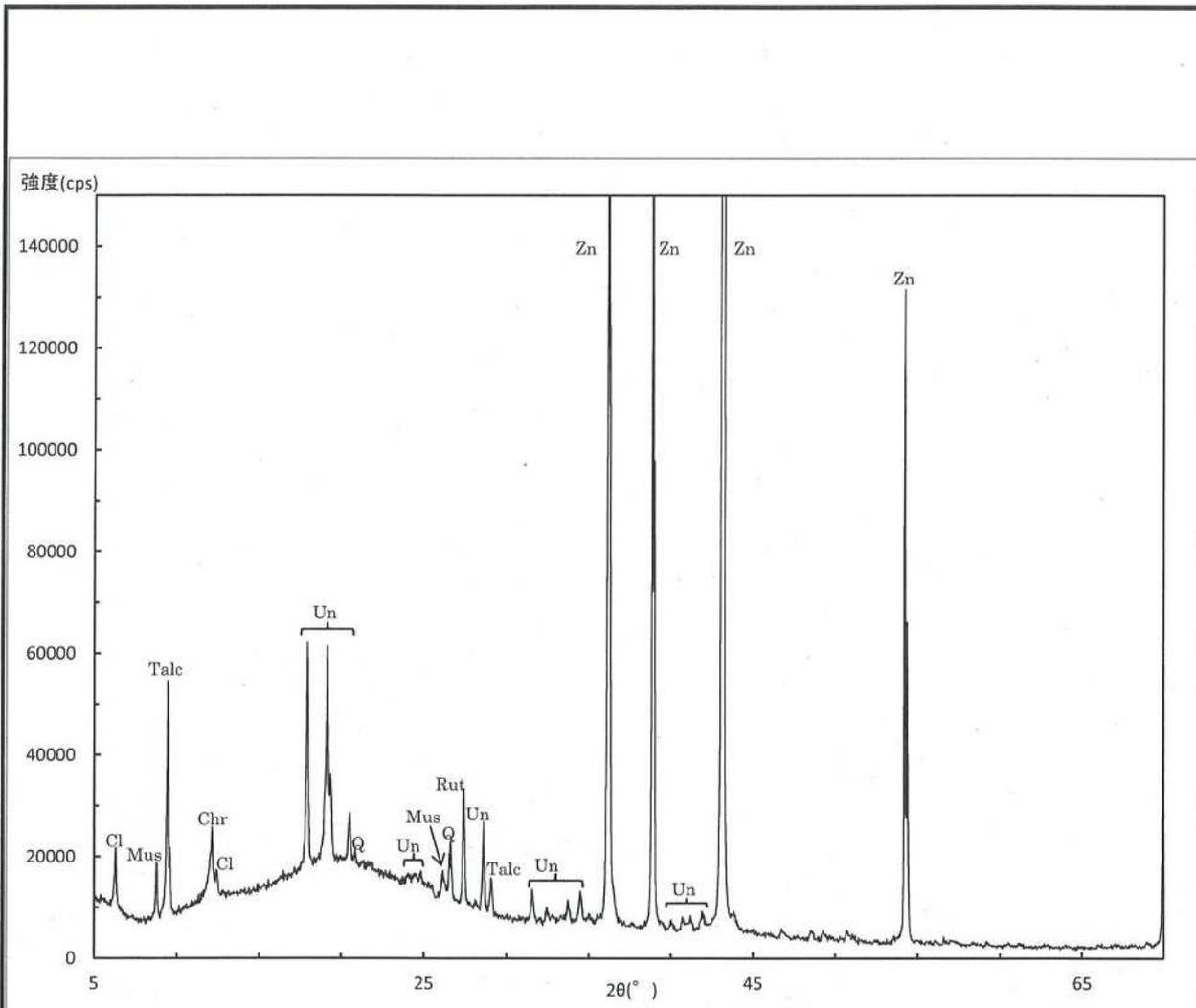
石綿の種類	定性分析結果			石綿含有判定結果
	X線回折分析法 回折線ピーク の有無	分散染色法		石綿含有の有無
		3000粒子中の アスペクト比 3以上の繊維数	石綿の有無	
クリソタイル	有・無	5	有・無	有・無
アモサイト	有・無	0	有・無	有・無
クロシドライト	有・無	0	有・無	有・無
トレモライト	有・無	0	有・無	有・無
アクチノライト	有・無	0	有・無	有・無
アンソフィライト	有・無	0	有・無	有・無

※X線回折分析法による定性分析(有)で、分散染色法(無)の場合で、石綿含有(無)と判定した場合の確認方法

使用した浸液の 屈折率	観察された分散色	アナライザー使用の場合の分散色		判定した鉱物等の名称
		偏光板⊥方向	偏光板//方向	

偏光板⊥方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交した場合を示す。  
偏光板//方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行になった場合を示す。

X線回折分析法による定性分析 回折線プロファイル



「ピークの記号」

Chr:クリソタイル Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre/ Act:トレモライト/ アクチノライト Ant:アンソフィライト  
 Ca:カルサイト Q:石英 Tr:トリジマイト Cr:クリストバライト Vc:パーミキュライト Hb:ハイドロバイオタイト  
 Br:ブルーサイト Se:セピオライト Cl:クロライト Mc:マイカ(イライト) Fl:長石 Gy:石膏 Anh:硬石膏  
 Rut:酸化チタン Ana:酸化チタン(アナターゼ) Talc:タルク Mus:モスコバイト Wo:ウォラストナイト  
 Zn:亜鉛(試料板金属) Un:未同定ピーク

「注意事項」(20) 5°~70°のX線回折プロファイルを添付。

位相差・分散顕微鏡法による標準及び分析用試料の分散色の写真

標準試料の分散色(鋭敏色)



クリソタイル  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



アンソフィライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



トレモライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



アクチノライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



アモサイト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



クロシドライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

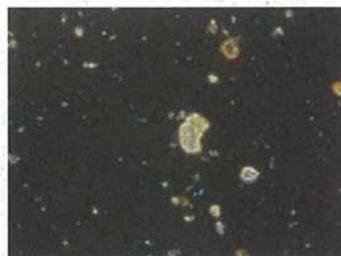
分析用試料の分散色



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

試料情報

採取年月日	2024年8月5日
建物名称	新潟市民病院
採取箇所	旧カルテ庫 3階 病歴室(5),(6) 廊下 床
建材名	Pタイル

X線回折分析法及び位相差・分散顕微鏡法の定性分析結果に基づく判定結果

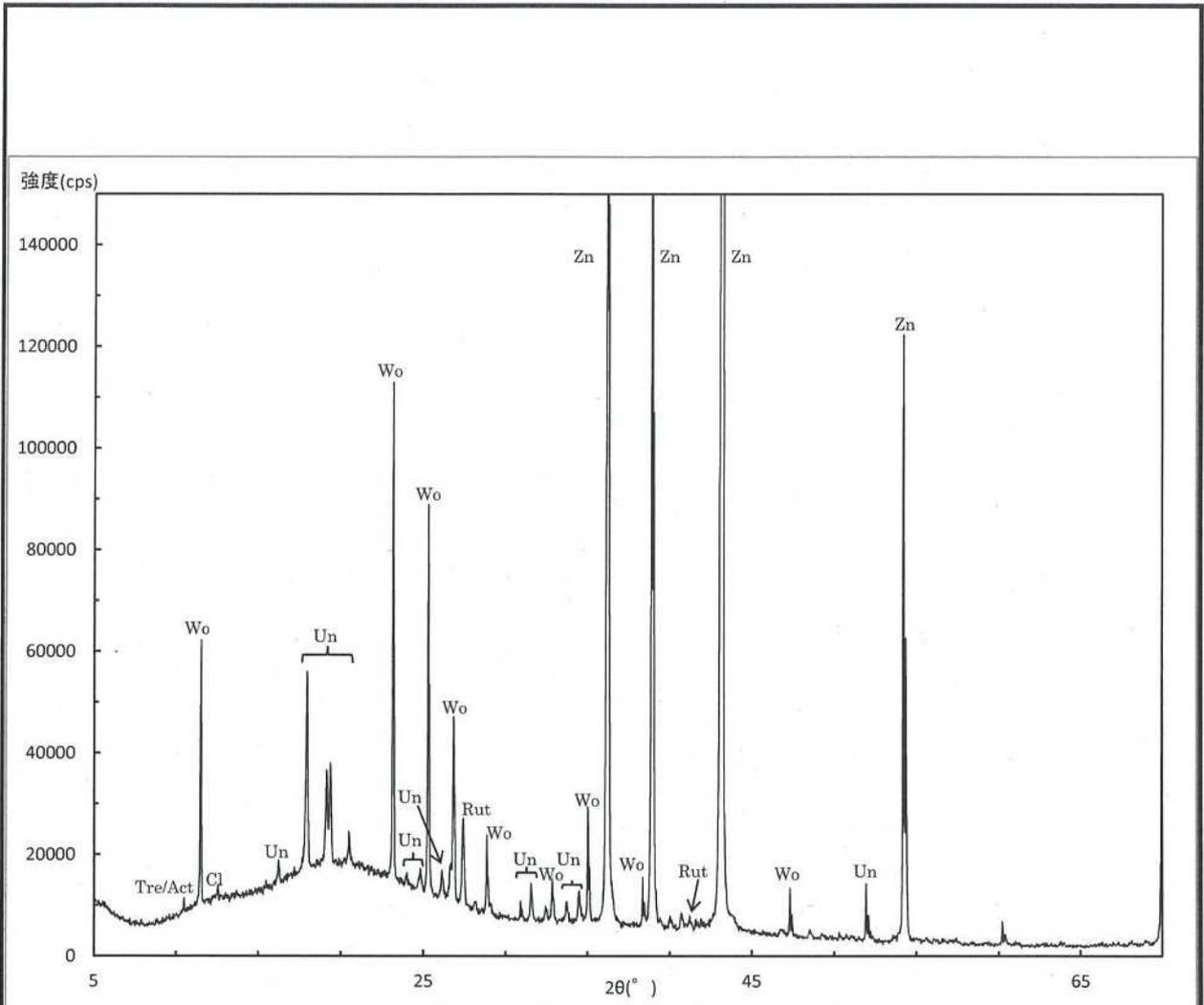
石綿の種類	定性分析結果			石綿含有判定結果
	X線回折分析法 回折線ピーク の有無	分散染色法		石綿含有の有無
		3000粒子中の アスペクト比 3以上の繊維数	石綿の有無	
クリソタイル	有・無	0	有・無	有・無
アモサイト	有・無	0	有・無	有・無
クロシドライト	有・無	0	有・無	有・無
トレモライト	有・無	0	有・無	有・無
アクチノライト	有・無	0	有・無	有・無
アンソフィライト	有・無	0	有・無	有・無

※X線回折分析法による定性分析(有)で、分散染色法(無)の場合で、石綿含有(無)と判定した場合の確認方法

使用した浸液の 屈折率	観察された分散色	アナライザー使用の場合の分散色		判定した鉱物等の名称
		偏光板⊥方向	偏光板//方向	
1.605	なし	—	—	—
1.630	なし	—	—	—
1.640	なし	—	—	—

偏光板⊥方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交した場合を示す。  
偏光板//方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行になった場合を示す。

X線回折分析法による定性分析 回折線プロファイル



「ピークの記号」

Chr:クリソタイル Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre/ Act:トレモライト/ アクチノライト Ant:アンソフィライト  
 Ca:カルサイト Q:石英 Tr:トリジマイト Cr:クリストバライト Vc:バーミキュライト Hb:ハイドロバイオタイト  
 Br:ブルーサイト Se:セピオライト Cl:クロライト Mc:マイカ(イライト) Fl:長石 Gy:石膏 Anh:硬石膏  
 Rut:酸化チタン Ana:酸化チタン(アナターゼ) Talc:タルク Mus:モスコバイト Wo:ウォラストナイト  
 Zn:亜鉛(試料板金属) Un:未同定ピーク

「注意事項」(2θ) 5°~70°のX線回折プロファイルを添付。

位相差・分散顕微鏡法による標準及び分析用試料の分散色の写真

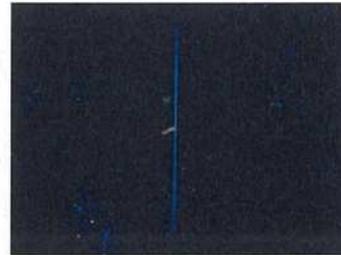
標準試料の分散色(鋭敏色)



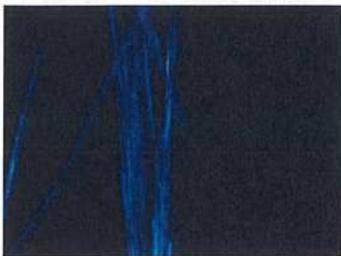
クリソタイル  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



アンソフィライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



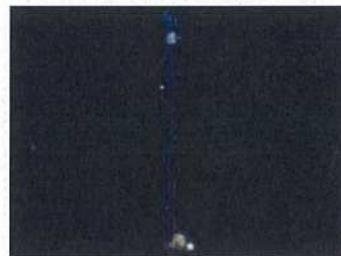
トレモライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



アクチノライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



アモサイト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



クロシドライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

分析用試料の分散色



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

試料情報

採取年月日	2024年8月5日
建物名称	新潟市民病院
採取箇所	旧カルテ庫 階段室(1～3階) 段裏
建材名	塗材付下地調整材

X線回折分析法及び位相差・分散顕微鏡法の定性分析結果に基づく判定結果

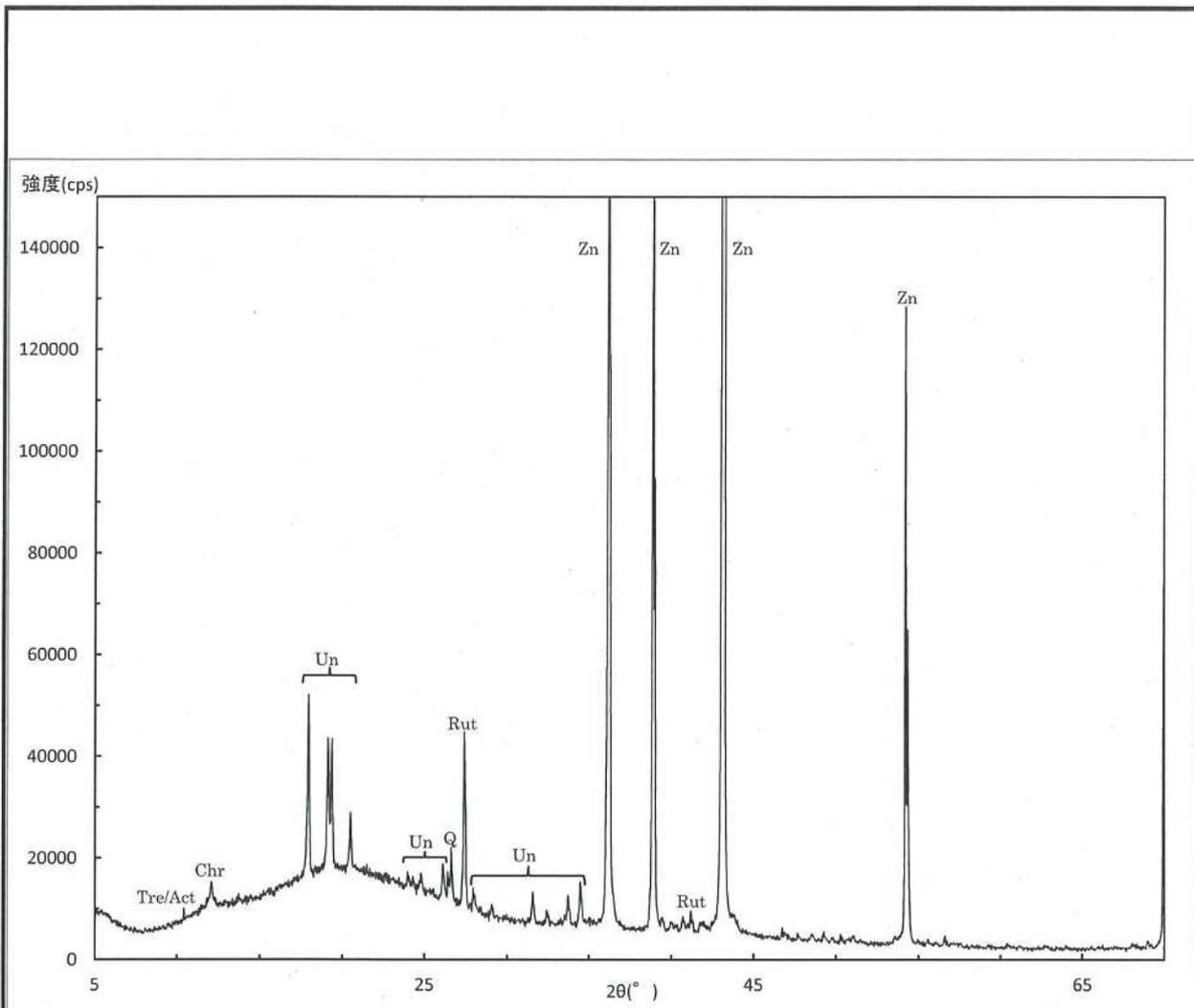
石綿の種類	定性分析結果			石綿含有判定結果
	X線回折分析法 回折線ピーク の有無	分散染色法		石綿含有の有無
		3000粒子中の アスペクト比 3以上の繊維数	石綿の有無	
クリソタイル	有・無	4	有・無	有・無
アモサイト	有・無	0	有・無	有・無
クロシドライト	有・無	0	有・無	有・無
トレモライト	有・無	0	有・無	有・無
アクチノライト	有・無	0	有・無	有・無
アンソフィライト	有・無	0	有・無	有・無

※X線回折分析法による定性分析(有)で、分散染色法(無)の場合で、石綿含有(無)と判定した場合の確認方法

使用した浸液の 屈折率	観察された分散色	アナライザー使用の場合の分散色		判定した鉱物等の名称
		偏光板⊥方向	偏光板//方向	
1.605	なし	—	—	—
1.630	なし	—	—	—
1.640	なし	—	—	—

偏光板⊥方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交した場合を示す。  
偏光板//方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行になった場合を示す。

X線回折分析法による定性分析 回折線プロファイル



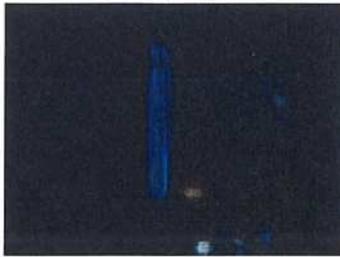
「ピークの記号」

Chr: クリソタイル Amo: アモサイト Cro: クロシドライト Tre/ Act: トレモライト/ アクチノライト Ant: アンソフィライト  
 Ca: カルサイト Q: 石英 Tr: トリジマイト Cr: クリスタライト Vc: パーミキュライト Hb: ハイドロパイオタイト  
 Br: ブルーサイト Se: セピオライト Cl: クロライト Mc: マイカ(イライト) Fl: 長石 Gy: 石膏 Anh: 硬石膏  
 Rut: 酸化チタン Ana: 酸化チタン(アナターゼ) Talc: タルク Mus: モスコバイト Wo: ウォラストナイト  
 Zn: 亜鉛(試料板金属) Un: 未同定ピーク

「注意事項」(20) 5°~70°のX線回折プロファイルを添付。

位相差・分散顕微鏡法による標準及び分析用試料の分散色の写真

標準試料の分散色(鋭敏色)



クリソタイル  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



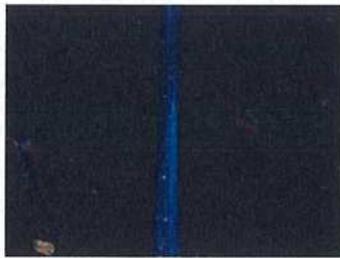
アンソフィライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



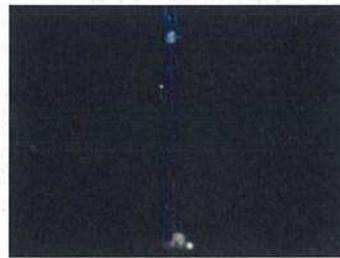
トレモライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



アクチノライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



アモサイト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)

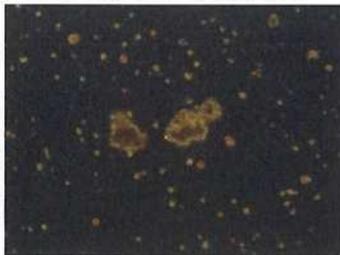


クロシドライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

分析用試料の分散色



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



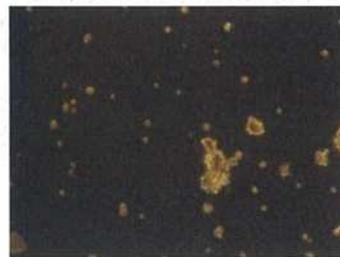
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

試料情報

採取年月日	2024年8月5日
建物名称	新潟市民病院
採取箇所	旧カルテ庫 階段室(1～3階) 壁
建材名	EP付下地調整材

X線回折分析法及び位相差・分散顕微鏡法の定性分析結果に基づく判定結果

石綿の種類	定性分析結果			石綿含有判定結果
	X線回折分析法 回折線ピーク の有無	分散染色法		石綿含有の有無
		3000粒子中の アスペクト比 3以上の繊維数	石綿の有無	
クリソタイル	有・無	5	有・無	有・無
アモサイト	有・無	0	有・無	有・無
クロシドライト	有・無	0	有・無	有・無
トレモライト	有・無	0	有・無	有・無
アクチノライト	有・無	0	有・無	有・無
アンソフィライト	有・無	0	有・無	有・無

※X線回折分析法による定性分析(有)で、分散染色法(無)の場合で、石綿含有(無)と判定した場合の確認方法

使用した浸液の 屈折率	観察された分散色	アナライザー使用の場合の分散色		判定した鉱物等の名称
		偏光板⊥方向	偏光板//方向	
1.605	なし	—	—	—
1.630	なし	—	—	—
1.640	なし	—	—	—

偏光板⊥方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交した場合を示す。  
偏光板//方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行になった場合を示す。



位相差・分散顕微鏡法による標準及び分析用試料の分散色の写真

標準試料の分散色(鋭敏色)



クワーツ  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



アノソフィライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



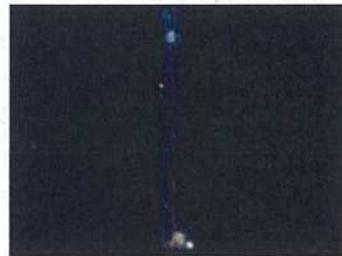
トレモライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



アクチノライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



アモサイト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



クロシドライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

分析用試料の分散色



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

試料情報

採取年月日	2024年8月5日
建物名称	新潟市民病院
採取箇所	旧カルテ庫 階段室(1～3階) 壁
建材名	EP付石膏ボード

X線回折分析法及び位相差・分散顕微鏡法の定性分析結果に基づく判定結果

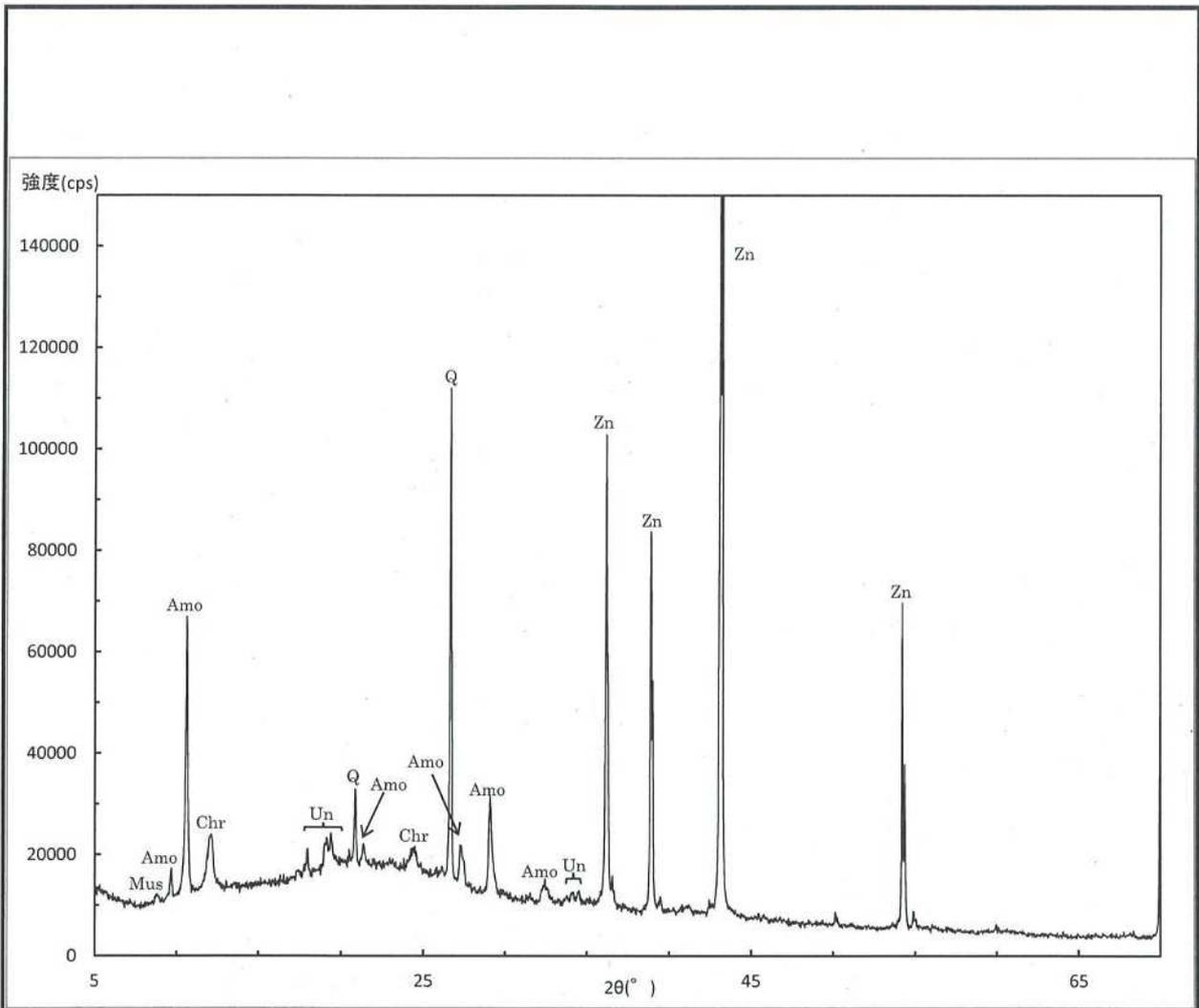
石綿の種類	定性分析結果			石綿含有判定結果
	X線回折分析法 回折線ピーク の有無	分散染色法		石綿含有の有無
		3000粒子中の アスペクト比 3以上の繊維数	石綿の有無	
クリンタイル	有・無	8	有・無	有・無
アモサイト	有・無	38	有・無	有・無
クロシドライト	有・無	0	有・無	有・無
トレモライト	有・無	0	有・無	有・無
アクチノライト	有・無	0	有・無	有・無
アンソフィライト	有・無	0	有・無	有・無

※X線回折分析法による定性分析(有)で、分散染色法(無)の場合で、石綿含有(無)と判定した場合の確認方法

使用した浸液の 屈折率	観察された分散色	アナライザー使用の場合の分散色		判定した鉱物等の名称
		偏光板⊥方向	偏光板//方向	

偏光板⊥方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交した場合を示す。  
偏光板//方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行になった場合を示す。

X線回折分析法による定性分析 回折線プロファイル



「ピークの記号」

Chr: クリソタイル Amo: アモサイト Cro: クロシドライト Tre/ Act: トレモライト/ アクチノライト Ant: アンソフィライト  
 Ca: カルサイト Q: 石英 Tr: トリジマイト Cr: クリスタライト Vc: パーミキュライト Hb: ハイドロバイオタイト  
 Br: ブルーサイト Se: セピオライト Cl: クロライト Mc: マイカ(イライト) Fl: 長石 Gy: 石膏 Anh: 硬石膏  
 Rut: 酸化チタン Ana: 酸化チタン(アナターゼ) Talc: タルク Mus: モスコバイト Wo: ウォラストナイト  
 Zn: 亜鉛(試料板金属) Un: 未同定ピーク

「注意事項」(2θ) 5°～70°のX線回折プロファイルを添付。

位相差・分散顕微鏡法による標準及び分析用試料の分散色の写真

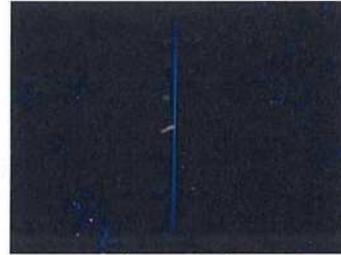
標準試料の分散色(鋭敏色)



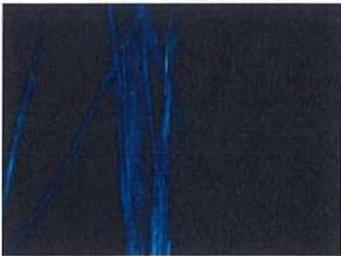
クワーツ  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



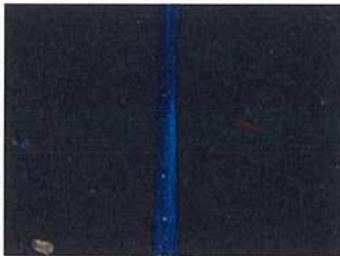
アノソフィライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



トレモライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



アクチノライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



アモサイト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



クロシドライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

分析用試料の分散色



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

試料情報

採取年月日	2024年8月5日
建物名称	新潟市民病院
採取箇所	旧カルテ庫 階段室(1～3階)
建材名	巾木

X線回折分析法及び位相差・分散顕微鏡法の定性分析結果に基づく判定結果

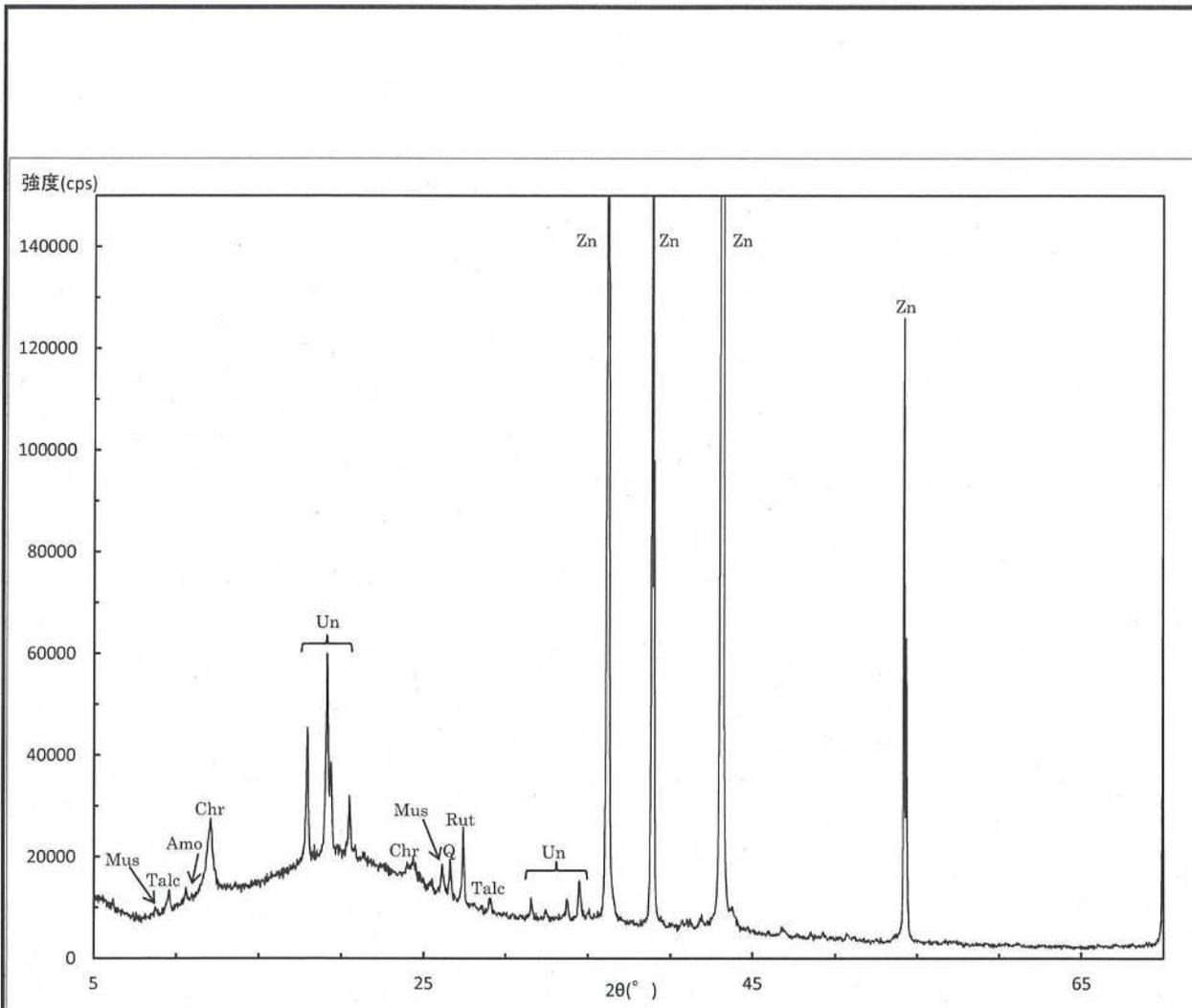
石綿の種類	定性分析結果			石綿含有判定結果
	X線回折分析法 回折線ピーク の有無	分散染色法		石綿含有の有無
		3000粒子中の アスペクト比 3以上の繊維数	石綿の有無	
クリソタイル	有・無	8	有・無	有・無
アモサイト	有・無	4	有・無	有・無
クロシドライト	有・無	0	有・無	有・無
トレモライト	有・無	0	有・無	有・無
アクチノライト	有・無	0	有・無	有・無
アンソフィライト	有・無	0	有・無	有・無

※X線回折分析法による定性分析(有)で、分散染色法(無)の場合で、石綿含有(無)と判定した場合の確認方法

使用した浸液の 屈折率	観察された分散色	アナライザー使用の場合の分散色		判定した鉱物等の名称
		偏光板⊥方向	偏光板//方向	

偏光板⊥方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交した場合を示す。  
偏光板//方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行になった場合を示す。

X線回折分析法による定性分析 回折線プロファイル



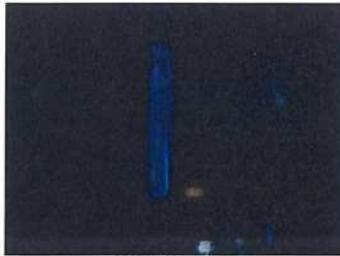
「ピークの記号」

Chr:クリソタイル Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre/ Act:トレモライト/ アクチノライト Ant:アンソフィライト  
 Ca:カルサイト Q:石英 Tr:トリジマイト Cr:クリストバライト Vc:パーミキュライト Hb:ハイドロバイオタイト  
 Br:ブルーサイト Se:セピオライト Cl:クロライト Mc:マイカ(イライト) Fl:長石 Gy:石膏 Anh:硬石膏  
 Rut:酸化チタン Ana:酸化チタン(アナターゼ) Talc:タルク Mus:モスコバイト Wo:ウォラストナイト  
 Zn:亜鉛(試料板金属) Un:未同定ピーク

「注意事項」(2θ) 5°~70°のX線回折プロファイルを添付。

位相差・分散顕微鏡法による標準及び分析用試料の分散色の写真

標準試料の分散色(鋭敏色)



クリソタイル  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



アンソフィライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



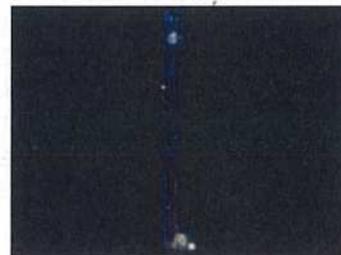
トレモライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



アクチノライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



アモサイト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



クロシドライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

分析用試料の分散色



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

試料情報

採取年月日	2024年8月5日
建物名称	新潟市民病院
採取箇所	旧カルテ庫 階段室(1～3階) 床
建材名	Pタイル(黄色)

X線回折分析法及び位相差・分散顕微鏡法の定性分析結果に基づく判定結果

石綿の種類	定性分析結果			石綿含有判定結果
	X線回折分析法 回折線ピーク の有無	分散染色法		石綿含有の有無
		3000粒子中の アスペクト比 3以上の繊維数	石綿の有無	
クリンタイル	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
アモサイト	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
クロシドライト	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
トレモライト	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
アクチノライト	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
アンソフィライト	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無

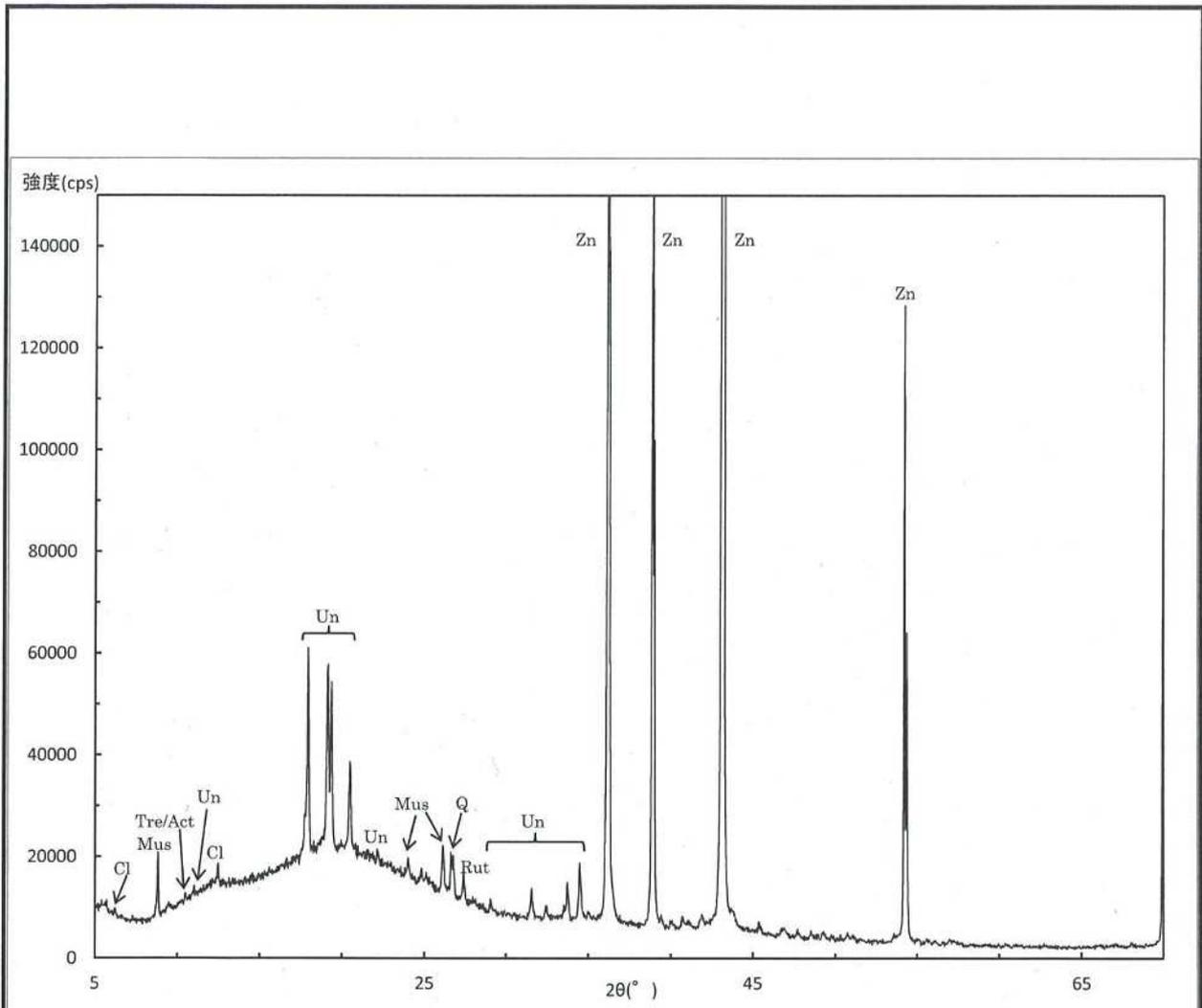
※X線回折分析法による定性分析(有)で、分散染色法(無)の場合で、石綿含有(無)と判定した場合の確認方法

使用した浸液の 屈折率	観察された分散色	アナライザー使用の場合の分散色		判定した鉱物等の名称
		偏光板⊥方向	偏光板//方向	
1.605	なし	—	—	—
1.630	なし	—	—	—
1.640	なし	—	—	—

偏光板⊥方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交した場合を示す。

偏光板//方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行になった場合を示す。

X線回折分析法による定性分析 回折線プロファイル



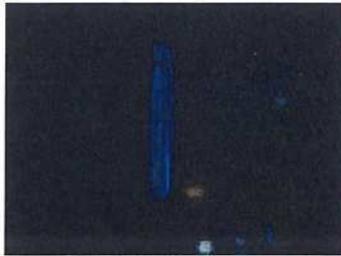
「ピークの記号」

Chr: クリソタイル Amo: アモサイト Cro: クロシドライト Tre/ Act: トレモライト/ アクチノライト Ant: アンソフィライト  
 Ca: カルサイト Q: 石英 Tr: トリジマイト Cr: クリスタライト Vc: パーミキュライト Hb: ハイドロパイオタイト  
 Br: ブルーサイト Se: セピオライト Cl: クロライト Mc: マイカ(イライト) Fl: 長石 Gy: 石膏 Anh: 硬石膏  
 Rut: 酸化チタン Ana: 酸化チタン(アナターゼ) Talc: タルク Mus: モスコバイト Wo: ウォラストナイト  
 Zn: 亜鉛(試料板金属) Un: 未同定ピーク

「注意事項」(2θ) 5°~70°のX線回折プロファイルを添付。

位相差・分散顕微鏡法による標準及び分析用試料の分散色の写真

標準試料の分散色(鋭敏色)



クリソタイル  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



アノソフィライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



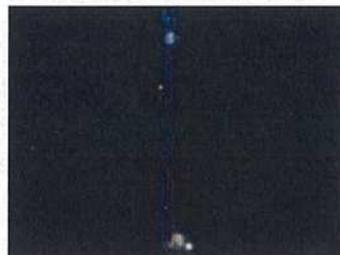
トレモライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



アクチノライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



アモサイト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



クロシドライト  
(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

分析用試料の分散色



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.550)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.618)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.620)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.626)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.680)



(屈折率  $n_D^{25^\circ\text{C}}$ :1.690)

試料名	空調配管(保温材)
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 ダクトフランジ
採取年月日	令和6年8月5日



採取位置全体

箇所①



採取前

箇所①



採取中

箇所①



採取後

箇所①



採取位置全体

箇所②



採取前

箇所②

試料名	空調配管(保温材)
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 ダクトフランジ
採取年月日	令和6年8月5日



採取後

箇所②



採取試料

試料名	スレート板
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 トイレ 天井
採取年月日	令和6年8月5日



採取位置全体

箇所①



採取前

箇所①



採取中

箇所①



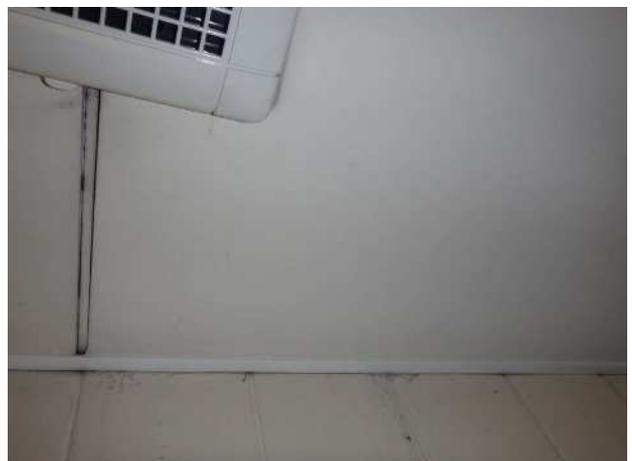
採取後

箇所①



採取位置全体

箇所②



採取前

箇所②

試料名	スレート板
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 トイレ 天井
採取年月日	令和6年8月5日



採取後

箇所②



採取位置全体

箇所③



採取前

箇所③



採取後

箇所③



採取試料

試料名	長尺シート
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 トイレ 床
採取年月日	令和6年8月5日



採取位置全体

箇所①



採取前

箇所①



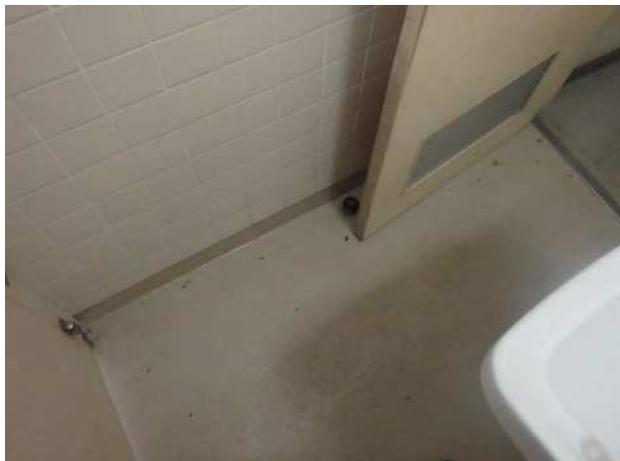
採取中

箇所①



採取後

箇所①



採取位置全体

箇所②



採取前

箇所②

試料名	長尺シート
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 トイレ 床
採取年月日	令和6年8月5日



採取後

箇所②



採取位置全体

箇所③



採取前

箇所③



採取後

箇所③



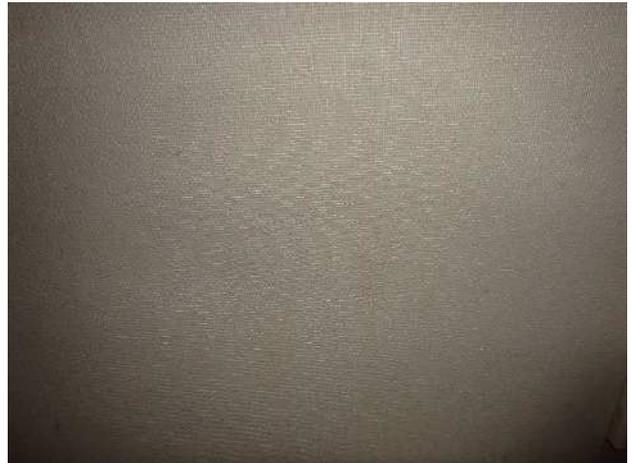
採取試料

試料名	クロス付石膏ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 和室 壁
採取年月日	令和6年8月5日



採取位置全体

箇所①



採取前

箇所①



採取中

箇所①



採取後

箇所①



採取位置全体

箇所②



採取前

箇所②

試料名	クロス付石膏ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 和室 壁
採取年月日	令和6年8月5日



採取後

箇所②



採取位置全体

箇所③



採取前

箇所③



採取後

箇所③



採取試料

試料名	塗材付下地調整材
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 病歴室(1) 梁
採取年月日	令和6年8月5日



採取位置全体

箇所①



採取前

箇所①



採取中

箇所①



採取後

箇所①



採取位置全体

箇所②



採取前

箇所②

試料名	塗材付下地調整材
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 病歴室(1) 梁
採取年月日	令和6年8月5日



採取後

箇所②



採取位置全体

箇所③



採取前

箇所③



採取後

箇所③



採取試料

試料名	木目調クロス付ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 和室 天井
採取年月日	令和6年8月5日



採取位置全体

箇所①



採取前

箇所①



採取中

箇所①



採取後

箇所①



採取位置全体

箇所②



採取前

箇所②

試料名	木目調クロス付ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1階 和室 天井
採取年月日	令和6年8月5日



採取後

箇所②



採取位置全体

箇所③



採取前

箇所③



採取後

箇所③



採取試料

試料名	配管(保温材)
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 病歴室(3) 上部
採取年月日	令和6年8月5日



採取位置全体

箇所①



採取前

箇所①



採取中

箇所①



採取後

箇所①



採取位置全体

箇所②



採取前

箇所②

試料名	配管(保温材)
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 病歴室(3) 上部
採取年月日	令和6年8月5日



採取後

箇所②



採取試料

試料名	石膏ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 病歴室(2)、病歴室(3) 天井
採取年月日	令和6年8月6日



採取位置全体

箇所①



採取前

箇所①



採取中

箇所①



採取後

箇所①



採取位置全体

箇所②



採取前

箇所②

試料名	石膏ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 病歴室(2)、病歴室(3) 天井
採取年月日	令和6年8月6日



採取後

箇所②



採取位置全体

箇所③



採取前

箇所③



採取後

箇所③



採取試料

試料名	塗材付下地調整材
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 病歴室(2)、病歴室(3) 梁
採取年月日	令和6年8月6日



採取位置全体

箇所①



採取前

箇所①



採取中

箇所①



採取後

箇所①



採取位置全体

箇所②



採取前

箇所②

試料名	塗材付下地調整材
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 病歴室(2)、病歴室(3) 梁
採取年月日	令和6年8月6日



採取後

箇所②



採取位置全体

箇所③



採取前

箇所③



採取後

箇所③



採取試料

試料名	EP付石膏ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 廊下、病歴室(2)、病歴室(3) 壁
採取年月日	令和6年8月5日



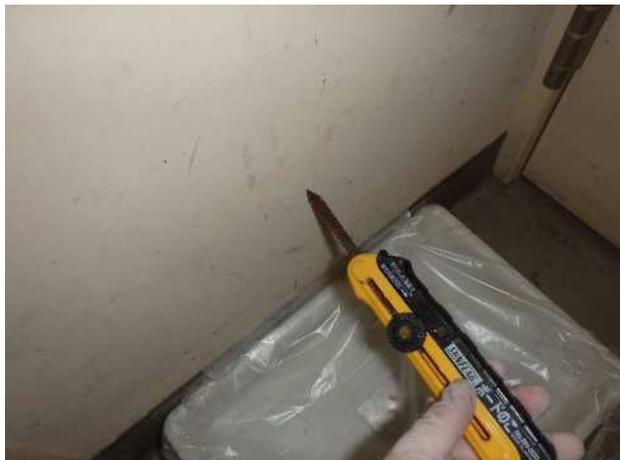
採取位置全体

箇所①



採取前

箇所①



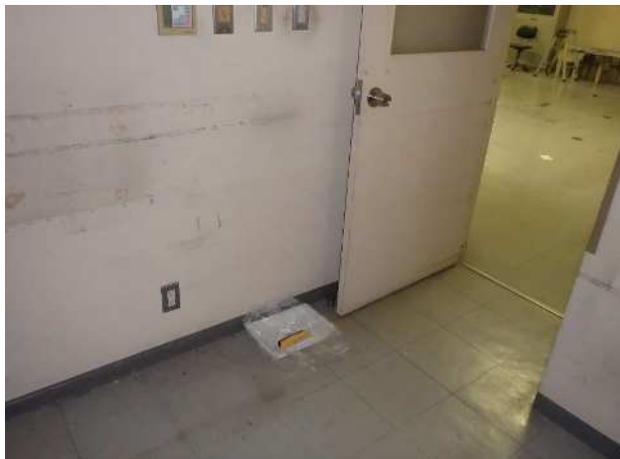
採取中

箇所①



採取後

箇所①



採取位置全体

箇所②



採取前

箇所②

試料名	EP付石膏ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 廊下、病歴室(2)、病歴室(3) 壁
採取年月日	令和6年8月5日



採取後

箇所②



採取位置全体

箇所③



採取前

箇所③



採取後

箇所③



採取試料

試料名	EP付下地調整材
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 事務室、病歴室(2)、病歴室(3) 壁、柱
採取年月日	令和6年8月5日



採取位置全体

箇所①



採取前

箇所①



採取中

箇所①



採取後

箇所①



採取位置全体

箇所②



採取前

箇所②

試料名	EP付下地調整材
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 事務室、病歴室(2)、病歴室(3) 壁、柱
採取年月日	令和6年8月5日



採取後

箇所②



採取位置全体

箇所③



採取前

箇所③



採取後

箇所③



採取試料

試料名	巾木
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 廊下、病歴室(2)、病歴室(3) 巾木
採取年月日	令和6年8月5日



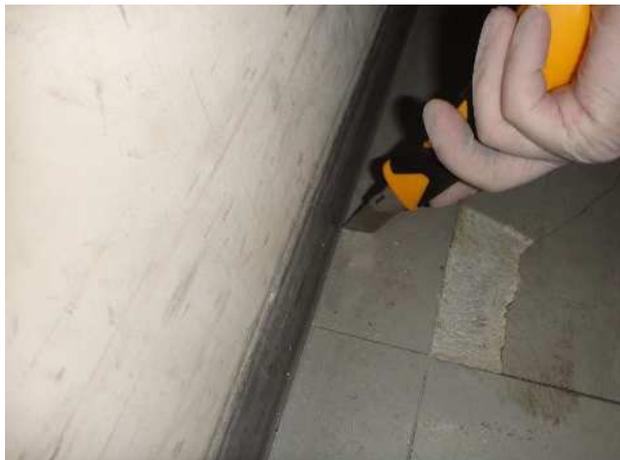
採取位置全体

箇所①



採取前

箇所①



採取中

箇所①



採取後

箇所①



採取位置全体

箇所②



採取前

箇所②

試料名	巾木
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 廊下、病歴室(2)、病歴室(3) 巾木
採取年月日	令和6年8月5日



採取後

箇所②



採取位置全体

箇所③



採取前

箇所③



採取後

箇所③



採取試料

試料名	Pタイル
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 廊下、病歴室(2)、病歴室(3) 床
採取年月日	令和6年8月5日



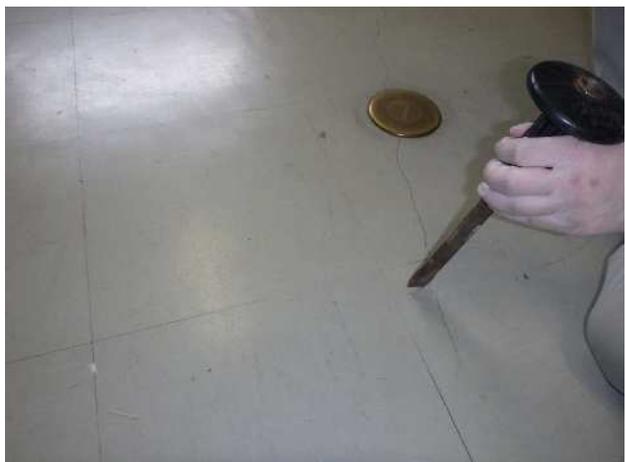
採取位置全体

箇所①



採取前

箇所①



採取中

箇所①



採取後

箇所①



採取位置全体

箇所②



採取前

箇所②

試料名	Pタイル
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 廊下、病歴室(2)、病歴室(3) 床
採取年月日	令和6年8月5日



採取後

箇所②



採取位置全体

箇所③



採取前

箇所③



採取後

箇所③



採取試料

試料名	塗材(白)付石膏ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 階段室前廊下 天井
採取年月日	令和6年8月6日



採取位置全体

箇所①



採取前

箇所①



採取中

箇所①



採取後

箇所①



採取位置全体

箇所②



採取前

箇所②

試料名	塗材(白)付石膏ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 階段室前廊下 天井
採取年月日	令和6年8月6日



採取後

箇所②



採取位置全体

箇所③



採取前

箇所③



採取後

箇所③



採取試料

試料名	塗材(白)付石膏ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 階段室前廊下 壁
採取年月日	令和6年8月6日



採取位置全体

箇所①



採取前

箇所①



採取中

箇所①



採取後

箇所①



採取位置全体

箇所②



採取前

箇所②

試料名	塗材(白)付石膏ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	2階 階段室前廊下 壁
採取年月日	令和6年8月6日



採取後

箇所②



採取位置全体

箇所③



採取前

箇所③



採取後

箇所③



採取試料

試料名	ビニル床シート(溶接)
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	3階 事務室 床
採取年月日	令和6年8月5日



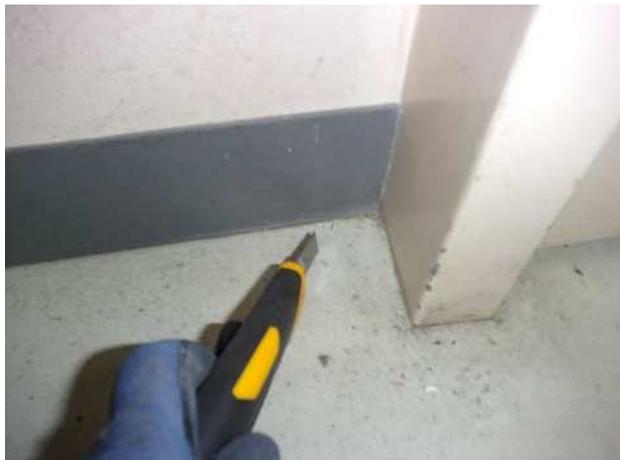
採取位置全体

箇所①



採取前

箇所①



採取中

箇所①



採取後

箇所①



採取位置全体

箇所②



採取前

箇所②

試料名	ビニル床シート(溶接)
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	3階 事務室 床
採取年月日	令和6年8月5日



採取後

箇所②



採取位置全体

箇所③



採取前

箇所③



採取後

箇所③



採取試料

試料名	接着剤
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	3階 休憩室 タイルカーペット下床
採取年月日	令和6年8月5日



採取位置全体

箇所①



採取前

箇所①



採取中

箇所①



採取後

箇所①



採取位置全体

箇所②



採取前

箇所②

試料名	接着剤
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	3階 休憩室 タイルカーペット下床
採取年月日	令和6年8月5日



採取後

箇所②



採取位置全体

箇所③



採取前

箇所③



採取後

箇所③



採取試料

試料名	巾木(グレー)
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	3階 電気室 巾木
採取年月日	令和6年8月5日



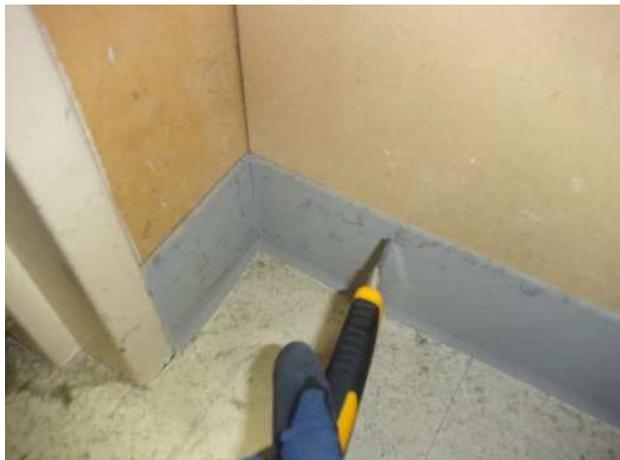
採取位置全体

箇所①



採取前

箇所①



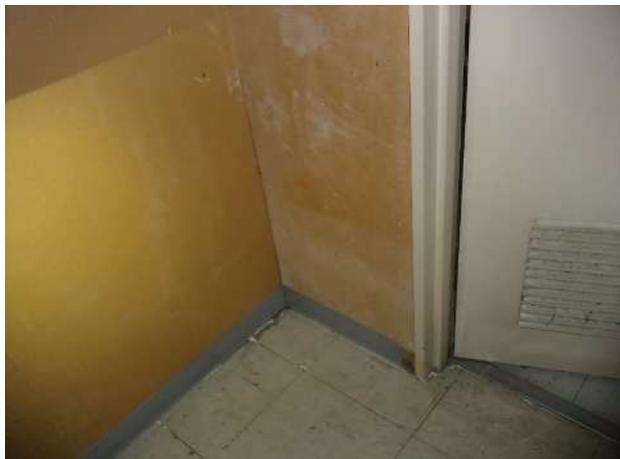
採取中

箇所①



採取後

箇所①



採取位置全体

箇所②



採取前

箇所②

試料名	巾木(グレー)
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	3階 電気室 巾木
採取年月日	令和6年8月5日



採取後

箇所②



採取位置全体

箇所③



採取前

箇所③



採取後

箇所③



採取試料

試料名	Pタイル
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	3階 電気室 床
採取年月日	令和6年8月5日



採取位置全体

箇所①



採取前

箇所①



採取中

箇所①



採取後

箇所①



採取位置全体

箇所②



採取前

箇所②

試料名	Pタイル
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	3階 電気室 床
採取年月日	令和6年8月5日



採取後

箇所②



採取位置全体

箇所③



採取前

箇所③



採取後

箇所③



採取試料

試料名	石膏ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	3階 事務室、休憩室、病歴室(5) 天井
採取年月日	令和6年8月5日



採取位置全体

箇所①



採取前

箇所①



採取中

箇所①



採取後

箇所①



採取位置全体

箇所②



採取前

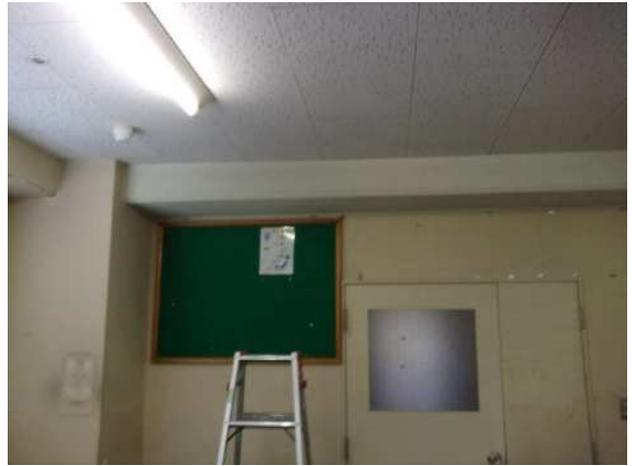
箇所②

試料名	石膏ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	3階 事務室、休憩室、病歴室(5) 天井
採取年月日	令和6年8月5日



採取後

箇所②



採取位置全体

箇所③



採取前

箇所③



採取後

箇所③



採取試料

試料名	塗材付下地調整材
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	3階 事務室、休憩室 梁
採取年月日	令和6年8月5日



採取位置全体

箇所①



採取前

箇所①



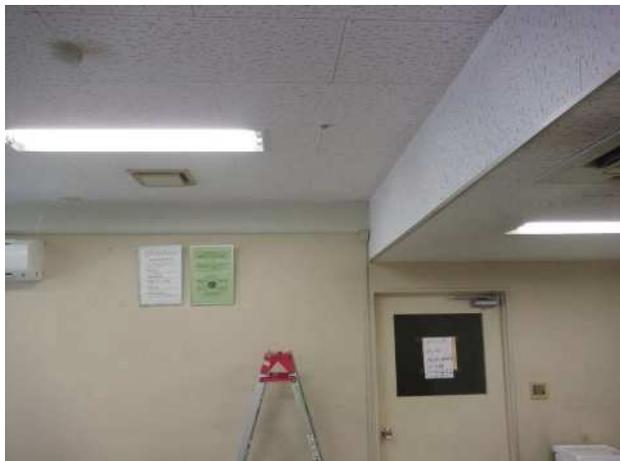
採取中

箇所①



採取後

箇所①



採取位置全体

箇所②



採取前

箇所②

試料名	塗材付下地調整材
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	3階 事務室、休憩室 梁
採取年月日	令和6年8月5日



採取後

箇所②



採取位置全体

箇所③



採取前

箇所③



採取後

箇所③



採取試料

試料名	EP付石膏ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	3階 事務室、病歴室(5)、病歴室(6) 壁
採取年月日	令和6年8月5日



採取位置全体

箇所①



採取前

箇所①



採取中

箇所①



採取後

箇所①



採取位置全体

箇所②



採取前

箇所②

試料名	EP付石膏ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	3階 事務室、病歴室(5)、病歴室(6) 壁
採取年月日	令和6年8月5日



採取後

箇所②



採取位置全体

箇所③



採取前

箇所③



採取後

箇所③

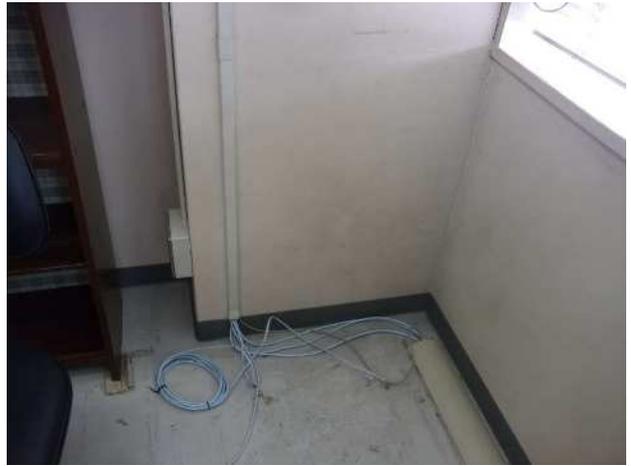


採取試料

試料名	EP付下地調整材
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	3階 廊下、事務室、診療情報部長室 壁、柱
採取年月日	令和6年8月5日



採取位置全体



採取前

箇所①

箇所①



採取中

箇所①



採取後

箇所①



採取位置全体



採取前

箇所②

箇所②

試料名	EP付下地調整材
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	3階 廊下、事務室、診療情報部長室 壁、柱
採取年月日	令和6年8月5日



採取後

箇所②



採取位置全体

箇所③



採取前

箇所③



採取後

箇所③



採取試料

試料名	巾木
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	3階 廊下、病歴室(5)、病歴室(6) 巾木
採取年月日	令和6年8月5日



採取位置全体

箇所①



採取前

箇所①



採取中

箇所①



採取後

箇所①



採取位置全体

箇所②



採取前

箇所②

試料名	巾木
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	3階 廊下、病歴室(5)、病歴室(6) 巾木
採取年月日	令和6年8月5日



採取後

箇所②



採取位置全体

箇所③



採取前

箇所③



採取後

箇所③



採取試料

試料名	Pタイル
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	3階 廊下、病歴室(5)、病歴室(6) 床
採取年月日	令和6年8月5日



採取位置全体

箇所①



採取前

箇所①



採取中

箇所①



採取後

箇所①



採取位置全体

箇所②



採取前

箇所②

試料名	Pタイル
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	3階 廊下、病歴室(5)、病歴室(6) 床
採取年月日	令和6年8月5日



採取後

箇所②



採取位置全体

箇所③



採取前

箇所③



採取後

箇所③



採取試料

試料名	塗材付下地調整材
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1～3階 階段室 段裏
採取年月日	令和6年8月5日



採取位置全体

箇所①



採取前

箇所①



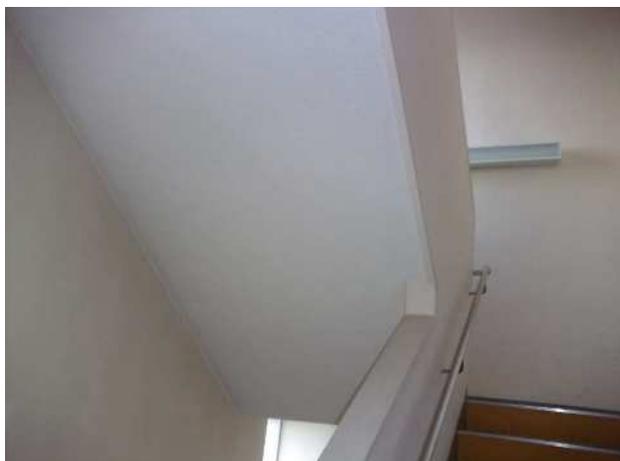
採取中

箇所①



採取後

箇所①



採取位置全体

箇所②



採取前

箇所②

試料名	塗材付下地調整材
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1～3階 階段室 段裏
採取年月日	令和6年8月5日



採取後

箇所②



採取位置全体

箇所③



採取前

箇所③



採取後

箇所③



採取試料

試料名	EP付下地調整材
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1～3階 階段室 壁
採取年月日	令和6年8月5日



採取位置全体

箇所①



採取前

箇所①



採取中

箇所①



採取後

箇所①



採取位置全体

箇所②



採取前

箇所②

試料名	EP付下地調整材
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1～3階 階段室 壁
採取年月日	令和6年8月5日



採取後

箇所②



採取位置全体

箇所③



採取前

箇所③



採取後

箇所③



採取試料

試料名	EP付石膏ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1～3階 階段室 壁
採取年月日	令和6年8月5日



採取位置全体

箇所①



採取前

箇所①



採取中

箇所①



採取後

箇所①



採取位置全体

箇所②



採取前

箇所②

試料名	EP付石膏ボード
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1～3階 階段室 壁
採取年月日	令和6年8月5日



採取後

箇所②



採取位置全体

箇所③



採取前

箇所③



採取後

箇所③



採取試料

試料名	巾木
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1～3階 階段室 巾木
採取年月日	令和6年8月5日



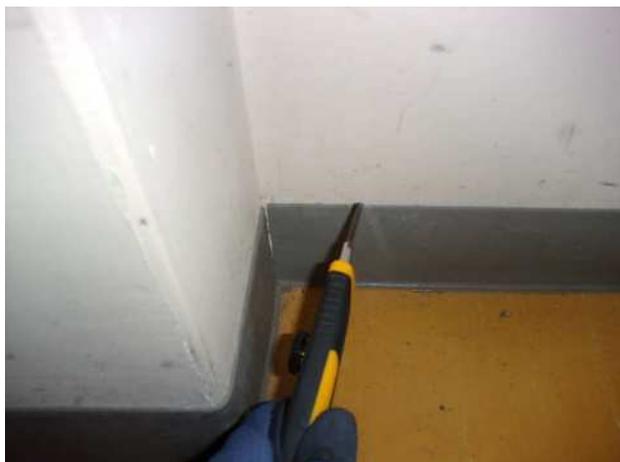
採取位置全体

箇所①



採取前

箇所①



採取中

箇所①



採取後

箇所①



採取位置全体

箇所②



採取前

箇所②

試料名	巾木
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1～3階 階段室 巾木
採取年月日	令和6年8月5日



採取後

箇所②



採取位置全体

箇所③



採取前

箇所③



採取後

箇所③



採取試料

試料名	Pタイル(黄色)
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1~3階 階段室 床
採取年月日	令和6年8月5日



採取位置全体

箇所①



採取前

箇所①



採取中

箇所①



採取後

箇所①



採取位置全体

箇所②



採取前

箇所②

試料名	Pタイル(黄色)
施設名	新潟市民病院 旧カルテ庫
採取場所	新潟市中央区紫竹山 地内
採取箇所	1~3階 階段室 床
採取年月日	令和6年8月5日



採取後

箇所②



採取位置全体

箇所③



採取前

箇所③



採取後

箇所③



採取試料

# 旧新潟市民病院 アスベスト調査 採取箇所

